

5G RedCap USB dongle

+F FS045U

取扱説明書

FUJISOFT

目次

はじめに.....	- 5 -
ご使用いただくにあたって	- 5 -
免責事項について	- 5 -
同梱品の確認	- 6 -
+F FS045U ご利用ガイド	- 6 -
本製品を設定できる機器	- 7 -
安全上のご注意	- 8 -
本体、SIM カード、周辺機器共通	- 9 -
本体について	- 10 -
USB Type-A to C 変換アダプタについて	- 13 -
SIM カードについて	- 14 -
医用機器近くおよび医療機関内でのご使用について	- 14 -
車内でのご使用について	- 15 -
材質一覧.....	- 16 -
本体	- 16 -
USB Type-A to C 変換アダプタ	- 16 -
取り扱い上のご注意	- 17 -
共通のお願い	- 17 -
本製品についてのお願い	- 17 -
SIM カードについてのお願い	- 18 -
その他の注意.....	- 19 -
1 章 ご使用の前に.....	- 20 -
1.1 各部の名称.....	- 20 -
1.2 SIM カードの取り付け方/取り外し方.....	- 22 -
1.2.1 SIM カードの取り付け方	- 22 -
1.2.2 SIM カードの取り外し方	- 23 -
1.3 eSIM のアクティベーション/削除.....	- 24 -
1.3.1 eSIM のアクティベーション	- 24 -
1.3.2 eSIM の削除.....	- 26 -
2 章 本製品について	- 27 -
2.1 「簡単接続」モデルの説明	- 27 -
2.1.1 SIM カードをご利用の場合	- 27 -
2.1.2 eSIM をご利用の場合	- 27 -
2.2 「セキュア接続(モデムモード)」モデルの説明	- 28 -
2.2.1 SIM カードをご利用の場合	- 28 -
2.2.2 eSIM をご利用の場合	- 29 -

3 章「簡単接続」モデルの各種設定.....	- 30 -
3.1 +F FS045U 設定ツールにアクセスする.....	- 30 -
3.1.1 +F FS045U 設定ツールのアクセス方法.....	- 30 -
3.1.2 +F FS045U 設定ツールの起動とログイン.....	- 30 -
3.1.3 +F FS045U 設定ツールの画面.....	- 31 -
3.2 端末情報の確認をする.....	- 32 -
3.2.1 接続情報.....	- 32 -
3.3 モバイルネットワークに関する設定をする.....	- 34 -
3.3.1 プロファイル設定(APN 設定).....	- 34 -
3.3.2 SIM1/SIM2/eSIM 設定.....	- 36 -
3.3.3 SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定.....	- 40 -
3.3.4 ネットワーク設定.....	- 50 -
3.3.5 バンド設定.....	- 51 -
3.3.6 データ通信量設定.....	- 52 -
3.3.7 PIN コード設定.....	- 54 -
3.3.8 PING 応答.....	- 59 -
3.3.9 MTU.....	- 60 -
3.4 LAN に関する設定をする.....	- 61 -
3.4.1 DHCP.....	- 61 -
3.5 セキュリティに関する設定をする.....	- 63 -
3.5.1 IP フィルタリング.....	- 63 -
3.5.2 ポートマッピング.....	- 64 -
3.5.3 URL フィルタリング.....	- 65 -
3.5.4 DMZ 設定.....	- 66 -
3.5.5 NAT 設定.....	- 67 -
3.5.6 UPnP/VPN パススルー.....	- 68 -
3.6 利用制限に関する設定をする.....	- 69 -
3.6.1 基本設定.....	- 69 -
3.6.2 SIM/eSIM 制限設定.....	- 70 -
3.7 システムに関する設定をする.....	- 71 -
3.7.1 ログインパスワード.....	- 71 -
3.7.2 LED 点灯設定.....	- 72 -
3.7.3 時刻設定.....	- 73 -
3.7.4 保存と復元.....	- 74 -
3.7.5 工場出荷設定(初期化).....	- 75 -
3.7.6 端末再起動.....	- 76 -
3.8 メッセージ.....	- 78 -
3.9 ソフトウェアアップデート.....	- 79 -
3.9.1 オフラインアップデート.....	- 79 -
3.9.2 オンラインアップデート.....	- 81 -

4 章「セキュア接続(モデムモード)」モデルの 各種設定	- 84 -
4.1 FS045U Data Connection Manager.....	- 84 -
4.1.1 FS045U Data Connection Manager をインストール/ アンインストールする.....	- 84 -
4.1.2 FS045U Data Connection Manager の画面.....	- 89 -
4.1.3 SIM1/SIM2/eSIM 設定.....	- 90 -
4.1.4 SIM1/SIM2/eSIM のプロファイル	- 93 -
4.1.5 モバイルネットワークの接続.....	- 97 -
4.1.6 モバイルネットワークの切断.....	- 98 -
4.2 モバイルネットワークに関する設定をする	- 99 -
4.2.1 接続方式.....	- 99 -
4.2.2 自動接続設定	- 100 -
4.2.3 ローミング設定.....	- 101 -
4.3 PIN に関する設定をする	- 102 -
4.3.1 PIN 有効/無効.....	- 102 -
4.3.2 PIN 変更.....	- 106 -
4.4 ネットワークに関する設定をする	- 107 -
4.4.1 ネットワーク検索.....	- 107 -
4.4.2 ネットワークモード	- 108 -
4.5 利用制限に関する設定をする	- 109 -
4.5.1 基本設定.....	- 109 -
4.5.2 接続機器制限設定.....	- 110 -
4.5.3 SIM/eSIM 制限設定	- 111 -
4.5.4 +F FS045U 制限.....	- 112 -
4.6 システムに関する設定をする.....	- 113 -
4.6.1 保存と復元.....	- 113 -
4.6.2 既存機種からインポート	- 114 -
4.6.3 自動最小化設定.....	- 115 -
4.6.4 言語設定.....	- 116 -
4.7 ソフトウェアアップデート	- 117 -
4.7.1 オフラインアップデート	- 117 -
4.7.2 オンラインアップデート	- 120 -
4.7.3 FS045U Data Connection Manager のアップデート	- 123 -
4.8 接続履歴.....	- 124 -
4.9 メッセージ.....	- 125 -
4.10 ネットワークエラーコード	- 126 -
5 章 困ったときに.....	- 127 -
6 章 付録.....	- 129 -
6.1 主な仕様.....	- 129 -
6.2 保証規定.....	- 130 -
6.3 本製品の比吸収率(SAR)などについて.....	- 131 -
6.4 輸出管理規制	- 133 -
6.5 知的財産権.....	- 133 -
6.6 オープンソースライセンスの告知	- 133 -
6.7 廃棄方法について	- 133 -

はじめに

このたびは、「5G RedCap dongle +F FS045U」(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ご使用いただくにあたって

- ・本製品は無線を利用しているため、トンネル、地下、建物の中など電波の届かない所や、屋外でも電波の弱い所、サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。
- ・電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようご使用ください。
- ・本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
- ・本製品は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・SIMカードを取り付けていない、かつ、eSIMがアクティベーションされていない場合は、ネットワーク接続はできません。
- ・以下の場合、設定した情報が変化・消失することがあります。情報の変化・消失について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容はメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
 - ・ 誤った使い方をしたとき
 - ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - ・ 動作中に本製品を接続機器から取り外したとき
 - ・ 故障や修理に出したとき
- ・長時間連続でご使用された場合、本体が熱くなることがあります。
- ・長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

免責事項について

- ・地震・落雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な事故、損害、破損等に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・当社指定以外の機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、設定されたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご自身で登録した内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。設定した情報の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

■ ソフトウェアアップデートに関する注意

本製品のファームウェアアップデートには、機能の追加/改善に加え、既知の不具合の修正や、セキュリティ上の脆弱性への対応が含まれています。製品の安全性および安定した動作を維持するため、弊社が提供するファームウェアアップデートを適切なタイミングで適用いただくことを推奨します。アップデートを行わなかったときに想定される事故や障害・一般的に想定される事故や障害に対しての免責事項は以下の通りです。

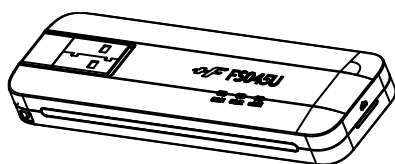
- ・ セキュリティ上の脆弱性を悪用した不正アクセス、情報漏えい等のセキュリティインシデント
- ・ 製品の誤動作、機能の一部または全部が利用できなくなる等の動作不良
- ・ 最新の機能や改善された機能が利用できないことによる利便性の低下

これらは、一般的にファームウェアの更新が行われない場合に想定される事故・障害の例であり、すべての事象の発生を断定するものではありません。

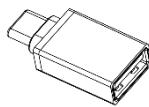
同梱品の確認

お買い上げ品には次のものが入っています。
お使いになる前にご確認ください。

■ +F FS045U 本体



■ USB Type-A to C 変換アダプタ



■ クイックスタートガイド



+F FS045U ご利用ガイド

「本書(取扱説明書)」、「ユーザー登録ガイド」、「本体カバーの取り外し方動画」は「+F FS045U ご利用ガイド」からご確認ください。

「+F FS045U ご利用ガイド」は、スマートフォンやパソコンの Web ブラウザからアクセスが可能です。

スマートフォンから



パソコンから



+F FS045U ご利用ガイド
<https://info.fsi-plusf.jp/fs045u user/>

本製品を設定できる機器

本製品は、「簡単接続」と「セキュア接続(モデムモード)」の2つのモデルがあります。
モデルによって、動作環境が異なります。
※詳細は「[2章 本製品について](#)」をご参照ください。

「簡単接続」

本製品を設定できる機器は次のOSを搭載しているパソコン、スマートフォン、タブレット等です。

- Windows 11 (64bit)
- macOS Sequoia 15
- macOS Sonoma 14
- macOS Ventura 13
- macOS Monterey 12
- Chrome OS
- iPadOS 15以降
- Linux 2.6以降

※Linuxの標準ドライバで動作可能です。

「セキュア接続(モデムモード)」

本製品を設定できる機器は次のOSを搭載しているパソコンです。

- Windows 11 (64bit)
※ARM版は保証対象外です。
- Linux 2.6以降
※Linuxの標準ドライバで動作可能です。ただし、ドライバの認識処理の対応が必要な場合があります。
※専用ツール「FS045U Data Connection Manager」は利用できません。

「FS045U eSIM アクティベーションツール」

「簡単接続」モデルで eSIM のアクティベーションを行うには、「FS045U eSIM アクティベーションツール」を使用します。本製品を設定できる機器は次のOSを搭載しているパソコンです。
※詳細は「[1.3 eSIM のアクティベーション/削除](#)」をご参照ください。

- Windows 11 (64bit)

メモ

- OS のアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 上記の環境以外では、動作しないことがあります。
- 上記の環境であっても、お客様のご利用環境によっては正常に動作しないことがあります。
- 上記の条件は、すべての機器との接続を保証するものではありません。使用する機器など、使用環境によっては動作しない場合があります。
- 同梱品以外の USB アダプタや USB ハブ(モニタやキーボードなどにある USB ポートを含む)などを経由しての動作は保証いたしかねます。

安全上のご注意

- ・ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

[表示記号の説明]

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

[禁止・強制の絵表示の説明]

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。

本体、SIMカード、周辺機器共通

⚠ 危険

 禁止	高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れたり濡らさないでください。また、濡れた状態や風呂場、加湿器のそばなどの水に触れる場所では、使用しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 分解禁止	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 指示	オプション品は、当社が指定したものを使用してください。 指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

 禁止	落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりや砂などが内部に入ったりしないようにしてください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 指示	可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品を接続機器から取り外してください。 可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
 指示	ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。 ガソリンスタンド構内などでは必ず事前に本製品を接続機器から取り外してください。 また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
 指示	使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。 ・本製品を接続機器から取り外す。 ・接続機器の電源を切る。 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 注意

 禁止	破損したまま使用しないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。 落下して、けがなどの原因となります。
 禁止	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使い方をさせないでください。 誤飲、けが、感電などの原因となります。
 禁止	乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。 誤飲、けが、感電などの原因となります。
 指示	本製品を継続して使用される場合は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。 データ通信など、継続しての使用は、本製品や USB Type-A to C 変換アダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本体について **危険**

 禁止	火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。
 禁止	鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。
 指示	本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。 本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

 警告

 禁止	点滅を繰り返すステータスランプを長時間見ないでください。 けいれんや意識喪失などの原因となります。
 禁止	本製品内の USB ポートや本製品内の nano SIM カードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やステープラーの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。 また、nano SIM カード挿入場所や向きを間違えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 指示	航空機へのご搭乗にあたり、本製品を接続している接続機器の電源を切るか、本製品を接続機器から取り外してください。 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。 電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。 なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
 指示	病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。 使用を禁止されている場所では、本製品を接続している接続機器の電源を切るか、本製品を接続機器から取り外してください。 電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
 指示	医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。 電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
 指示	高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品を接続している接続機器の電源を切るか、本製品を接続機器から取り外してください。 電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。 ※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
 指示	ペットなどが噛みつかないようにご注意ください。 発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 注意

 禁止	ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。 けがなどの事故の原因となります。
 禁止	本体カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。 本体カバーが破損し、けがなどの原因となります。
 禁止	本体カバーを取り付けるときは、指などの身体の一部を挟まないでください。 けがなどの原因となります。
 禁止	本体カバーを外したまま使用しないでください。 やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	一般のゴミと一緒に捨てないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
 指示	自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。 車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
 指示	本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。 お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については、本書の「 材質一覧 」をご参照ください。
 指示	本体カバーを開閉する際は、指などの身体の一部を挟まないようご注意ください。 すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。

USB Type-A to C変換アダプタについて



警告

 禁止	USB Type-A to C 変換アダプタの外部接続端子が傷んだら使用しないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	雷が鳴り出したら、USB Type-A to C 変換アダプタには触れないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	USB Type-A to C 変換アダプタの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。 ※ご注意いただきたい例 ・本体と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。 ・変換アダプタ類を加工、改造したり、傷つけたりしない。 ・変換アダプタ類は、幼児の口や手に触れさせたりしない。 ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。 ・落としたり強い衝撃を与えない。 ・変換アダプタ類と接続機器をつないだまま移動しない。
 禁止	本製品に USB Type-A to C 変換アダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 濡れ手禁止	濡れた手で外部接続端子に触れないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
 指示	外部接続端子についたほこりは、拭き取ってください。 ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
 指示	外部接続端子を接続機器に差し込むときは、確実に差し込んでください。 確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
 指示	USB Type-A to C 変換アダプタを取り付けた本製品を接続機器から抜く場合は、本製品を引っ張るなど無理な力を加えず、USB Type-A to C 変換アダプタを持って抜いてください。 USB Type-A to C 変換アダプタが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
 指示	本製品に USB Type-A to C 変換アダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。 正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 指示	外部接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。 また、変形を元に戻しての使用もやめてください。 外部接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 禁止	使用しない場合は、USB Type-A to C 変換アダプタを接続機器から抜いてください。 USB Type-A to C 変換アダプタを接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに USB Type-A to C 変換アダプタを接続機器から抜いてください。 付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	お手入れの際は、USB Type-A to C 変換アダプタを接続機器から抜いて行ってください。 抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	接続機器につないだ状態で USB Type-A to C 変換アダプタに継続して触れないでください。 やけどなどの原因となります。

SIMカードについて



注意

 指示	nano SIM カードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。 切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。
--	--

医用機器近くおよび医療機関内でのご使用について



注意

 指示	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を 15cm 以上離して携行および使用してください。 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。 身動きが自由にとれないなど、周囲の方と 15 cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を接続している接続機器の電源を切るか、本製品を接続機器から取り外してください。
 指示	自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
 指示	医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

車内でのご使用について



 指示	視界、エアバッグなどの安全補助装置の動作を妨げる場所やハンドル、ブレーキペダル付近など、運転の妨げになる場所や同乗者の安全を損なうような場所には取り付けないでください。 交通事故やけがなどの原因となります。
 指示	直射日光が長時間当たる場所には置かないでください。 キャビネットの変形・変色や、火災などの原因となります。 また、発熱により、やけどなどの原因となります。
 指示	確実に取り付けてください。 振動や急ブレーキなどで機器が外れると、事故やけがなどの原因となります。

材質一覧

本体

部位	使用材質	処理
外装ケース	PC+ABS 樹脂	塗装、シルク印刷
外部接続端子	ステンレス	－
本体カバー	PC+ABS 樹脂	塗装
ラベル	PET 樹脂	印刷
nano SIM カード スロット	ステンレス	金メッキ
LED 部	PC 樹脂	－

USB Type-A to C変換アダプタ

部位	使用材質	処理
USB Type-C [®] プラグ (端子部)	ステンレス鋼	－
USB Type-C [®] プラグ (樹脂部)	LCP 樹脂	－
USB Type-C [®] プラグ (金属部)	銅合金	－
USB Type-A ポート (樹脂部)	LCP 樹脂	－
USB Type-A ポート (金属部)	黄銅	－
外装ケース	アルミニウム合金	アルマイト処理

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- ・ お手入れの際は、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- ・ 本製品に虫よけ剤(ディート製剤)が、かからないよう、ご注意ください。
変色、劣化の恐れがあります。
- ・ 端子は、定期的に乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れる原因となります。端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には、端子を破損しないように十分ご注意ください。
- ・ 本製品をエアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食して故障の原因となります。
- ・ 本製品に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- ・ 本製品の本体カバーを取り外す際は、必要以上に力をいれないでください。
本体カバーが破損するなどして怪我や故障の原因になります。また、爪などを傷つけないように注意してください。

本製品についてのお願い

- ・ 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所は避けてください。
- ・ 電話機やテレビ・ラジオなどの近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となるため、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ・ 本製品を落したり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- ・ 使用中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- ・ 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。
本製品は防水仕様ではありません。
- ・ 車内でエアバッグの展開場所に本製品を置かないでください。
エアバッグが開いたときにケガをするおそれがあります。

SIMカードについてのお願い

- ・ SIM カードの取り付け・取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ・ IC 部分(金属面)は、きれいな状態でご使用ください。
- ・ お手入れの際は、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- ・ IC 部分(金属面)を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ・ SIM カードを落したり、衝撃を与えたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ・ SIM カードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ・ SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品は、VCCI 協会の運用規定に基づく技術基準に適合しており、その証は本製品の本体カバーを外すことで、本製品に貼られたラベルから確認できます。

その他の注意

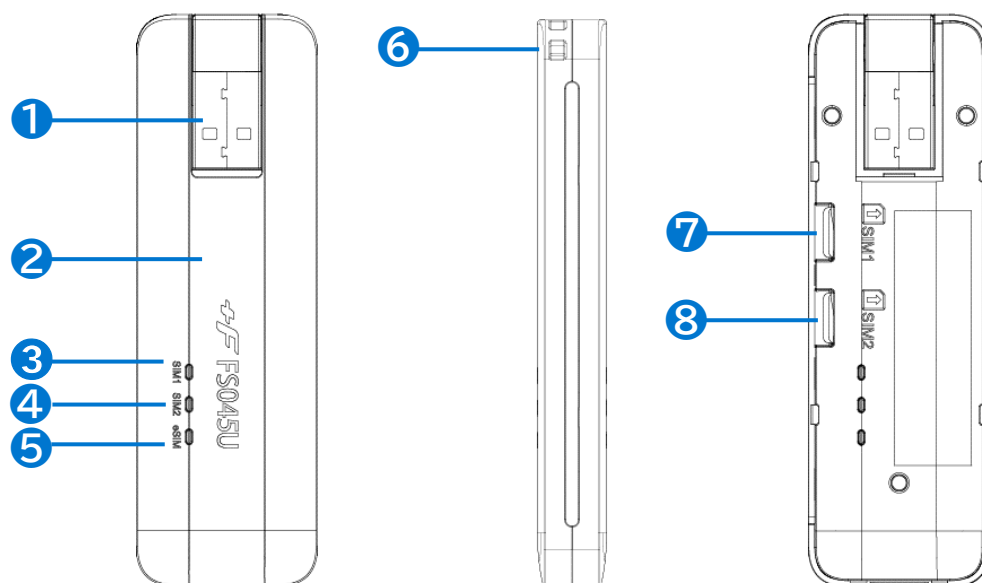
- ・ 本製品は、絶対に改造して使用しないでください。改造した機器を使用すると電波法に抵触します。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証は本製品の本体カバーを外すことで、本製品に貼られたラベルから確認できます。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触するため、絶対に使用しないでください。
- ・ ご使用の機器と接続されている場合、接続機器によっては、意図しないデータ通信料が発生する場合があります。ご注意ください。使用しないときは、本製品を接続している機器の電源を切るか、本製品を接続している機器から取り外してください。
- ・ 本製品用の最新ソフトウェアの確認、および、その他各種サービスを確認するため、当社サーバーへのデータ通信が発生することがあります。本データ通信料はお客様のご負担になります。
- ・ 本製品は、非常時事業者間ローミングに対応しています。災害などでご利用中の通信事業者のモバイルデータ通信が利用できない場合に、他の通信事業者のモバイルデータ通信を利用できる場合があります。

■ 海外利用について

- ・ 本製品は、国際ローミングに対応しています。「ローミング設定」を「有効」にすることで、日本国内の通信事業者契約の SIM カードまたは eSIM を海外で利用することができます。
- ・ 国際ローミング中は、データ通信料が非常に高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ・ ご利用の SIM カードまたは eSIM によっては、日本国内で利用する場合でも「ローミング設定」を「有効」にする必要があります。

1 章 ご使用の前に

1.1 各部の名称



名称	はたらき
① USB コネクタ	接続機器の USB ポートに接続します
② 本体カバー	SIM カードの付け外しをするときに取り外します
③ ステータスランプ SIM1用	本製品の状態または SIM1 の使用状態を示します
④ ステータスランプ SIM2 用	本製品の状態または SIM2 の使用状態を示します
⑤ ステータスランプ eSIM 用	本製品の状態または eSIM の使用状態を示します
⑥ ストラップホール	ストラップを取り付けます。
⑦ カードスロット SIM1 用	SIM1 で利用する nano SIM カードを取り付けます ※本書では、カードスロット SIM1 用で利用する SIM カードを SIM1 と呼称します
⑧ カードスロット SIM2 用	SIM2 で利用する nano SIM カードを取り付けます ※本書では、カードスロット SIM2 用で利用する SIM カードを SIM2 と呼称します

■ ステータスランプの表示

本製品は、通信に利用している SIM1/SIM2/eSIM の通信状態に応じて該当するステータスランプが点灯します。
また、製品の動作状態によっては、すべてのステータスランプが点灯する場合があります。

■ SIM1/SIM2/eSIM が単体点灯するパターン

色および点灯パターン	状態
赤色 点滅	圏外・PIN ロック・SIM カード未挿入/異常・ eSIM 未アクティベーション
水色 点滅	待機中
緑色 点灯	通信中 電波強度:強
黄色 点灯	通信中 電波強度:中
赤色 点灯	通信中 電波強度:弱

■ SIM1/SIM2/eSIM がすべて点灯するパターン

色および点灯パターン	状態
複数色 点滅	起動中
黄色 連鎖点滅(順番に点滅)	アップデートファイルをサーバーからダウンロード中・ 本体へ転送中
黄色 点灯	ソフトウェアアップデート中
赤色 点滅	高温

※異常に高温になった場合は、接続を解除して使用を中止してください

1.2 SIMカードの取り付け方/取り外し方

SIM カードは、電話番号などのお客様情報が記録されている IC カードです。

本製品を使用するためには、SIM カードを取り付けるか、eSIM のアクティベーションを行う必要があります。SIM カードを取り付けていない場合、または SIM カードを取り付けていない状態で、eSIM のアクティベーションが行われていない場合は、ネットワークに接続できません。

SIM カードの取り付け、取り外しは本製品を接続機器から抜いた状態で行ってください。

本製品は nano SIM カードに対応しています。

メモ

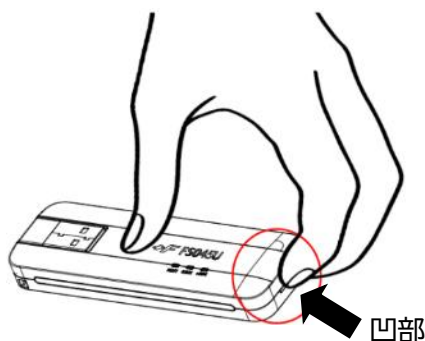
- ・ 本体カバーの取り外し方は「+F FS045U ご利用ガイド」から動画で確認することができます。
「はじめに」の「[+F FS045U ご利用ガイド](#)」に記載の URL をご参照ください。
- ・ nano SIM カードの IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ・ nano SIM カードを無理に取り付けたり、取り外したりすると故障の原因となります。
- ・ nano SIM カードを逆向きに挿入すると故障の原因となります。
- ・ nano SIM カードにはシール等を張り付けしないでください。
- ・ nano SIM カードにシール等を張り付けた状態で取り付けると取り出せない原因となります。
- ・ 本製品の利用中に nano SIM カードを取り付けたり、取り外したりしないでください。故障の原因となります。
- ・ nano SIM カードを取り扱う際は手袋を着用し、素手で触れないようにしてください。

1.2.1 SIMカードの取り付け方

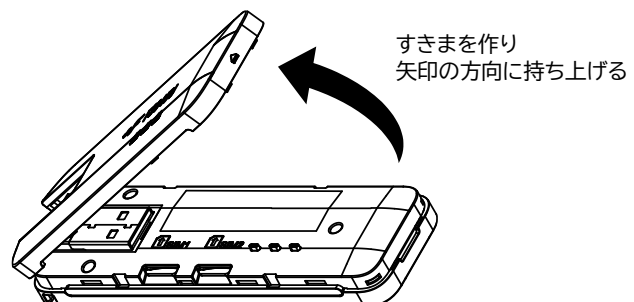
1. 本体にある凹み部分に爪を入れ、本体カバーを取り外します。(図 1)(図 2)
※本体カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。本体カバーが破損するなど、けがや故障の原因になります。
※爪などを傷つけないようにご注意ください
※本製品が機器に接続されているときは、接続機器から抜いてください

[本体カバーの取り外し方]

(図 1)



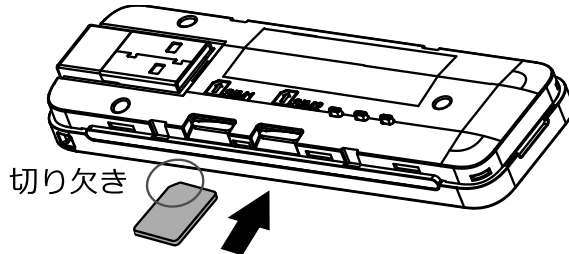
(図 2)



2. SIM カードの切り欠き部分を確認し、挿入方向(切り欠きの向き)に注意してください。
SIM カードを「カチッ」と音がするまで SIM カードスロットに挿入します。
※初回利用時は SIM1 を利用する設定になっています。
※SIM カードを取り付ける際は、SIM カードスロットの取り扱いにご注意ください。

[装着までのイメージ]

(図 3)



3. 本体カバーを取り付けます。

1.2.2 SIMカードの取り外し方

1. 本製品が機器に接続されているときは、接続機器から抜いてください
2. 本体カバーを取り外します。
nano SIM カードを「カチッ」と音がするまで軽く押し込むと、nano SIM カードが弾き出されます。
3. nano SIM カードを取り外します。
4. 本体カバーを取り付けます。

1.3 eSIMのアクティベーション/削除

1.3.1 eSIMのアクティベーション

eSIM は、本製品にあらかじめ組み込まれた本体一体型の SIM です。
SIM カードを挿入することなく、eSIM の契約と設定のみでデータ通信をご利用いただけます。
以下を参照して eSIM のアクティベーションを行ってください。

eSIM のアクティベーションは、インターネット通信が利用できる WindowsPC と専用ツールを使用し、
eSIM アクティベーションコードを入力して行います。
専用ツールはモデルによって異なります。詳細は下表をご参照ください。
eSIM アクティベーションコードは、QR コード等により通信事業者から提供されます。

モデル	専用ツールの名称	入手方法
簡単接続	FS045U eSIM アクティベーションツール	「+F FS045U 設定ツール」の「SIM1/SIM2/eSIM 設定」からダウンロードします。
セキュア接続 (モデムモード)	FS045U Data Connection Manager	「 4.1 FS045U Data Connection Manager 」をご参照ください。

■ 「簡単接続」モデルで eSIM のアクティベーションをする

「簡単接続」モデルでは、「FS045U eSIM アクティベーションツール」を使用します。ご使用の際は、「+F FS045U 設定ツール」の「[SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」の「FS045U eSIM アクティベーションツール」の「ダウンロード」からダウンロードしてください。
また、製品ページの「[ダウンロード](#)」および「[+F FS045U ご利用ガイド](#)」からもダウンロードが出来ます。

【必要なもの】

- ・インターネット通信が利用できるパソコン
- ・「FS045U eSIM アクティベーションツール」
- ・通信事業者から提供される QR コードまたはアクティベーションコード

【手順】

1. 「FS045U eSIM アクティベーションツール」を起動します。

- 「簡単接続」モデルをご使用の場合、「+F FS045U 設定ツール」にログインするための「パスワード」を入力します。
※「セキュア接続(モデムモード)」ではパスワードは不要です。
※詳細は「[3.1 +F FS045U 設定ツールにアクセスする](#)」をご参照ください。

3. 「eSIM の追加」を選択します。

- 4.** eSIM のアクティベーションコードを入力します。
「画像を選択」からパソコンに保存されている QR コードを利用することも可能です。
※エラーとなる場合は冒頭の「LPA:」を削除してお試しください。



The image shows a confirmation window for eSIM activation. At the top, it says '確認' (Confirmation). Below that, there are two input fields: 'アクティベーションコード' (Activation code) and '確認コード (任意)' (Confirmation code (optional)). To the right of the first field is a blue button labeled '画像を選択' (Select image). At the bottom, there are two buttons: a blue 'アクティベーション' (Activation) button and a white 'キャンセル' (Cancel) button.

- 5.** 通信事業者から提供された場合は確認コードを入力します。
- 6.** 「アクティベーション」を選択します。eSIM がアクティベーションされます。

メモ

- ・ eSIM でネットワークに接続できない場合は、プロファイル設定が正しいかご確認ください。
- ・ 本製品には最大 3 個の eSIM をインストールすることが可能です。
- ・ 「簡単接続」モデルでは、eSIM でネットワーク接続ができていない場合「FS045U eSIM アクティベーションツール」を使用して eSIM のアクティベーションを行う必要があります。
- ・ 「簡単接続」モデルでは、eSIM でネットワークに接続が出来ている場合のみ、パソコンの Web ブラウザからアクセスする「+F FS045U 設定ツール」から eSIM のアクティベーションが可能です。
「[3.3.2 SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」の「eSIM アクティベーション/編集/削除」をご参照ください。
- ・ eSIM のアクティベーションは、SIM1/SIM2 を選択している状態では行えませんのでご注意ください。

- 「セキュア接続(モデムモード)」モデルで eSIM のアクティベーションをする
「セキュア接続(モデムモード)」モデルでは、「FS045U Data Connection Manager」を使用します。
※詳細は「[4.1 +F FS045U Data Connection Manager](#)」をご参照ください。

【必要なもの】

- ・ インターネット通信が利用できるパソコン
- ・ 「FS045U Data Connection Manager」
- ・ 通信事業者から提供される QR コードまたはアクティベーションコード

【手順】

- 1.** 「FS045U Data Connection Manager」を起動します。
- 2.** 「環境設定」を選択します。
- 3.** 「接続設定」から「SIM1/SIM2/eSIM 設定」を選択します。
- 4.** 「eSIM」を選択した状態で、パソコンがインターネットに接続できることを確認します。

5. 「eSIM アクティベーションコード」にアクティベーションコードを入力します。
「QR 読み取り」からパソコンに保存されている QR コードを利用することも可能です。
※エラーとなる場合は冒頭の「LPA:」を削除してお試しください。
6. 通信事業者から確認コードを提供された場合は任意で「eSIM 確認コード」を入力します。
7. 「eSIM の追加」を選択します。
8. アクティベーションが完了すると eSIM リストにアクティベーションされた eSIM が表示されます。
9. 編集したい eSIM を選択して「編集」を選択すると「eSIM 名」と「eSIM ステータス」を設定できます。

メモ

- ・ eSIM でネットワークに接続できない場合は、プロファイル設定が正しいかご確認ください。
- ・ 本製品には最大 3 個の eSIM をインストールすることが可能です。
- ・ 「セキュア接続(モデムモード)」モデルではパソコンがネットワークに接続が出来ている時に「FS045U Data Connection Manager」から eSIM のアクティベーションが可能です。
詳細は「[4.1.3 SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」をご参照ください。
- ・ eSIM のアクティベーションは、SIM1/SIM2 を選択している状態では行えませんのでご注意ください。

1.3.2 eSIMの削除

eSIM の削除が必要になった場合は、以下を参照して eSIM の削除を行ってください。

eSIM の削除を行っても、回線のご契約は解約されませんのでご注意ください。eSIM の解約方法はご契約の通信事業者へお問い合わせください。

eSIM の削除は、「簡単接続」モデルでは「+F FS045U 設定ツール」の「[3.3.2 SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」の「eSIM アクティベーション/編集/削除」から、「セキュア接続(モデムモード)」モデルでは「FS045U Data Connection Manager」の「[4.1.3 SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」の「eSIM アクティベーション/編集/削除」から可能です。

メモ

- ・ 削除した eSIM はご利用できませんのでご注意ください。
- ・ 削除した eSIM を再度ご利用したい場合は、通信事業者にお問い合わせください。
- ・ eSIM の削除は「ステータス」が「有効」のときには行えませんのでご注意ください。

2 章 本製品について

本製品は、「簡単接続」と「セキュア接続(モデムモード)」の 2 つのモデルがあります。

2.1 「簡単接続」モデルの説明

「簡単接続」は、本製品を USB ポートに挿すだけで利用できます。

各種設定は、Web ブラウザから本製品の設定ツールにアクセスして行います。

設定情報は、「+F FS045U」本体に保持されます。

IP アドレスは、本製品から払い出された IP アドレスがパソコンなどの接続機器側に設定されます。

初期設定では「192.168.200.10～192.168.200.50」が払い出されます。

USB 接続時はデバイスマネージャー上で以下のデバイスとして認識されます。

・ネットワークアダプター:「Remote NDIS based Internet Sharing Device」



メモ

- 各種設定に関しては [3 章「簡単接続」モデルの各種設定](#)をご確認ください。

はじめてお使いになる場合は以下手順にて本製品をセットアップしてください。

2.1.1 SIMカードをご利用の場合

1. SIM カードを取り付けます。
※詳細は「[1.2.1 SIM カードの取り付け方](#)」をご参照ください。
2. 接続機器の USB ポートに接続します。
3. 接続機器でモバイルネットワークに接続できない場合は、本製品の設定をするために、「+F FS045U 設定ツール」にアクセスします。
※詳細は「[3.1 +F FS045U 設定ツールにアクセスする](#)」をご参照ください。
4. 「プロファイル設定(APN 設定)」でプロファイルの新規作成を行います。
「新規」を選択し、通信事業者から提供されたプロファイル情報を入力し「適用」を選択します。
※詳細は「[3.3.1 プロファイル設定\(APN 設定\)](#)」をご参照ください。

2.1.2 eSIMをご利用の場合

1. 接続機器の USB ポートに接続します。
2. eSIM のアクティベーションを行います。
※詳細は「[1.3 eSIM のアクティベーション/削除](#)」をご参照ください。

3. 接続機器でモバイルネットワークに接続できない場合は、本製品の設定をするために、「+F FS045U 設定ツール」にアクセスします。
※詳細は「[3.1 +F FS045U 設定ツールにアクセスする](#)」をご参照ください。
4. 「プロファイル設定(APN 設定)」でプロファイルの新規作成を行います。
「新規」を選択し、通信事業者から提供されたプロファイル情報を入力し「適用」を選択します。
※詳細は「[3.3.1 プロファイル設定\(APN 設定\)](#)」をご参照ください。

2.2 「セキュア接続(モデムモード)」モデルの説明

「セキュア接続(モデムモード)」は、以下の方法でネットワーク接続を行います。
M2M や IoT 機器との連携、ルーターへの組み込みなどの用途で利用できます。

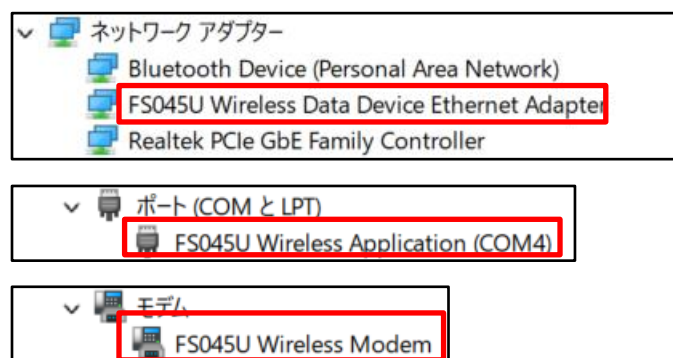
- ・専用ツール「FS045U Data Connection Manager」を使用する方法。
- ・AT コマンドによる制御を行う方法。

各種設定は、専用ツール「FS045U Data Connection Manager」から行います。
設定情報は、接続するパソコンなどの接続機器側に保持されます。

IP アドレスは、モバイルネットワーク側から払い出された IP アドレスがパソコンなどの接続機器側に設定されます。

USB 接続時はデバイスマネージャー上で以下のデバイスとして認識されます。

- ・ネットワークアダプター:「FS045U Wireless Data Device Ethernet Adapter」
- ・ポート:「FS045U Wireless Application」
- ・モデム:「FS045U Wireless Modem」



メモ

- ・ 各種設定に関しては「[4 章「セキュア接続\(モデムモード\)」モデルの各種設定](#)」をご確認ください。

パソコンで専用ツール「FS045U Data Connection Manager」を利用して、はじめてお使いになる場合は以下手順にて本製品をセットアップしてください。

2.2.1 SIMカードをご利用の場合

1. SIM カードを取り付けます。
※詳細は「[1.2.1 SIM カードの取り付け方](#)」をご参照ください。
2. パソコンの USB ポートに接続します。
3. 本製品の設定をするために、「FS045U Data Connection Manager」をインストールし、起動します。
※詳細は「[4.1 FS045U Data Connection Manager](#)」をご参照ください。

4. 「プロファイル設定」でプロファイルの新規作成を行います。
「新規」を選択し、通信事業者から提供されたプロファイル情報を入力し「OK」を選択します。
※詳細は「[4.1.4 SIM1/SIM2/eSIM のプロファイル](#)」をご参照ください。
5. モバイルネットワークの接続を行います。
接続画面で「接続」を選択します。ネットワークへの接続が開始されます。
※詳細は「[4.1.5 モバイルネットワークの接続](#)」をご参照ください。

2.2.2 eSIMをご利用の場合

1. パソコンの USB ポートに接続します。
2. eSIM のアクティベーションを行います。
※詳細は「[1.3 eSIM のアクティベーション/削除](#)」をご参照ください。
3. 本製品の設定をするために、「FS045U Data Connection Manager」をインストールし、起動します。
※詳細は「[4.1 FS045U Data Connection Manager](#)」をご参照ください。
4. 「プロファイル設定」でプロファイルの新規作成を行います。
「新規」を選択し、通信事業者から提供されたプロファイル情報を入力し「OK」を選択します。
※詳細は「[4.1.4 SIM1/SIM2/eSIM のプロファイル](#)」をご参照ください。
5. モバイルネットワークの接続を行います。
接続画面で「接続」を選択します。ネットワークへの接続が開始されます。
※詳細は「[4.1.5 モバイルネットワークの接続](#)」をご参照ください。

3 章「簡単接続」モデルの各種設定

3.1 +F FS045U設定ツールにアクセスする

接続機器の Web ブラウザで、本製品の各種設定ができます。
以下の Web ブラウザが利用可能です。

- ・ Microsoft Edge
- ・ Google Chrome
- ・ Safari

3.1.1 +F FS045U設定ツールのアクセス方法

接続機器の Web ブラウザから以下 URL をご入力ください。

http://192.168.200.1/



メモ

- ・ 「+F FS045U 設定ツール」にアクセスする IP アドレスは、お買い上げ時「192.168.200.1」に設定されています。

3.1.2 +F FS045U設定ツールの起動とログイン

パスワード

☐ パスワードを記憶する

ログイン

1. +F FS045U 設定ツールにアクセスします。
2. パスワード欄にパスワードを入力します。
3. 「ログイン」を選択します。

メモ

- ・ 初回ログイン時は、「ログインパスワードの変更」画面が表示されます。
- ・ 設定ツールは、インターネットから隔離された LAN 環境でのみアクセス可能です。インターネット(WAN 側)からのアクセスは遮断されており、安全な通信環境での使用を前提としています。
- ・ ログインパスワードを 3 回連続で間違えた場合、5 分間ロックされます。

3.1.3 +F FS045U設定ツールの画面



- ① 言語:+F FS045U 設定ツールの表示言語を選択できます。
- ② 取扱説明書:本書を設定ツールからダウンロードします。
- ③ ログアウト:+F FS045U 設定ツールからログアウトします。
- ④ 本製品の状態を表示します。
- ⑤ 設定項目の一覧を表示しています。
- ⑥ 設定機能の項目一覧を表示しています。

説明	説明
メッセージ通知	:未読メッセージあり
受信レベル	 「強い」 ←————→ 「弱い」
通信方式	5G :通信状態 4G :通信状態
SIM	:SIM1正常認識 :SIM2正常認識 :eSIM使用状態 :SIM1未挿入 :SIM2未挿入 :eSIM未アクティベーション
ローミング通信	:ローミング通信状態

3.2 端末情報の確認をする

3.2.1 接続情報

画面ナビ

基本情報 > 接続情報

SIM1/SIM2/eSIM の情報、データ通信量、接続情報(IP アドレス)の確認ができます。



表示項目	説明
SIM1/SIM2/eSIM 状態	SIM1/SIM2/eSIM のどれを利用しているかを表示します。
通信事業者名	接続中の通信事業者名(PLMN)を表示します。
データ使用状況	国内回線を利用したデータ通信量と国際ローミングを利用したデータ通信量のどちらを表示するかを選択します。
データ通信量 累計	データ通信量の累計を表示します。データ通信量は目安であり、通信事業者が測定するデータ通信量と異なります。 正確なデータ通信量をご契約の通信事業者へお問い合わせください。
データ通信量 1 ヶ月	ご利用月の 1 日～月末のデータ通信量を表示します。
データ通信量 3 日間	当日を含む直近 3 日間のデータ通信量を表示します。
データ通信量 1 日	当日のデータ通信量を表示します。
接続時間	ネットワークの接続時間(累積)を表示します。
最終リセット日	最後にデータ通信量リセットを行った日付を表示します。

表示項目	説明
IMEI	本製品の IMEI を表示します。
ソフトウェアバージョン	本製品のソフトウェアバージョンを表示します。
ICCID	現在利用中の SIM1/SIM2/eSIM の ICCID を表示します。
電話番号	SIM1/SIM2/eSIM に登録されている電話番号を表示します。 ※ご契約内容によっては表示されない場合があります。
EID	eSIM の識別番号を表示します。 ※eSIM をアクティベーションすると表示します。

表示項目	説明
WAN 側 IP アドレス	ネットワークから割り当てられた WAN IP アドレスを表示します。 インターネットに接続する際に利用します。
プライマリ DNS	ネットワークから割り当てられたプライマリ DNS を表示します。
セカンダリ DNS	ネットワークから割り当てられたセカンダリ DNS を表示します。
WAN IPv6 アドレス	ネットワークから割り当てられた WAN IPv6 アドレスを表示します。 インターネットに接続する際に利用します。
IPv6 プライマリ DNS	ネットワークから割り当てられた IPv6 プライマリDNSを表示します。
IPv6 セカンダリ DNS	ネットワークから割り当てられた IPv6 セカンダリDNSを表示します。

■ データ通信量リセット

現在記録されているデータ通信量をリセットすることができます。

1. 「接続情報」から「リセット」を選択します。
2. 通信に利用している「SIM1/SIM2/eSIM」の「データ通信量」がリセットされます。
※「SIM1/SIM2/eSIM 状態」に表示されている「SIM1/SIM2/eSIM」の「データ通信量」のみがリセットされます。

3.3 モバイルネットワークに関する設定をする

3.3.1 プロファイル設定(APN設定)

画面ナビ **モバイルネットワーク設定 > プロファイル設定(APN 設定)**

SIM1/SIM2/eSIM を利用するために必要なプロファイル設定を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

プロファイル設定

プロファイルの自動設定

新規

適用

キャンセル

設定項目	説明	設定値	初期値
プロファイル設定	「プロファイルの自動設定」を選択した場合は、本製品に搭載されたプロファイルを使用して自動的に接続動作を行います。登録されているプロファイルを選択した場合は、選択したプロファイルを使用して接続動作を行います。	プロファイルの自動設定 ※設定されたプロファイル名が表示されます。	プロファイルの自動設定

メモ

- ・ プロファイル設定は最大 20 件まで追加できます。
- ・ プロファイルの自動設定を選択して接続できた場合、搭載されたプロファイルがリストに表示されるようになります。
- ・ プロファイルの自動設定は、接続までに時間がかかる場合があります。
- ・ プロファイルの自動設定で接続できない場合、あるいはプロファイルを手動で設定したい場合は、次ページの「プロファイルの新規作成」をご参照ください。

■ プロファイルの新規作成/編集/削除

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

プロファイル設定(APN設定)

プロファイル名

ユーザー名

パスワード

APN

認証方式

接続方式

適用

キャンセル

「新規」

1. 新規にプロファイルを作成する場合は、「新規」を選択します。
2. 通信事業者から提供されたプロファイル情報を各設定項目に入力します。
3. 「適用」を選択します。

「編集」

1. プロファイルを編集する場合は、「プロファイル設定」から、編集したいプロファイル名を選択します。
2. 各設定項目をそれぞれ編集します。
3. 「適用」を選択します。
※本製品に搭載されたプロファイルを使用して自動的に接続操作を行う場合は、「プロファイルの自動設定」を選択してください。

「削除」

1. プロファイルを削除する場合は、「プロファイル設定」から、現在選択しているプロファイル以外のプロファイル名を選択します。
2. 「適用」を選択します。
3. プロファイル設定のプルダウンを選択します。
4. 削除したいプロファイルを選択します。
5. 「削除」を選択します。

設定項目	説明	設定値	初期値
プロファイル名	任意の「プロファイル名」を入力します。	半角英数字記号 最大 64 文字	—
ユーザー名	通信事業者から指定された「ユーザー名」を入力します。	半角英数字記号 最大 64 文字	—

設定項目	説明	設定値	初期値
パスワード	通信事業者から指定された「パスワード」を入力します。	半角英数字記号 最大 64 文字	—
APN	通信事業者から指定された「APN」を入力します。	半角英数字記号(「.」、 「-」) 最大 62 文字	—
認証方式	通信事業者から指定された「認証方式」を設定します。	CHAP	CHAP
		PAP	
接続方式	通信事業者から指定された「接続方式」を設定します。	IPv4/v6	IPv4/v6
		IPv4	
		IPv6	

3.3.2 SIM1/SIM2/eSIM設定

画面ナビ モバイルネットワーク設定 > SIM1/SIM2/eSIM 設定

SIM1/SIM2/eSIM の選択、接続するプロファイルの選択、および eSIM の設定を行います。

■ SIM1/SIM2 を利用する

利用する「SIM1」または「SIM2」を選択し、接続する SIM カードのプロファイルの選択を行います。



基本情報



モバイルネットワーク設定

プロファイル設定 (APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM設定

☒ SIM1

☐ SIM2

☐ eSIM

プロファイル設定

プロファイルの自動設定

適用

FS045U eSIMアクティベーションツール

ダウンロード

設定項目	説明	設定値	初期値
SIM1/SIM2/eSIM 設定	SIM1/SIM2/eSIM の選択をします。	SIM1	SIM1
		SIM2	
		eSIM	
プロフィール設定	「プロフィールの自動設定」を選択した場合は、本製品に搭載されたプロフィールを使用して自動的に接続動作を行います。 登録されているプロフィールを手動選択した場合は、選択したプロフィールを使用して接続動作を行います。	プロフィールの自動設定	プロフィールの自動設定
		※設定されたプロフィール名が表示されます。	

1. 「SIM1/SIM2/eSIM 設定」から「SIM1」または「SIM2」を選択します。
2. 「プロファイル設定」から「プロファイルの自動設定」または設定済のプロファイル名を選択します。
3. 「適用」を選択します。
4. プロファイルを新規で作成する場合は、「プロファイル設定 (APN 設定)」から作成してください。
詳細は「[3.3.1 プロファイル設定 \(APN 設定\)](#)」をご参照ください。

■ eSIM を利用する

利用する eSIM を選択し、接続する eSIM の設定やアクティベーションを行います。

※eSIM のアクティベーションが行われていない場合、eSIM の設定を行うことはできません。

※eSIM でネットワーク接続ができていない場合、eSIM のアクティベーションは専用ソフト「FS045U eSIM アクティベーションツール」で行う必要があります。

詳細は「[1.3.1 eSIM のアクティベーション](#)」をご参照ください。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING応答設定

MTU設定

LAN設定

ルータ設定

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1

SIM2

eSIM

eSIM選択

Sample

eSIM名

Sample

プロファイル設定

プロファイルの自動設定

適用

FS045U eSIMアクティベーションツール

ダウンロード

eSIMアクティベーション

eSIMの追加

eSIM名	ICCID	電話番号	ステータス	編集	削除
			有効	編集	削除

表示項目	説明	設定値	初期値
SIM1/SIM2/ eSIM設定	SIM1/SIM2/eSIMの選択をします。	SIM1	SIM1
		SIM2	
		eSIM	
eSIM選択	eSIMの選択をします。 ※最大3個のアクティベーションされたeSIMから選択できます。	※設定されたeSIM名が表示 されます。	—
eSIM名	アクティベーションされたeSIMの名称を 設定します。	※設定されたeSIM名が表示 されます。	—
プロファイル設定	接続するプロファイルを選択します。 「新規」を選択した場合は、通信事業者から 指定された情報を入力します。 「プロファイルの自動設定」を選択した場合 は、本製品に搭載されたプロファイルを使用 して自動的に接続操作を行います。	プロファイルの自動設定 ※設定されたプロファイルが 表示されます。	プロファイルの 自動設定

表示項目	説明	設定値	初期値
eSIMアクティベーション	eSIMのアクティベーションをするためのアクティベーションコードを入力します。 ※手順は次ページの「eSIMアクティベーション」をご参照ください。	アクティベーションコードを入力します。 ※エラーとなる場合は冒頭の「LPA:」を削除してお試しください。	—
ICCID	eSIMのICCIDを表示します。	※追加されたeSIMのICCIDが表示されます。	—
電話番号	eSIMの電話番号を表示します。	※追加されたeSIMの電話番号が表示されます。	—
ステータス	eSIMのステータスを表示します。 有効:現在選択されているeSIM 無効:現在選択されていないeSIM ※同時に複数のeSIMを有効にすることはできません。	※追加されたeSIMのステータスが表示されます。	—

1. 「SIM1/SIM2/eSIM 設定」から「eSIM」を選択します。
複数 eSIM をアクティベーションされている場合は「eSIM 選択」からご利用になる「eSIM 名」を選択します。
2. 「eSIM 名」を変更したい場合、「eSIM 名」で任意の名称を入力します。
3. 「プロファイル設定」から「プロファイルの自動設定」または登録されている「プロファイル名」を選択します。
プロファイルを新規で作成する場合は、「プロファイル設定」から作成してください。
詳細は「[3.3.1 プロファイル設定](#)」をご参照ください。
4. 「適用」を選択します。

■ eSIM アクティベーション/編集/削除

eSIM のアクティベーションを行います。

eSIM でネットワーク接続ができていない場合、eSIM のアクティベーションは専用ソフト「FS045U eSIM アクティベーションツール」で行う必要があります。

詳細は「[1.3.1 eSIM のアクティベーション](#)」をご参照ください。

※「SIM1/SIM2/eSIM 設定」の画面から eSIM のアクティベーションを行う場合は、eSIM を選択し、インターネットに接続できる状態であることを確認してください。

※eSIM のアクティベーションが行われていない場合、eSIM の設定を行うことはできません

1. eSIM を選択し、インターネットに接続ができることを確認します。
2. 「eSIM アクティベーション」にアクティベーションコードを入力します。
※エラーとなる場合は冒頭の「LPA:」を削除してお試しください。
3. 「eSIM の追加」を選択します。
4. アクティベーションが完了すると eSIM リストにアクティベーションされた eSIM が表示されます。
5. 編集したい eSIM の「編集」を選択すると「eSIM 名」と「ステータス」を設定できます。
6. 削除したい eSIM の「削除」を選択すると eSIM を削除できます。

メモ

- ・ eSIM でネットワークに接続できない場合は、プロファイル設定が正しいかご確認ください。
- ・ 本製品には最大 3 個の eSIM をアクティベーションすることが可能です。
- ・ eSIM でネットワーク接続ができていない場合「FS045U eSIM アクティベーションツール」を使用して eSIM のアクティベーションを行う必要があります。詳細、「[1.3.1 eSIM のアクティベーション](#)」をご参照ください。
- ・ eSIM のアクティベーションは、SIM1/SIM2 を選択している状態では行えませんのでご注意ください。
- ・ eSIM の削除は「ステータス」が「有効」のときには行えませんのでご注意ください。
- ・ 削除した eSIM はご利用できませんのでご注意ください。
- ・ 削除した eSIM を再度ご利用したい場合は、通信事業者にお問い合わせください。

3.3.3 SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

画面ナビ **モバイルネットワーク設定 > SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定**

利用する SIM1/SIM2/eSIM を自動的に切り替える設定を行います。
「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」を有効にすることで「通信状態」や「データ通信量」や「日時指定」の設定に応じて SIM1/SIM2/eSIM の自動切替を行うことができます。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定 (APN 設定)

SIM1/SIM2/eSIM 設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

ネットワーク設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

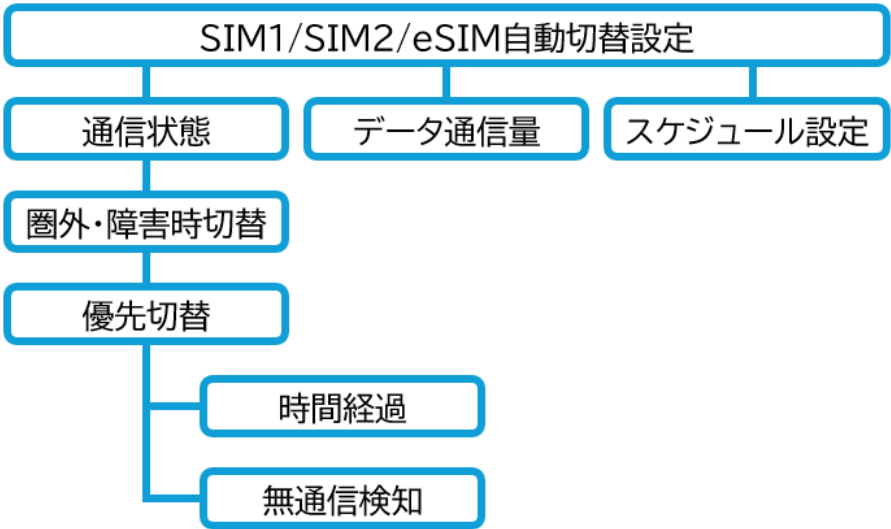
無効

適用

キャンセル

設定項目	説明	設定値	初期値
SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定	SIM1/SIM2/eSIM の自動切替を行うための条件を選択します。	無効	無効
		通信状態	
		データ通信量	
		スケジュール設定	

「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」では、以下の切替方法があります。



【通信状態】

「通信状態」では、「圏外・障害時切替」と「優先切替」の2種類の切替方式を設定できます。

【圏外・障害時切替】



圏外エリアに移動した際や、通信障害が発生した際に、自動切替を行うための設定ができます。

「疎通確認アドレス」に設定したアドレスに対して PING を送信し、通信確認を行います。設定した時間内に通信確認ができない場合は、「メイン回線」、「サブ回線 1」、「サブ回線 2」の順に自動切替を行います。

【メイン回線からサブ回線 1】

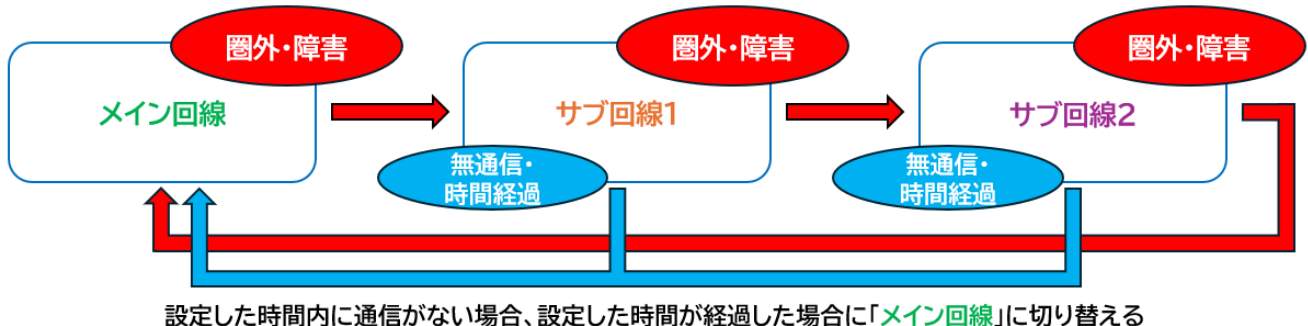
設定した時間内に通信確認ができない場合に、「サブ回線 1」に自動切替を行います。

【サブ回線 1 からサブ回線 2】

設定した時間内に通信確認ができない場合に、「サブ回線 2」に自動切替を行います。

※「サブ回線 2」を設定していない場合は、「メイン回線」に自動切替を行います。

【優先切替】



「メイン回線」に設定した SIM1/SIM2/eSIM へ優先的に、自動切替を行うための設定ができます。

「優先切替」は「無通信検知」または「時間経過」の切替条件が設定できます。

【無通信検知】

設定した時間内に通信がない場合に「メイン回線」に自動切替を行います。

【時間経過】

設定した時間が経過した場合に「メイン回線」に自動切替を行います。

■ 圏外・障害時切替で SIM1/SIM2/eSIM の自動切替をする

設定した時間内に通信確認ができない場合に、SIM1/SIM2/eSIM の自動切替を行う機能です。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING応答設定

MTU設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

通信状態

圏外・障害切替設定

メイン回線SIM15分

サブ回線1SIM25分

サブ回線2eSIM5分

疎通確認アドレス

確認

優先切替

優先設定有効無効

切替設定無通信検知5分

適用

キャンセル

1. 「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」から「通信状態」を選択します。
2. 「メイン回線」、「サブ回線 1」、「サブ回線 2」に設定する SIM1/SIM2/eSIM を選択します。
3. 「メイン回線」、「サブ回線 1」、「サブ回線 2」に「圏外・障害時切替」を行う判断時間を選択します。
4. 「疎通確認アドレス」に疎通確認を行うためのアドレスを入力します。
※アドレスを入力後、「確認」を選択すると「OK」または「NG」の結果が表示されます。
「NG」の場合は、モバイルデータ通信ができない状態であるか、アドレスが誤っている可能性があります。通信設定およびアドレスが正しいかご確認ください。
5. 「適用」を選択します。

設定項目	説明	設定値	初期値
メイン回線	メイン回線を設定します。	SIM1	SIM1
		SIM2	
		eSIM	
	メイン回線から自動切替を行うための判断時間を設定します。	無効 1 分～60 分 「1 分」を除き、5 分刻みで設定が可能です。	5 分
サブ回線 1	サブ回線 1 を設定します。	SIM1	SIM2
		SIM2	
		eSIM	
	サブ回線 1 から自動切替を行うための判断時間を設定します。	無効 1 分～60 分 「1 分」を除き、5 分刻みで設定が可能です。	5 分

設定項目	説明	設定値	初期値
サブ回線 2	サブ回線 2 を設定します。 「－」を設定した場合、メイン回線とサブ回線 1 のみで自動切替が動作します。	SIM1	eSIM
		SIM2	
		eSIM	
		－	
	サブ回線 2 から自動切替を行うための判断時間を設定します。	無効	5 分
		1 分～60 分 「1 分」を除き、5 分刻みで設定が可能です。	
疎通確認アドレス	サーバーアドレスを設定します。 設定したサーバーアドレス (IPv4) に対して PING を送信し、通信が可能なかを確認します。	0 ～ 255 の 4 組の数字	－

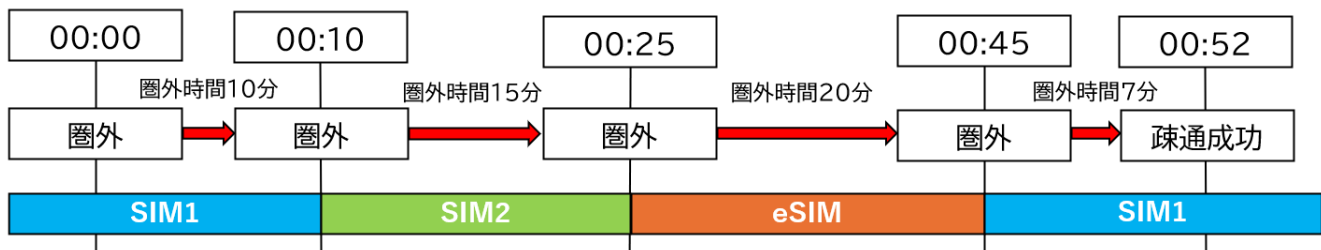
■ 設定例① 「圏外・障害時切替」を利用する

「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」を「通信状態」

「メイン回線」を「SIM1」、「10 分」

「サブ回線 1」を「SIM2」、「15 分」

「サブ回線 2」を「eSIM」、「20 分」に設定した場合



メモ

- ・「圏外・障害時切替」は、「疎通確認アドレス」に設定されたサーバーアドレスに対して PING を送信し、通信の確認を行います。判断時間を経過しても通信の確認ができない場合、自動切替が行われます。
例:「メイン回線」を利用中に 10 分間(設定した判断時間)通信の確認ができなかった場合、「サブ回線 1」に自動切替を行います。

■ 優先切替で「メイン回線」に自動切替をする

「サブ回線 1」または「サブ回線 2」の利用中に、通信状態や時間に応じて、「メイン回線」に自動切替を行う機能です。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定 (APN 設定)

SIM1/SIM2/eSIM 設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING応答設定

MTU設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

通信状態

圏外・障害切替設定

メイン回線

SIM1

5分

サブ回線 1

SIM2

5分

サブ回線 2

eSIM

5分

疎通確認アドレス

確認

優先切替

優先設定

有効

無効

切替設定

無通信検知

5分

適用

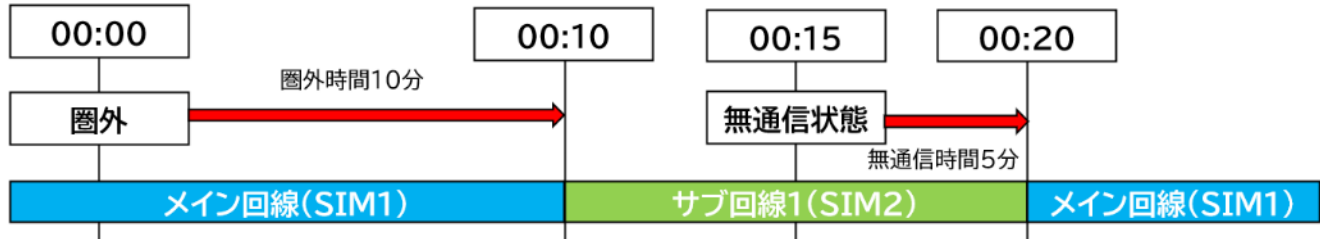
キャンセル

1. 「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」から「通信状態」を選択します。
2. 「メイン回線」、「サブ回線 1」、「サブ回線 2」に設定する SIM1/SIM2/eSIM を選択します。
3. 「メイン回線」、「サブ回線 1」、「サブ回線 2」に「圏外・障害時切替」を行う判断時間を選択します。
4. 「疎通確認アドレス」に疎通確認を行うためのアドレスを入力します。
※アドレスを入力後、「確認」を選択すると「OK」または「NG」の結果が表示されます。
「NG」の場合は、モバイルデータ通信ができない状態であるか、アドレスが誤っている可能性があります。通信設定およびアドレスが正しいかご確認ください。
5. 「優先設定」から「有効」を選択します。
6. 「切替設定」から「無通信検知」または「時間経過」と、「メイン回線」へ自動切替を行うための判断時間を選択します。
7. 「適用」を選択します。

設定項目	説明	設定値	初期値
優先設定	優先切替の「有効」/「無効」を設定します。	有効	有効
		無効	
切替設定	優先切替の切替方法を設定します。	無通信検知	無通信検知
		経過時間	
	設定した切替方法によって、「メイン回線」へ自動切替を行うための判断時間を設定します。	5 分	5 分
		30 分	
		1 時間	
		3 時間	
		6 時間	
		12 時間	
		24 時間	

■ 設定例② 「優先切替」の「無通信検知」を利用する

「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」を「通信状態」
 「メイン回線」を「SIM1」、「10 分」
 「サブ回線 1」を「SIM2」、「15 分」
 「サブ回線 2」を「eSIM」、「20 分」
 「優先設定」を「有効」
 「切替設定」を「無通信検知」、「5分」に設定した場合

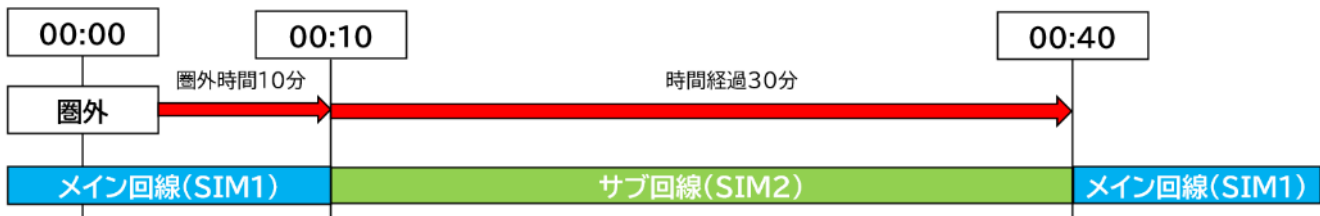


メモ

- ・「無通信検知」を設定した場合、「優先切替」の自動切替はデータ通信が発生していないときに行われます。
- ・無通信状態が判断時間を経過すると、「メイン回線」へ自動切替が行われます。
- ・「メイン回線」に切り替えた後、圏外などで通信ができない場合は、自動的に元の「サブ回線 1」または「サブ回線 2」に戻ります。再度、「無通信検知」の判定を行います。本製品が同一の場所にいる場合は、判定を行わない場合があります。

■ 設定例③ 「優先切替」の「時間経過」を利用する

「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」を「通信状態」
 「メイン回線」を「SIM1」、「10 分」
 「サブ回線 1」を「SIM2」、「15 分」
 「サブ回線 2」を「eSIM」、「20 分」
 「優先設定」を「有効」
 「切替設定」を「時間経過」、「30 分」に設定した場合



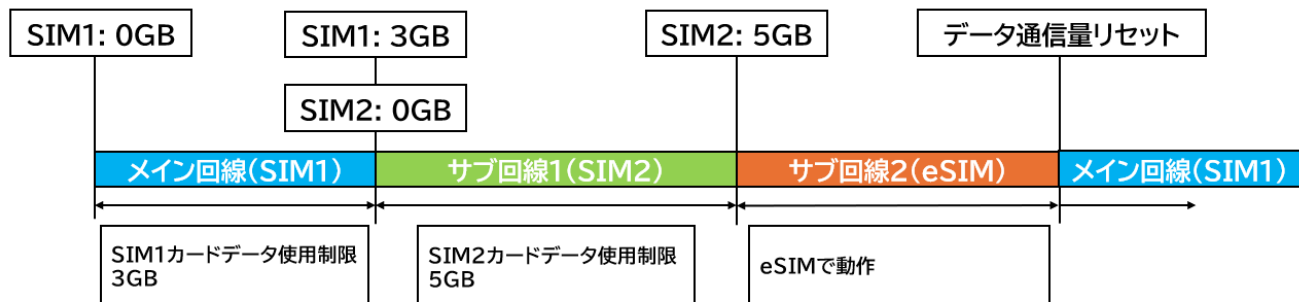
メモ

- ・「時間経過」を設定した場合、設定した時間が経過すると「メイン回線」へ自動切替が行われます。
- ・優先 SIM に切り替えた後、圏外などで通信ができない場合は、自動的に元の SIM カードまたは eSIM に戻ります。
- ・「メイン回線」に切り替えた後、圏外などで通信ができない場合は、自動的に元の「サブ回線 1」または「サブ回線 2」に戻ります。

■ データ通信量で SIM1/SIM2/eSIM の自動切替をする

データ通信量で自動的に SIM1/SIM2/eSIM を切り替えます。

【データ通信量】



設定したデータ通信量まで利用すると、「メイン回線」→「サブ回線 1」→「サブ回線 2」の順に自動切替を行います。

切替先の回線が設定したデータ通信量まで利用されている場合、自動切替は動作しません。再度「データ通信量」による自動切替を動作させたい場合は、SIM1/SIM2/eSIM ごとにデータ通信量のリセットを行う必要があります。データ通信量のリセット方法は、「[3.2.1 接続情報](#)」、「[3.3.6 データ通信量](#)」をご参照ください。

The screenshot shows the 'SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定' (SIM1/SIM2/eSIM Automatic Switching Settings) screen. The sidebar on the left includes options like '基本情報', 'モバイルネットワーク設定', 'プロフィール設定 (APN 設定)', 'SIM1/SIM2/eSIM 設定', 'SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定' (selected), 'ネットワーク設定', and 'バンド設定'. The main area is titled 'SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定' and features a dropdown menu for 'データ通信量' (Data Usage). Below this, there are three rows for 'データ使用制限' (Data Usage Limit) for 'メイン回線' (Main Line), 'サブ回線 1' (Sub-line 1), and 'サブ回線 2' (Sub-line 2). Each row has a dropdown for the line type (SIM1, SIM2, eSIM), a text input for the limit (500 MB is shown), and a unit dropdown (MB). At the bottom right, there are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

1. 「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」から「データ通信量」を選択します。
2. 「メイン回線」、「サブ回線 1」、「サブ回線 2」に設定する SIM1/SIM2/eSIM を選択します。
3. 「メイン回線」、「サブ回線 1」、「サブ回線 2」に「データ通信量」を設定します。
4. 「適用」を選択します。

設定項目	説明	設定値	初期値
メイン回線	メイン回線を設定します。	SIM1	SIM1
		SIM2	
		eSIM	
	メイン回線からサブ回線 1 へ自動切替を行うためのデータ通信量の上限を設定します。	1MB～999MB	500MB
		1GB～999GB	
		1TB～999TB	
サブ回線 1	サブ回線 1 を設定します。	SIM1	SIM2
		SIM2	
		eSIM	
	サブ回線 1 からサブ回線 2 へ自動切替を行うためのデータ通信量の上限を設定します。	1MB～999MB	500MB
		1GB～999GB	
		1TB～999TB	
サブ回線 2	サブ回線 2 を設定します。 「－」を設定した場合、メイン回線とサブ回線 2 のみで自動切替が動作します。	SIM1	eSIM
		SIM2	
		eSIM	
		－	
	サブ回線 2 から自動切替を行うための判断時間を設定します。	1MB～999MB	500MB
		1GB～999GB	
		1TB～999TB	

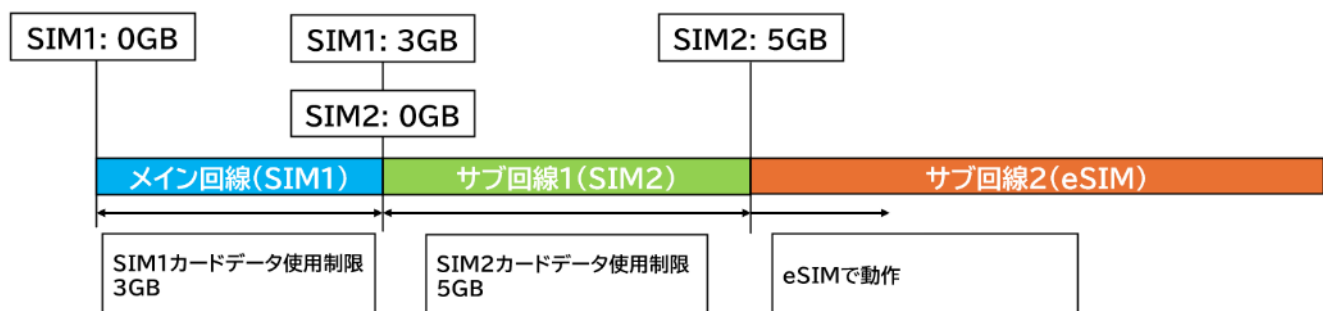
■ 設定例① 「データ通信量」を利用する

「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」を「データ通信量」

「メイン回線」を「SIM1」、「3GB」

「サブ回線 1」を「SIM2」、「5GB」

「サブ回線 2」を「eSIM」「10GB」に設定した場合



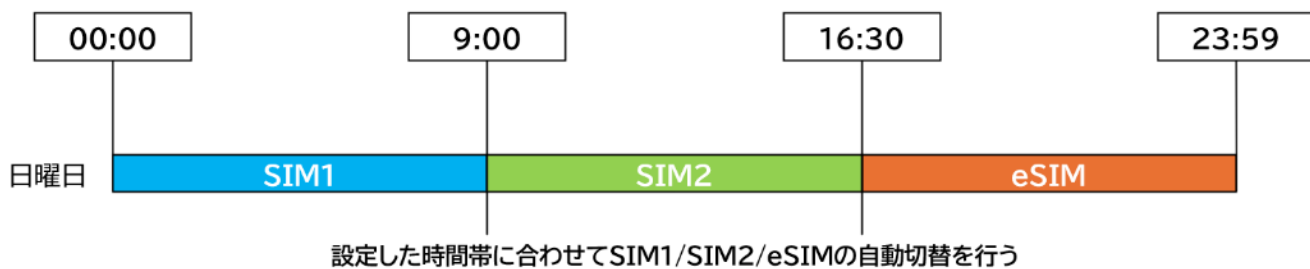
メモ

- 切替先の回線が設定したデータ通信量まで利用されている場合、自動切替は動作しません。再度「データ通信量」による自動切替を動作させたい場合は、SIM1/SIM2/eSIM ごとにデータ通信量のリセットを行う必要があります。データ通信量のリセット方法は、「[3.2.1 接続情報](#)」、「[3.3.6 データ通信量](#)」をご参照ください。

■ スケジュール設定で SIM1/SIM2/eSIM の自動切替をする

日時に SIM1/SIM2/eSIM の自動切替を行います。

【日時指定】



曜日ごとに時間帯を設定し、各時間帯に利用する SIM1/SIM2/eSIM を指定することができます。
設定した曜日の時間帯になると、その時間帯に割り当てられた SIM1/SIM2/eSIM に自動切替を行います。

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定 スケジュール設定

スケジュール設定

曜日	SIM1	SIM2	eSIM
日曜日	00:00 ~ 12:00	12:01 ~ 18:00	18:01 ~ 23:59
月曜日	00:00 ~ 17:30	未設定	未設定
火曜日	03:00 ~ 14:00	16:00 ~ 22:00	未設定
水曜日	未設定	06:00 ~ 12:00	13:00 ~ 23:00
木曜日	未設定	02:00 ~ 16:00	17:00 ~ 23:00
金曜日	未設定	未設定	未設定
土曜日	未設定	08:01 ~ 18:00	18:01 ~ 23:59

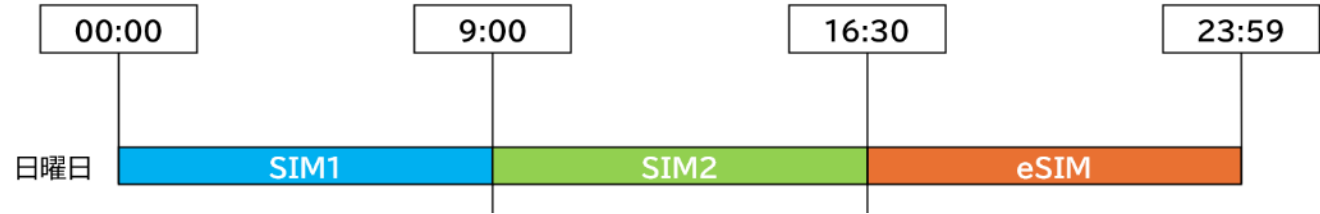
適用 キャンセル

1. 「SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定」から「スケジュール設定」を選択します。
2. 曜日ごとに SIM1/SIM2/eSIM の自動切替を行う時刻を設定します。
3. 「適用」を選択します。

設定項目	説明	設定値	初期値
日曜日～土曜日	SIM1/SIM2/eSIM を選択します。 「－」が設定されている時間帯は、自動切替は行われません。	SIM1	－
		SIM2	
		eSIM	
		－	
	SIM1/SIM2/eSIM を利用する時間帯を設定します。	00:00～23:59	－

■ 設定例① 「スケジュール設定」を利用する
日時で自動的に SIM1/SIM2/eSIM を切り替えます。

設定項目	説明	設定値
日曜日	SIM1/SIM2/eSIM を選択します。	SIM1 00:00～8:59
		SIM2 09:00～16:29
		eSIM 16:30～23:59



メモ

- ・ 本製品の時刻は、5G RedCap /4G 通信により取得されます。時刻を取得していない場合は、「スケジュール設定」による自動切替は動作しません。

3.3.4 ネットワーク設定

画面ナビ モバイルネットワーク設定 > ネットワーク設定

ネットワークに関する設定を行います。

 基本情報

 モバイルネットワーク設定

プロフィール設定 (APN 設定)

SIM1/SIM2/eSIM 設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

ネットワーク設定

ネットワークモード

5G RedCap/4G

▼

ローミング設定

☐ 有効 ☒ 無効



適用

ネットワーク検索

☒ 自動 ☐ 手動



適用

設定項目	説明	設定値	初期値
ネットワークモード	ネットワークの通信方式を設定します。	5G RedCap/4G	5G RedCap/4G
		5G RedCap	
		4G	
		4G(FD)	
		4G(TD)	
ローミング設定	ローミング設定の「有効」/「無効」を設定します。「無効」の場合はローミング環境では利用できません。	有効	無効
		無効	
ネットワーク検索	ネットワークの検索方法を指定します。「手動」に設定すると、周辺のネットワークを検索して手動で選択できます。	自動	自動
		手動	

メモ

- ・ 本製品は、非常時事業者間ローミングに対応しています。災害などでご利用中の通信事業者のモバイルデータ通信が利用できない場合に、他の通信事業者のモバイルデータ通信を利用できる場合があります。
- ・ 本製品は、国際ローミングに対応しています。「ローミング設定」を「有効」にすることで、日本国内の通信事業者契約のSIMカードまたはeSIMを海外で利用することができます。
- ・ 国際ローミング中は、データ通信料が非常に高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ・ ご利用のSIMカードまたはeSIMによっては、日本国内で利用する場合でも「ローミング設定」を「有効」にする必要があります。

3.3.5 バンド設定

画面ナビ モバイルネットワーク設定 > バンド設定

使用するネットワークのバンドに関する設定を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

バンド設定

5G RedCap バンド設定

☒

 n1

☒

 n3

☒

 n8

☒

 n18

☒

 n26

☒

 n28

☒

 n41

☒

 n77

☒

 n78

☒

 n79

4G バンド設定

☒

 B1

☒

 B3

☒

 B8

☒

 B11

☒

 B18

☒

 B19

☒

 B21

☒

 B26

☒

 B28

☒

 B39

☒

 B41

適用

キャンセル

設定項目	説明	設定値	初期値
5G RedCap バンド設定	5G RedCap 通信で使用するバンドを設定します。	n1、n3、n8、n18、 n26、n28、n41、 n77、n78、n79	※すべて選択されています。
4G バンド設定	4G通信で使用するバンドを設定します。	B1、B3、B8、B11、 B18、B19、B21、 B26、B28、B39、B41	※すべて選択されています。

☰ ×モ

- ・ ネットワーク設定「4G(TD)」を設定した場合、バンド 39、バンド 41 のみ接続されます。
- ・ ネットワーク設定「4G(FD)」を設定した場合、バンド 39、バンド 41 には接続されません。
- ・ 「5G RedCap バンド設定」「4G バンド設定」を変更した場合、電波環境や契約された通信事業者によってはご利用できなくなる可能性がありますので、基本はすべてのバンドを選択してご利用ください。
- ・ 表示されるバンドは「ネットワーク設定」で選択した「ネットワークモード」に応じて変わります。設定方法は「[3.3.4 ネットワーク設定](#)」をご参照ください。

3.3.6 データ通信量設定

画面ナビ モバイルネットワーク設定 > データ通信量設定

ディスプレイに表示するデータ通信量(分母)の設定と、データ通信量を自動リセット(毎日、毎週、毎月)する設定を行います。

また、データ通信量最大値に到達したときの動作を設定することができます。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING応答設定

MTU設定

LAN設定

ルータ設定

利用制限設定

システム設定

データ通信量設定

SIM1/SIM2/eSIM選択

SIM1

国内データ使用量

データ通信量 累積	0.00 KB	リセット
データ通信量 1ヶ月	0.00 KB	
データ通信量 3日間	0.00 KB	
データ通信量 1日	0.00 KB	

国際ローミングデータ使用量

データ通信量 累積	50.3 MB
データ通信量 1ヶ月	0.00 KB
データ通信量 3日間	0.00 KB
データ通信量 1日	0.00 KB

データ通信量最大値

MB

上限到達設定

制限なし

自動リセット設定

☐ 有効
☒ 無効

適用

キャンセル

* 自動リセット機能を有効にすると、設定した日の00:00を過ぎた時点で自動的にデータ通信量がリセットされますが、利用環境により実際の時刻とずれる場合があります。

* 『インターネットへのアクセスが制限されている』『NTPアドレスが誤っている』『圏外』『電源OFF』などの特定条件化においては正常に動作しません。

* 自動リセットが正常に動作しない場合は、本機能を無効にしてご利用ください。

設定項目	説明	設定値	初期値
SIM1/SIM2/eSIM の選択	SIM1/SIM2/eSIM の選択をします。	SIM1	SIM1
		SIM2	
		eSIM ※設定された eSIM 名が表示されます。	

設定項目	説明	設定値	初期値
データ通信量 累積	データ通信量の累積を表示します。 データ通信量のリセットが行われると、ご利用したデータ通信量の累積はリセットされます。	—	—
データ通信量 1 ヶ月間	ご利用月の1日～月末のデータ通信量を表示します。	—	—
データ通信量 3 日間	過去3日間のデータ通信量を表示します。	—	—
データ通信量 1 日	1日のデータ通信量を表示します。	—	—

設定項目	説明	設定値	初期値
データ通信量最大値	データ通信量の最大値を設定します。	0 ~ 999 MB	—
		0 ~ 999 GB	
		0 ~ 999 TB	
上限到達設定	「データ通信量最大値」に到達したときの動作を設定します。	通信停止	制限なし
		制限なし	
自動リセット設定	本製品のデータ通信量の自動リセットの「有効」/「無効」を設定します。	有効	無効
		無効	

メモ

- ・「データ通信量最大値」を「0」または入力せずに設定した場合、「データ通信量最大値」の設定が無効になります。
- ・正確なデータ通信量をご契約の通信事業者へお問い合わせください。
- ・「自動リセット設定」を「有効」にした場合、設定日の 00:00 を経過した時点で自動的にリセットしますが、使用環境によって実際の時刻から前後する場合があります。
- ・「自動リセット日」を 31 日に設定すると、月末日が 31 日に満たない月でも月末日にリセットします。
- ・31 日に設定した場合、31 日に満たない月は以下の月末日にリセットします。
※2月 28 日(うるう年:29 日)/4 月 30 日/6 月 30 日/9 月 30 日/11 月 30 日
- ・30 日に設定した場合、30 日に満たない月は以下の月末日にリセットします。
※2月 28 日(うるう年:29 日)
- ・インターネットへのアクセスが制限されている「圏外」「電源 OFF」などの特定条件下では、「自動リセット」が正常に動作しません。
- ・自動リセットが正常に動作しない場合は、本機能を「無効」にしてご使用ください

■ データ通信量リセット

現在記録されているデータ通信量をリセットすることができます。

1. 「データ通信量」からデータ通信量をリセットしたい「SIM1/SIM2/eSIM」を選択します。
2. 「データ通信量」から「リセット」を選択します。
3. 選択した「SIM1/SIM2/eSIM」の「データ通信量」がリセットされます。

3.3.7 PINコード設定

画面ナビ **モバイルネットワーク設定 > PINコード設定**

SIM1/SIM2/eSIM には、PIN コードと呼ばれる暗証番号を設定できます。PIN コードが「有効」の場合、本製品の起動または SIM1/SIM2/eSIM の切替ごとに 4～8 桁の暗証番号(半角数字)の入力が必要になり、第三者による無断使用を防ぐことができます。
本設定では PIN コードの「有効」/「無効」、PIN コードの「変更」を行います。

■ PINコードを有効にする

PIN コードを有効化します。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定 (APN 設定)

SIM1/SIM2/eSIM 設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING 応答設定

PINコード設定

PIN 状態

PINコード無効

残り試行回数 (PIN)

3

残り試行回数 (PUK)

10

PINコードの操作

☐ 有効

適用

キャンセル

1. 「PIN コードの操作」で「有効」を選択します。
2. 「現在の PIN コード」を入力します。
※PIN コードの初期値は、ご利用の通信事業者にご確認ください。
3. 「適用」を選択します。
PIN コードが「有効」になります。

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 状態	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードの状態を表示します。	—	—
残り試行回数 (PIN)	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM に対して入力可能な PIN コードの回数を表示します。	—	—
残り試行回数 (PUK)	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM に対して入力可能な PUK コードの回数を表示します。	—	—
現在の PIN コード	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードを入力します。	4～8桁の数字	—

メモ

- ・ PIN コードを「有効」にした場合、SIM1/SIM2/eSIM の変更時にも PIN コードの入力が必要になります。
- ・ PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コード(PUK)が必要になるためご注意ください。
PIN ロック解除コード(PUK)については、ご契約先の通信事業者にお問い合わせください。

PIN コードを変更する

PIN コードを変更します。
PIN コードが「有効」に設定されている場合に、PIN コードの変更ができます。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING応答設定

PINコード設定

PIN状態PINコード有効

残り試行回数(PIN)3

残り試行回数(PUK)10

PINコードの操作

変更

無効

現在のPINコード

新しいPINコード

新しいPINコードの確認

適用

キャンセル

PINコード自動入力

有効

無効

適用

キャンセル

1. 「PIN コードの操作」で「変更」を選択します。
2. 「現在の PIN コード」を入力します。
3. 「新しい PIN コード」と「新しい PIN コードの確認」を入力します。
4. 「適用」を選択します。
PIN コードが変更されます。

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 状態	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードの状態を表示します。	—	PIN コード有効
残り試行回数(PIN)	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM に対して入力可能な PIN コードの回数を表示します。	—	—
残り試行回数(PUK)	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM に対して入力可能な PUK コードの回数を表示します。	—	—
PIN コードの操作	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードの「変更」を行うか、「無効」に設定します。	変更 無効	—
現在の PIN コード	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—

- 55 -

設定項目	説明	設定値	初期値
新しい PIN コード	新しく設定する PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—
新しい PIN コードの確認	新しく設定する PIN コードを再入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—
PIN コード自動入力	PIN コード自動入力の「有効」/「無効」を設定します。「有効」の場合、本製品の起動または SIM1/SIM2/eSIM の切替時の PIN コードの入力が不要になります。	有効	無効
		無効	

メモ

- ・ PIN コードおよび PIN ロック解除コード(PUK)は、通信事業者から指定された値を入力してください。
- ・ PIN コードおよび PIN ロック解除コード(PUK)は、他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PIN コードには、「生年月日」、「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。

■ PIN コードを無効にする

PIN コードを無効化します。
PIN コードが「有効」の場合、PIN コードを「無効」にできます。

1. 「PIN コードの操作」で「無効」を選択します。
2. 「現在の PIN コード」を入力します。
※PIN コードの初期値は、ご利用の通信事業者にご確認ください。
3. 「適用」を選択します。
PIN コードが「無効」になります。

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 状態	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードの状態を表示します。	—	PIN コード有効
残り試行回数(PIN)	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM に対して入力可能な PIN コードの回数を表示します。	—	—
残り試行回数(PUK)	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM に対して入力可能な PUK コードの回数を表示します。	—	—
PIN コードの操作	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードの「変更」を行うか、「無効」に設定します。	変更 無効	—
現在の PIN コード	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—
PIN コード自動入力	PIN コード自動入力の「有効」/「無効」を設定します。「有効」の場合、本製品の起動または SIM1/SIM2/eSIM の切替時に PIN コードの入力が不要になります。	有効 無効	無効

メモ

- ・ PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コード(PUK)が必要になるためご注意ください。PIN ロック解除コード(PUK)については、ご契約先の通信事業者にお問い合わせください。

■ PIN コードを解除する

ご使用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードが「有効」の場合、本製品の起動または SIM1/SIM2/eSIM の切替ごとに PIN コードの解除が必要です。

PIN コードを解除するまでモバイルネットワークへの接続はできません。

PIN コードを 3 回間違えた場合、PIN ロック状態になります。

PIN ロック状態は PIN ロック解除コード(PUK)を入力することで解除されます。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING応答設定

PINコード設定

PIN状態

SIMまたはeSIMのPIN認証が有効です。PINコードを入力してください。

残り試行回数(PIN)

3

残り試行回数(PUK)

10

PINコードの操作

☒ 認証
 ☐ 無効

?

現在のPINコード

適用

キャンセル

PINコード自動入力

☐ 有効
 ☒ 無効

?

適用

キャンセル

1. 「PIN コードの操作」で「認証」を選択します。
2. 「現在の PIN コード」に PIN コードを入力します。
※PIN コードの初期値は、ご利用の通信事業者にご確認ください。
3. 「適用」を選択します。
PIN コードが解除されます。
※PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コード(PUK)が必要になるため
ご注意ください。PIN ロック解除コード(PUK)については、ご契約先の通信事業者にお問い合わせ
ください。

■ PIN ロック状態を解除する

PIN コードを 3 回間違えた場合、PIN ロック状態になります。
PIN ロック状態は PIN ロック解除コード(PUK)を入力することで解除されます。
PIN ロック解除コード(PUK)を 10 回連続で間違えると、SIM カードが完全にロックされます。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING応答設定

MTU設定

PINコード設定

PIN状態

SIMまたはeSIMがPINロックされています。 PUKコードを入力してください。

残り試行回数(PIN)

0

残り試行回数(PUK)

10

PINコードの操作

PUK

?

PUK

新しいPINコード

新しいPINコードの確認

適用

キャンセル

PINコード自動入力

有効

無効

?

適用

キャンセル

1. 「PUK」に PIN ロック解除コード(PUK)を入力します。

2. 「新しい PIN コード」と「新しい PIN コードの確認」に新しく設定する PIN コードを入力します。

3. 「適用」を選択します。

設定項目	説明	設定値	初期値
PUK	ご利用中の SIM カードの PIN ロック状態を解除するためのコードを入力します。	—	—
新しい PIN コード	新しく設定する PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—
新しい PIN コードの確認	新しく設定する PIN コードを再入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—

- 58 -

メモ

- ・ PIN コードおよび PIN ロック解除コード(PUK)は、通信事業者から指定された値を入力してください。
- ・ PIN コードおよび PIN ロック解除コード(PUK)は、他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PIN コードには、「生年月日」、「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。
- ・ PIN ロック解除コードについては、ご契約先の通信事業者にお問い合わせください。
- ・ PIN ロック状態で PIN ロック解除コード(PUK)の入力を 10 回連続で間違えると、ご利用中の SIM カードが完全にロックされます。その場合はご契約いただいた通信事業者にお問い合わせください。

3.3.8 PING 応答

画面ナビ **モバイルネットワーク設定 > PING 応答**

「[3.2.1 接続情報](#)」に表示される WAN IP アドレスに対して送信された PING に対する応答設定を行います。本設定を「有効」に変更すると PING に対して応答を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定(APN設定)

SIM1/SIM2/eSIM設定

SIM1/SIM2/eSIM自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING応答設定

MTU設定

PING応答設定

PING 応答設定

☐ 有効

☒ 無効

適用

キャンセル

*初期設定は無効です。

*グローバルIPアドレスが付与されたSIM1/SIM2/eSIMを使用する場合、予期しないPINGを受信し、不要な通信が発生する可能性があります。

*悪意のあるユーザーによって本製品が特定されるおそれがあります。設定を有効にする際は十分ご注意ください。

設定項目	説明	設定値	初期値
PING 応答設定	PING 応答設定の「有効」/「無効」を設定します。	有効	無効
		無効	

メモ

- ・ 「有効」に設定すると、グローバル IP アドレスが付与された SIM カードを使用している場合は、想定していない PING を受信し、不要なデータ通信が発生する可能性があります。
- ・ 「有効」に設定すると、悪意あるユーザーにネットワーク機器を特定される可能性がありますのでご注意ください。

3.3.9 MTU

画面ナビ **モバイルネットワーク設定 > MTU**

MTU 値の設定を行います。
MTU とは、1 回の通信で送信できるパケットの最大サイズです。

基本情報

モバイルネットワーク設定

プロファイル設定 (APN 設定)

SIM1/SIM2/eSIM 設定

SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定

ネットワーク設定

バンド設定

データ通信量設定

PINコード設定

PING 応答設定

MTU 設定

MTU 設定

MTU 値

1422

適用

キャンセル

*初期値は1422に設定されています。

*MTU値を変更した場合、ご利用の環境によっては通信速度が遅くなるなどの影響が出る可能性がありますので、基本的には初期値のままご利用ください。

設定項目	説明	設定値	初期値
MTU 値	MTU 値を設定します。	1280 ~ 1500	1422

 メモ

- ・「MTU 値」を変更した場合、ご利用の環境によっては通信速度が遅くなる等の影響が出る場合がありますので、基本は初期値のままご利用ください。

3.4 LANに関する設定をする

3.4.1 DHCP

画面ナビ

LAN 設定 > DHCP

DHCP に関する設定を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

DHCP

ルータ設定

利用制限設定

システム設定

メッセージ

ソフトウェアアップデート

DHCP

IPアドレス

192.168.200.1

?

サブネットマスク

255.255.255.0

DHCPサーバ

☒有効

☐無効

DHCP IPプール

192.168.200.10 - 192.168.200.50

?

DHCPリースタイム

1日

▼

DNS設定

☒自動

☐手動

☐選択

適用

キャンセル

*本設定はIPv4のみ対応しています。

*本設定を変更する場合は、必ず変更後の設定値を控えてください。DHCPアドレスの変更やDHCPサーバ機能を無効に設定すると本製品に接続できなくなる可能性があります。

設定項目	説明	設定値	初期値
IP アドレス	本製品のプライベート IP アドレスを設定します。	0 ～ 255 の 4 組の数字	192.168.200.1
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。	0 ～ 255 の 4 組の数字	255.255.255.0
DHCP サーバ	DHCP サーバの「有効」/「無効」を設定します。	有効 無効 無効にすると本製品に接続できなくなる可能性があります。	有効
DHCP IP プール	接続した機器に割り当てるプライベート IP アドレスの範囲を設定します。	0 ～ 255 の 4 組の数字	192.168.200.10 ～ 192.168.200.50
DHCP リースタイム	接続した機器に割り当てた「IP アドレス」のリースタイムを設定します。	30分 1時間 2時間 半日 1日 2日 1週間 2週間	1 日

設定項目	説明	設定値	初期値
DNS 設定	DNS のアドレスを「自動」「手動」「選択」で設定します。	自動	自動
		手動 0 ~ 255 の 4 組の数字	
		選択 ・Cloudflare ・OpenDNS ・Quad9	
プライマリ DNS	DNS 設定で「手動」を選択したとき、プライマリ DNS の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255の4組の数字	—
セカンダリ DNS	DNS 設定で「手動」を選択したとき、セカンダリ DNS の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255の4組の数字	—
選択	DNS 設定で「選択」を選択したとき、リストからパブリックDNSを設定することができます。	Cloudflare	Cloudflare
		OpenDNS	
		Quad9	

メモ

- ・ 本設定は IPv4 のみ対応しています。
- ・ 本設定の「IP アドレス」を変更すると、本製品の設定ツールにアクセスするための URL が変更した「IP アドレス」に切り替わります。お買い上げ時の「http://192.168.200.1/」では設定ツールにアクセスができなくなりますのでご注意ください。
- ・ 本設定を変更する場合は、必ず変更前後の設定値を控えてください。
DHCP アドレスの変更や DHCP サーバ機能を無効にすると本製品に接続できなくなる可能性があります。

3.5 セキュリティに関する設定をする

3.5.1 IPフィルタリング

画面ナビ **ルータ設定 > IP フィルタリング**

IP フィルタリングの設定を行います。
追加した IP アドレスのアクセスを「許可」または「禁止」する設定ができます。
本設定を「許可」に設定すると追加した IP アドレスのみ接続が可能となります。
本設定を「禁止」に設定すると追加した IP アドレスのみ接続が不可能となります。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

IPフィルタリング

ポートマッピング

URLフィルタリング

DMZ設定

NAT設定

UPnP/VPN/パススルー

IPフィルタリング

IPフィルタリング

無効

適用

プロトコル

TCP

LAN側IPアドレス

/

LANポート番号

-

WAN側IPアドレス

/

WANポート番号

-

方向

OUT

ステータス

☐有効

☒無効

追加

設定項目	説明	設定値	初期値
IP フィルタリング	追加した IP アドレスへのアクセスの「許可」/「禁止」を行うか、「無効」に設定します。	無効 本機能を無効にします。	無効
		許可 追加した IP アドレスのみアクセスが可能です。	
		禁止 追加した IP アドレスのアクセスを禁止します。	
プロトコル	IP フィルタリングの対象とするプロトコルを設定します。	TCP	TCP
		UDP	
		TCP/UDP	
LAN 側 IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする LAN 側の IP アドレスと CIDR 値を設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字 /0~32 の数字 例:192.168.200.20/32	—
LAN ポート番号	IP フィルタリングの対象とする LAN のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	—
WAN 側 IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする WAN 側の IP アドレスと CIDR 値を設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字 /0~32 の数字 例:192.168.200.20/32	—
WAN ポート番号	IP フィルタリングの対象とする WAN のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	—

設定項目	説明	設定値	初期値
方向	IP フィルタリングの対象とする送信、受信の方向を設定します。	OUT	OUT
		IN	
ステータス	登録した IP フィルタリングごとに「有効」/「無効」を設定します。	有効	無効
		無効	

メモ

- ・ IP フィルタリングは最大 33 件まで追加できます。

3.5.2 ポートマッピング

画面ナビゲーション ルータ設定＞ ポートマッピング

ポートマッピングの設定を行います。
本設定は WAN からのアクセスを LAN アドレスにマッピングする機能です。

設定項目	説明	設定値	初期値
ポートマッピング	ポートマッピングの「有効」/「無効」を設定します。	有効	無効
		無効	
設定名	追加するポートマッピングに任意の設定名を設定します。	半角英数字記号 (,":;¥&<>を除く) 半角最大 64 文字	—
LAN ポート番号	ポートマッピングの対象とする LAN 側ポート番号を設定します。	1 ～ 65535	—
WAN ポート番号	ポートマッピングの対象とする WAN 側ポート番号を設定します。ハイフンを指定することでポート番号の範囲指定ができます。(例:100-200)	1 ～ 65535	—

設定項目	説明	設定値	初期値
プロトコル	ポートマッピングの対象とするプロトコルを設定します。	TCP	TCP
		UDP	
		TCP/UDP	
LAN 側 IP アドレス	ポートマッピングの対象とする LAN 側の IP アドレスを設定します。 例:192.168.200.20	0 ~ 255 の 4 組の数字	—
ステータス	登録したポートマッピングごとに「有効」/「無効」を設定します。	有効	無効
		無効	

メモ

- ・ ポートマッピングは最大 30 件まで追加できます。

3.5.3 URLフィルタリング

画面ナビゲーション ルータ設定 > URL フィルタリング

URL フィルタリングの設定を行います。
URL フィルタリング機能は、ドメイン名を設定することで、該当 URL へのアクセスを制限できます。
本設定を「許可」に設定すると追加したドメイン名のみアクセスすることができます。
本設定を「禁止」に設定すると追加したドメイン名のみアクセスすることが不可能となります。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

IPフィルタリング

ポートマッピング

URLフィルタリング

DMZ設定

NAT設定

URLフィルタリング

URLフィルタリング 無効 ?

適用

キーワード

ステータス ☐ 有効 ☒ 無効

追加

設定一覧 削除

☐	キーワード	ステータス	操作
☐	example.com	無効	編集

設定項目	説明	設定値	初期値
URL フィルタリング	URL フィルタリングリストに追加されたアドレスへのアクセスの「許可」/「禁止」を行うか、「無効」に設定します。	無効 本機能を無効にします。	無効
		許可 追加したドメイン名のみアクセスが可能です。	
		禁止 追加したドメイン名のアクセスを禁止します。	
キーワード	ドメイン名を設定します。	半角英数字記号 (,":;¥&<>を除く) 最大 32 文字	—

3.5.5 NAT設定

画面ナビ **ルータ設定 > NAT 設定**

NAT の設定を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

IPフィルタリング

ポートマッピング

URLフィルタリング

DMZ設定

NAT設定

UPnP/VPN/パススルー

NAT設定

NAT設定

Symmetric

TCP NATタイマー

300

UDP NATタイマー

300

適用

キャンセル

設定項目	説明	設定値	初期値
NAT 設定	本製品のNATタイプを設定します。	Symmetric	Symmetric
		Full Cone	
		Restrict Cone	
		Port Restrict Cone	
TCP NATタイマー	TCPプロトコル通信におけるNAPT機能のIPアドレス/ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。	30 ~ 86400	300
UDP NATタイマー	UDPプロトコル通信におけるNAPT機能のIPアドレス/ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。	30 ~ 86400	300

3.5.6 UPnP/VPNパススルー

画面ナビ **ルータ設定 > UPnP/VPN パススルー**

パススルーの設定を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

IPフィルタリング

ポートマッピング

URLフィルタリング

DMZ設定

NAT設定

UPnP/VPNパススルー

利用制限設定

UPnP/VPNパススルー

UPnP

☐有効

☒無効

?

L2TPパススルー

☒有効

☐無効

?

PPTPパススルー

☒有効

☐無効

IPSecパススルー

☒有効

☐無効

不正アクセスブロック

☐有効

☒無効

適用

キャンセル

設定項目	説明	設定値	初期値
UPnP	UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)は、周辺機器、情報家電などUPnP対応デバイスを接続する機能を提供します。必要ない場合はセキュリティ上、無効にすることをお勧めします。	有効	無効
		無効	
L2TP パススルー		有効	有効
		無効	
PPTP パススルー		有効	有効
		無効	
IPsec パススルー		有効	有効
		無効	
不正アクセスブロック	外部からの不正なアクセスをブロックすることができます。 ※すべての不正なアクセスをブロックする機能ではありません。	有効	無効
		無効	

3.6 利用制限に関する設定をする

SIM/eSIM の「ICCID」を用いた利用制限ができます。
SIM/eSIM を制限することで、意図しない SIM/eSIM の利用を防止します。

3.6.1 基本設定

画面ナビ **利用制限設定 > 基本設定**

利用制限設定を開く際の利用制限パスワードの設定、および設定ファイルのインポートを行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

利用制限設定

基本設定

SIM/eSIM制限設定

基本設定

インポート設定

ファイルを選択

インポート

利用制限パスワード設定 ☐ 有効

適用

■ 利用制限設定のインポート

1.
- 「インポート設定」から「ファイルを選択」を選択します。
2.
- 接続した機器に保存されている本製品の設定情報ファイル「config(拡張子.txt)」を選択します。
3.
- 「インポート」を選択すると、再起動し、利用制限設定の情報がインポートされます。
※異なるファイルを選択した場合、正しくインポートできませんのでご注意ください。

メモ

- インポートファイルは、当社(富士ソフト株式会社)またはご契約先の販売店へご相談ください。
- 設定情報ファイル「config(拡張子.txt)」を書き換えないでください。
- 拡張子は OS によって表示されない場合があります。

設定項目	説明	設定値	初期値
利用制限パスワード設定	利用制限設定を開く際の利用制限パスワードの「有効」/「無効」/「変更」を設定します。	有効	無効
		無効	
		変更	
新しい利用制限パスワード	利用制限設定を開く際の新しい利用制限パスワードを設定します。	半角英数字記号 (, ; : ¥ & < > を除く) 8~15 文字	-
新しい利用制限パスワードの確認	新しい利用制限パスワードを再入力します。	半角英数字記号 (, ; : ¥ & < > を除く) 8~15 文字	-

3.6.2 SIM/eSIM制限設定

画面ナビ **利用制限設定 > SIM/eSIM 制限設定**

SIM/eSIM の固有情報である「ICCID」を用いて、利用する SIM/eSIM を制限することができます。
追加した「ICCID」の SIM/eSIM のみモバイルネットワークへの接続を許可します。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

利用制限設定

基本設定

SIM/eSIM制限設定

システム設定

SIM/eSIM制限設定

SIM/eSIM制限の状態

有効

設定名

ICCID

自動取得

追加

設定項目	説明	設定値	初期値
SIM/eSIM 制限設定	SIM/eSIM 制限のステータスを「無効」/ 「有効」に設定します。	無効	無効
		有効	
設定名	追加する「ICCID」に任意の「設定名」を入力します。	半角英数字記号 (, " ; ¥ & < > を除く) 半角最大 64 文字	—
ICCID	SIM/eSIM の「ICCID」を入力します。	15～22 桁の数字	—
自動取得	利用している SIM/eSIM の「ICCID」を自動で入力します。	—	—

 メモ

- SIM/eSIM 制限設定は最大 30 件まで追加できます。

3.7 システムに関する設定をする

3.7.1 ログインパスワード

画面ナビゲーション システム設定 > ログインパスワード

設定ツールにログインするためのパスワードの変更を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

利用制限設定

システム設定

ログインパスワード

LED点灯設定

ログインパスワード

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワードの確認

適用

キャンセル

*ログインパスワードは8文字以上15文字以下の半角英数字と半角記号(, ; : ¥ & < > スペース除く)で入力してください。

設定項目	説明	設定値	初期値
現在のパスワード	現在のログインパスワードを入力します。	半角英数字記号 (, ; : ¥ & < > を除く) 8～15 文字	—
新しいパスワード	新しいログインパスワードを入力します。	半角英数字記号 (, ; : ¥ & < > を除く) 8～15 文字	—
新しいパスワード の確認	新しいログインパスワードを再入力します。	半角英数字記号 (, ; : ¥ & < > を除く) 8～15 文字	—

メモ

- ・ ログインパスワードを忘れた場合、初期設定に戻すことができず「+F FS045U 設定ツール」にログインができなくなります。紛失や失念が無いよう、必ずお客様ご自身で安全に保管・管理してください。

3.7.2 LED点灯設定

画面ナビ **システム設定 > LED 点灯設定**

本製品の LED 点灯の設定を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

利用制限設定

システム設定

ログインパスワード

LED点灯設定

時刻設定

LED点灯設定

LED点灯設定

有効

無効

適用

キャンセル

設定項目	説明	設定値	初期値
LED点灯設定	LED点灯の「有効」/「無効」を設定します。	有効	有効
		無効	

3.7.3 時刻設定

画面ナビ **システム設定 > 時刻設定**

本製品の時刻設定を行います。

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

利用制限設定

システム設定

ログインパスワード

LED点灯設定

時刻設定

保存と復元

時刻設定

NTPアドレス

ntp.nict.jp

?

適用

キャンセル

設定項目	説明	設定値	初期値
NTPアドレス	NTPアドレスを設定します。 NTPアドレスはホスト名で入力します。	最大128文字	ntp.nict.jp

 メモ

- ・ 時刻設定はモバイル通信上で行われるため、データ通信料が発生する場合があります。
- ・ 閉域 SIM など、接続先が制限された SIM または eSIM をご利用のとき、時刻設定が行われない場合があります。
- ・ 海外でご利用の場合、タイムゾーンの設定値が自動で切り替わります。
- ・ 時刻設定が正しく設定されていない場合、SIM1/SIM2/eSIM 自動切替設定、データ通信量の自動リセット設定、自動再起動設定の機能が正常に動作しない場合があります。

3.7.4 保存と復元

画面ナビ システム設定 > 保存と復元

本製品に設定した情報の保存と復元を行います。
ご利用の機器によっては、本機能はご利用できない場合があるためご注意ください。



保存と復元

設定の保存 保存

復元ファイルの選択

ファイルを選択 復元

基本情報

モバイルネットワーク設定

LAN設定

ルータ設定

利用制限設定

システム設定

ログインパスワード

LED点灯設定

時刻設定

保存と復元

工場出荷設定(初期化)

■ 保存をする

1. 「設定の保存」の「保存」を選択します。
2. 設定情報ファイル「config(拡張子.tar.gz)」がパソコンに保存されます。

メモ

- ・ 保存ファイル「config(拡張子.tar.gz)」は解凍しないで下さい。
- ・ 拡張子は OS によって表示されない場合があります。

■ 復元をする

1. 「復元ファイルの選択」の「ファイルを選択」を選択します。
2. 接続した機器に保存されている本製品の設定情報ファイル「config(拡張子.tar.gz)」を選択します。
3. 「復元」を選択すると、再起動し、設定情報が復元されます。
※異なるファイルを選択した場合、正しく復元できませんのでご注意ください。

3.7.5 工場出荷設定(初期化)

画面ナビゲーション システム設定 > 工場出荷設定(初期化)

初期化を行います。
「初期化」を選択すると、本製品の設定値がすべて初期状態に戻ります。



■ 端末の初期化をする

本製品の設定値を初期状態に戻します。

1. 「初期化」を選択します。
2. 本製品が初期化され、再起動します。

■ 「SIM1/SIM2/eSIM 設定」の設定値を保持したまま端末の初期化をする

本製品の「[SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」と「[プロファイル設定\(APN 設定\)](#)」の設定値を保持したまま、それ以外のすべての設定値を初期状態に戻します。

1. 「SIM1/SIM2/eSIM 設定を除く」を選択します。
2. 「初期化」を選択します。
3. 本製品が初期化され、再起動します。
「[SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」と「[プロファイル設定\(APN 設定\)](#)」の設定値は初期化されません。

📝 メモ

- ・ 端末の初期化後、本製品は自動で再起動します。
- ・ 本製品の設定値が初期状態に戻ります。初期化前に必ず設定の保存を行ってください。
本製品の初期化後は、保存したファイルを使用して、設定を復元してください。
設定の保存と復元の方法は、「[3.7.4 保存と復元](#)」をご参照ください。
- ・ eSIM は削除されません。削除したい場合は、「[1.3 eSIM のアクティベーション/削除](#)」をご参照ください

3.7.6 端末再起動

画面ナビゲーション システム設定 > 端末再起動

再起動および自動再起動設定を行います。

設定項目	設定内容
再起動	<button>再起動</button>
自動再起動設定	☒ 有効 ☐ 無効
ランダム再起動	☐ 有効 ☒ 無効
自動再起動一覧	
ステータス	☐ 有効 ☒ 無効
時刻設定	☒ 毎日 ☐ 毎週 ☐ 毎月
時刻	1:00
	<button>追加</button> <button>適用</button>

■ 再起動する

本製品を再起動します。

1. 「再起動」を選択します。
2. 本製品が再起動します。

■ 自動再起動設定

本製品が自動的に再起動する設定を行います。

1. 「自動再起動設定」を「有効」にします。
2. 「ステータス」を「有効」にします。
3. 「時刻設定」を「毎日」、「毎週」、「毎月」から選択します。
4. 「毎週」の場合は再起動する「曜日」を、「毎月」の場合は再起動する「日」を選択します。
5. 再起動させる「時刻」を選択します。
6. 「追加」を選択してリストに設定を追加します。
7. 「適用」を選択します。リストに追加した日時に本製品が自動的に再起動されます。

設定項目	説明	設定値	初期値
自動再起動設定	自動再起動設定の「有効」/「無効」を設定します。	有効	無効
		無効	
ランダム再起動	ランダム再起動の「有効」/「無効」を設定します。 本設定を「有効」にすると設定した 「自動再起動設定」の日時から 1時間経過する間のランダムな時刻に一度再起動 されます。本製品を複数運用する場合に、 再起動時刻を分散させることが可能です。	有効	無効
		無効	
ステータス	自動再起動設定の「有効」/「無効」を設定します。	有効	無効
		無効	
時刻設定(毎日)	時刻を選択します。	0:00 ~ 23:00	1:00
時刻設定(毎週)	曜日を選択します。	日 ~ 土	日
	時刻を選択します。	0:00 ~ 23:00	1:00
時刻設定(毎月)	日付を選択します。	1~31	1
	時刻を選択します。	0:00 ~ 23:00	1:00

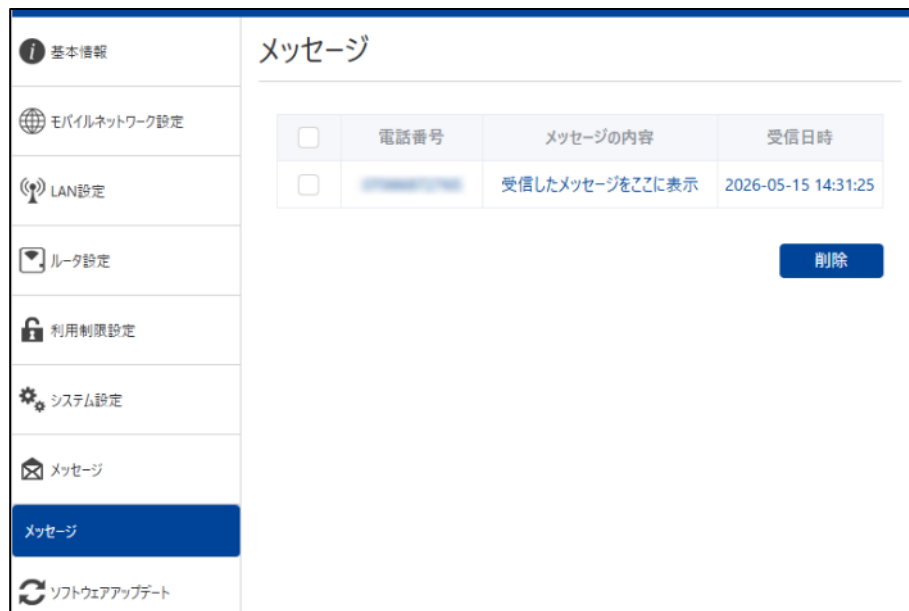
メモ

- ・ 自動再起動設定は最大 10 件まで追加できます。

3.8 メッセージ

画面ナビ メッセージ

モバイルネットワーク接続中に受信したメッセージを表示します。
本機能は受信専用のため、送信はできません。



■ メッセージを開く

メッセージを選択することでメッセージの詳細が表示されます。

■ メッセージを削除

削除したいメッセージを選択し、「削除」を選択すると、選択したメッセージを削除できます。

■ メッセージを全件選択

画面左上のチェックボックスを選択すると、メッセージをすべて選択できます。

設定項目	説明
電話番号	受信したメッセージの電話番号を表示します。
メッセージの内容	受信したメッセージの内容を表示します。
受信日時	メッセージを受信した日時を表示します。

メモ

- ・ メッセージは最大 50 件まで保存されます。50 件を超えると、古いメッセージから順に自動的に削除されます。
- ・ 本製品が起動しており、モバイルネットワークに接続中の場合のみメッセージを受信できます。

3.9 ソフトウェアアップデート

3.9.1 オフラインアップデート



ソフトウェアアップデート > オフラインアップデート

本製品のアップデートには、「オフラインアップデート」と「オンラインアップデート」の二種類の方法があります。

「オフラインアップデート」では、事前にパソコンなどの接続機器に保存したアップデートファイルを利用してアップデートを行います。

ご利用の接続機器によっては、本機能はご利用できない場合があるためご注意ください。

スクリーンショットは、ソフトウェアアップデートのWebインターフェースを示しています。左側にはメニューがあり、「基本情報」、「モバイルネットワーク設定」、「LAN設定」、「ルータ設定」、「利用制限設定」、「システム設定」、「メッセージ」、「ソフトウェアアップデート」、「オフラインアップデート（選択済み）」、「オンラインアップデート」があります。右側のメインコンテンツは「オフラインアップデート」のセクションで、現在のバージョンが「FS045U_V1.0.0」であることが示されています。更新ファイルの選択にはテキスト入力フィールドがあり、「ファイルを選択」と「開始」のボタンがあります。下部には「*アップデート用のデータサイズは約120MBです。」という注釈があります。

1. パソコンなどの接続機器をインターネットに接続します。
本製品のデータ通信量を節約したい場合は、本製品以外の「インターネット環境」をご用意ください。
2. 「[+F FS045U 製品ページ](#)」からアップデートファイルをダウンロードします。
ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みの上「同意する」を選択してください。
3. 設定ツール上の「ソフトウェアアップデート」から「オフラインアップデート」を選択します。
4. 「ファイルを選択」を選択します。
5. 保存されているアップデートファイル「FS045U_V×.×.×.bin」を選択します。

- 6.** 「開始」を選択すると、本製品のアップデートが開始されます。
アップデートファイルの転送が完了し本製品のアップデートが開始されるとステータスランプ(LED)が黄色に連鎖点灯(順番に点灯)します。
アップデートには約 5～10 分程度かかります。

- 7.** 本製品が再起動します。「+F FS045U 設定ツール」のログイン画面が表示されるとアップデート完了です。

メモ

- ・ アップデート用のデータは約 120MB のデータサイズになります。

3.9.2 オンラインアップデート

画面ナビ ソフトウェアアップデート > オンラインアップデート

本製品のアップデートには、「オフラインアップデート」と「オンラインアップデート」の二種類の方法があります。「オンラインアップデート」では、モバイルデータ通信を利用して本製品のアップデートを行います。オンラインアップデートと、最新のアップデートファイルがある場合の「アップデート通知」の設定を行うことができます。



 基本情報	オンラインアップデート	
 モバイルネットワーク設定	現在のバージョン	FS045U_V1.0.0
 LAN設定	<button>アップデートの確認</button>	
 ルータ設定		
 利用制限設定		
 システム設定		
 メッセージ		
 ソフトウェアアップデート		
オフラインアップデート		
オンラインアップデート		

アップデート通知 ☐ 有効 ☒ 無効

適用

*オンラインアップデートでは、対応するデータ通信が発生し、その費用はユーザーの負担となります。
*アップデート中は、電源を入れたまま、本体を比較的安定した電波の場所に置いてください。
*アップデートファイルは約120MBです。通信速度が遅い場合、タイムアウトによる失敗が発生する可能性があります。

1. 本製品がモバイルネットワークに接続されていることを確認してください。
モバイルネットワークの接続設定に関しては、「[3.3 モバイルネットワークに関する設定をする](#)」をご確認ください。
2. 「ソフトウェアアップデート」から「オンラインアップデート」を選択します。
3. 「アップデートの確認」を選択します。

4. 最新のファイルがある場合は、「アップデート」が表示されます。



5. 「アップデート」を選択すると、本製品のアップデートが開始されます。

アップデートファイルの転送が完了し本製品のアップデートが開始されるとステータスランプ(LED)が黄色に連鎖点灯します。

アップデートには約 5～10 分程度かかります。



6. 本製品が再起動します。本製品のステータスランプが緑色に点灯したらアップデート完了です。

メモ

- ・ オンラインアップデートはデータ通信料が別途発生します。ダウンロードに関するデータ通信料は、お客様のご負担になります。
- ・ アップデート用のデータは約 120MB のデータサイズになります。ご利用の回線が遅い場合は、タイムアウトで失敗する場合があります。
- ・ アップデートは、通信の安定している場所で実施してください。

■ アップデート通知

最新のソフトウェアがある場合、「+F FS045U 設定ツール」の画面に表示する通知の内容や、自動でアップデートを行うかどうかを設定できます。

設定項目	説明	設定値	初期値
アップデート通知	アップデート通知の「有効」/ 「無効」を設定します。 本設定を「有効」にすると、 最新のアップデートファイル がある場合、「+F FS045U 設定ツール」上に通知を表 示します。	有効	無効
		無効	
アップデート方法	最新のアップデートファイル がある場合のアップデート 方法(自動/手動)を設定しま す。	自動	手動
		手動 「+F FS045U設定ツール」上に通知が表示されま す。アップデートを行うには手動操作が必要になり ます。	
アップデート方法 (自動)	手動操作を必要とせず、 自動的にアップデートが 始まります。	重要な更新のみ 重要な更新とは、本製品を提供するうえでアップデ ートが必須と判断した更新(セキュリティの脆弱性 など)です。 アップデートが必須ではない通常の更新がある場 合、「+F FS045U設定ツール」の画面に通知のみ 表示されます。「+F FS045U設定ツール」上から 「ソフトウェアアップデート」を行う必要があります。	重要な更新のみ
		全て更新	
		更新時刻設定	
更新時刻設定	最新のソフトウェアがある 場合、自動的にアップデートを 始める時刻を設定します。	0:00~23:00	2:00

メモ

- ・ アップデート通知は一定の周期で行われます。手動アップデート「開始確認画面」にて「いいえ」を選択した場合、一定の周期で再度アップデート通知が行われます。

4 章「セキュア接続(モデムモード)」モデルの各種設定

4.1 FS045U Data Connection Manager

「FS045U Data Connection Manager」は「セキュア接続(モデムモード)」の専用ツールです。本製品の各種設定と接続操作を行うことができます。
Windows 11 のパソコンで使用できます。

4.1.1 FS045U Data Connection Managerをインストール/アンインストールする

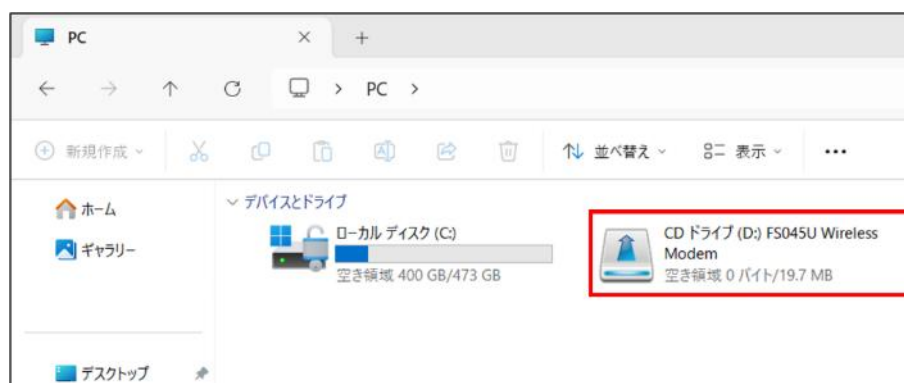
■ FS045U Data Connection Manager のインストール方法

※手順や画面表示は、Windows11 を例にして説明しています。

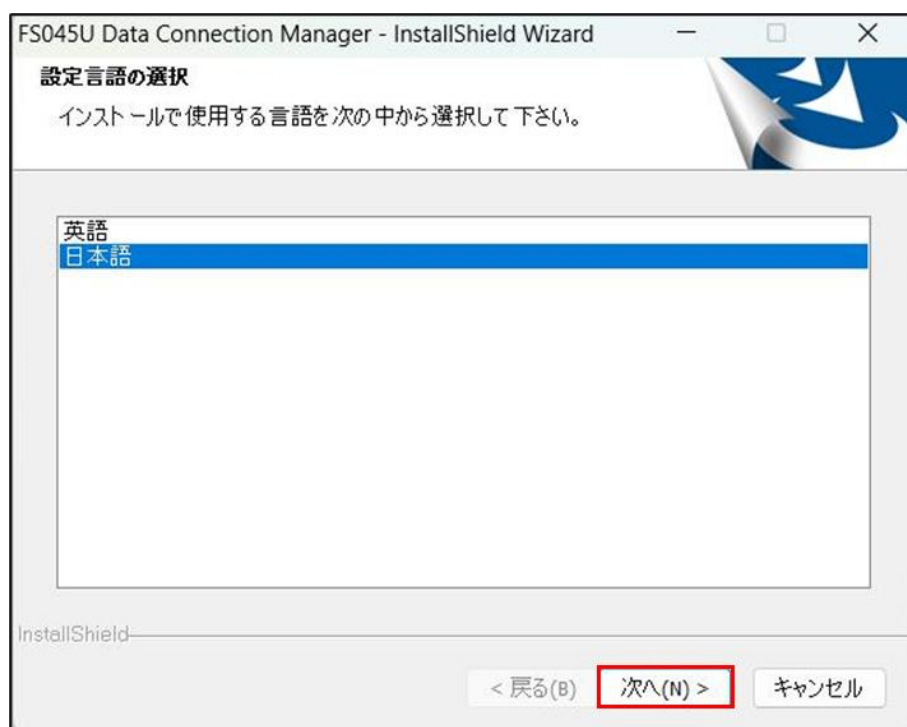
1. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
※パソコンが本製品を認識するまで数十秒程度かかります。
2. CD ドライブへの操作を確認する画面を選択、
「FS045U_DataConnectionManager.exe の実行」を選択してください。



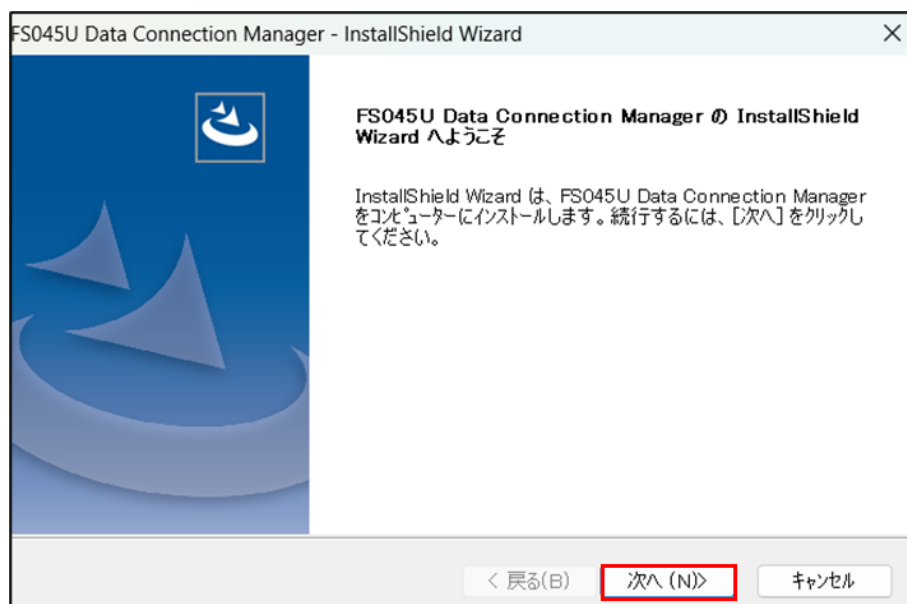
または「エクスプローラー」の「パソコン」の「デバイスとドライブ」より
CD ドライブ「FS045U Wireless Modem」を選択し実行します。



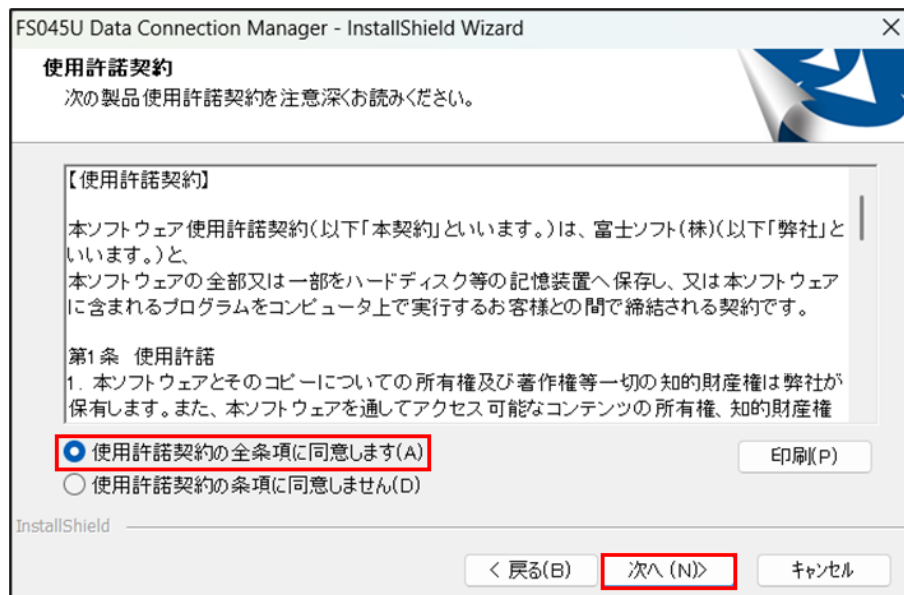
3. 「次へ」を選択します。



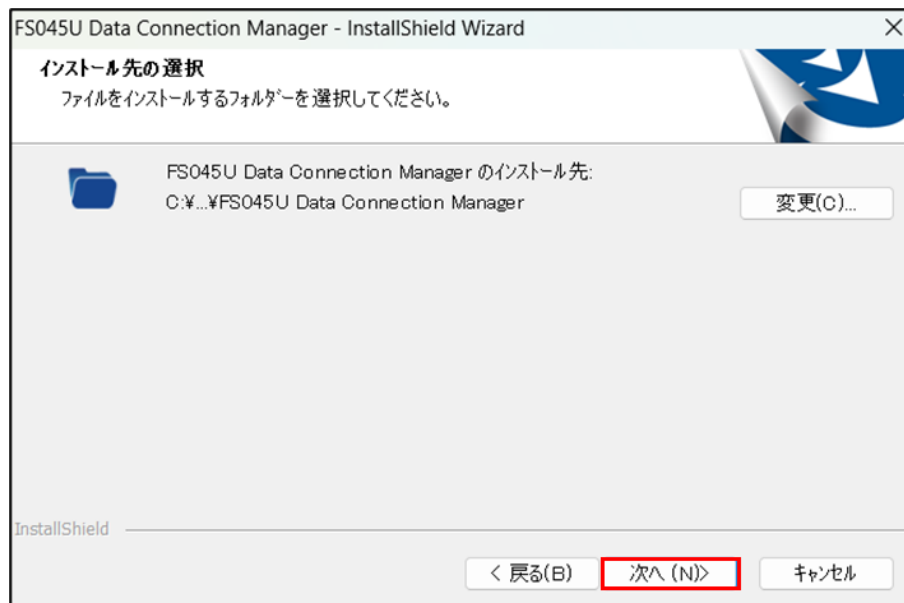
4. 「次へ」を選択します。



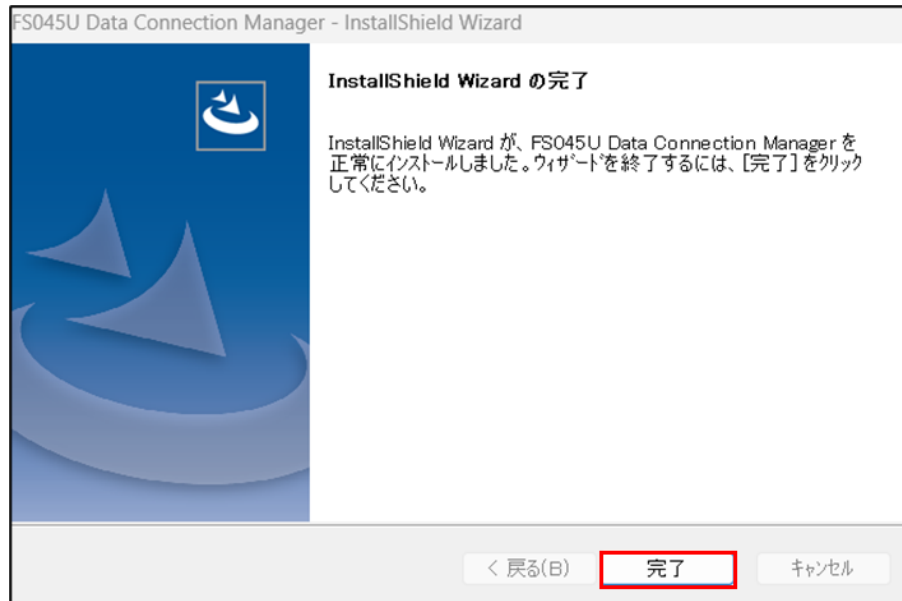
5. 「使用許諾契約」の内容を確認の上、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」を選択します。



6. インストール先を選択し、「次へ」を選択します。



7. インストールが完了します。



■ FS045U Data Connection Manager のアンインストール方法

※手順や画面表示は、Windows11 を例にして説明しています。

1. 本製品がパソコンに接続されている場合は、本製品をパソコンから取り外してください。
2. タスクバーの「スタート」を右クリックし、「設定」を選択します。



3. 左側のメニューから「アプリ」を選択し、「インストールされているアプリ」を選択します。



- 4.** 「FS045U Data Connection Manager」の右側にある「…(その他のオプション)」を選択し、「アンインストール」を選択します。



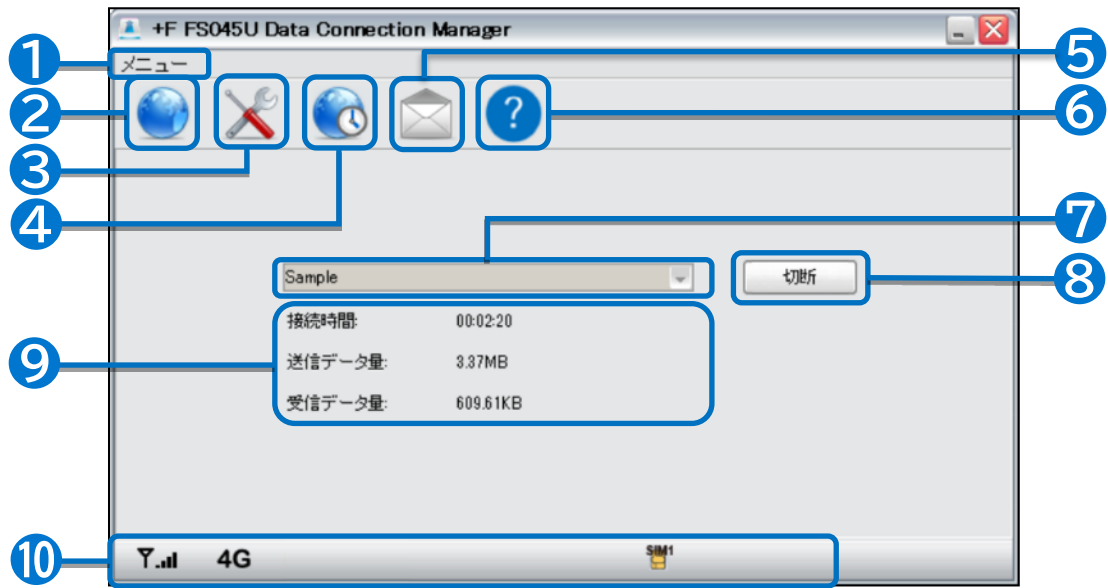
- 5.** 「選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか？」の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、アンインストールが開始されます。



- 6.** 「完了」を選択します。
- 7.** アンインストールが完了します。

4.1.2 FS045U Data Connection Managerの画面

SIM/eSIM 情報、接続時のデータ通信量の確認ができます。



- ① メニュー： 接続、環境設定、接続履歴の一覧を表示します。
- ② 接続画面： 「FS045U Data Connection Manager」の接続画面を開きます。
※起動時は接続画面が表示されます。
- ③ 環境設定： 接続設定、PIN 管理、ネットワーク設定の画面を開きます。
- ④ 接続履歴： ネットワークの接続履歴を表示します。
- ⑤ SMS： 受信したメッセージを表示します。
- ⑥ ヘルプ： 本製品の取扱説明書と「+F FS045U」と「FS045U Data Connection Manager」のバージョンを確認できます。
- ⑦ プロファイル名： 接続先のプロファイル名を表示します。
他のプロファイルを選択することが可能です。
- ⑧ 接続/切断： ネットワークへの接続および切断をします。
- ⑨ 通信情報： ネットワーク接続中、以下の情報を表示します。
 - ・接続時間
 - ・送信データ量
 - ・受信データ量
- ⑩ 状態表示エリア： 本製品の状態を表示します。

状態	説明
受信レベル	「強い」 ← → 「弱い」
ローミング通信	:ローミング通信状態
通信方式	5G :通信状態 4G :通信状態
通信事業者名	接続中の通信事業者名(PLMN)を表示します。
SIM	:SIM1正常認識 :SIM2正常認識 :eSIM使用状態 :SIM1未挿入 :SIM2未挿入 :eSIM未アクティベーション
メッセージ通知	:未読メッセージあり

■ FS045U Data Connection Manager の起動

- 1. 本製品をパソコンに接続すると自動起動します。
自動起動しない場合は、デスクトップにある「FS045U Data Connection Manager」のショートカットを選択します。

■ FS045U Data Connection Manager の終了

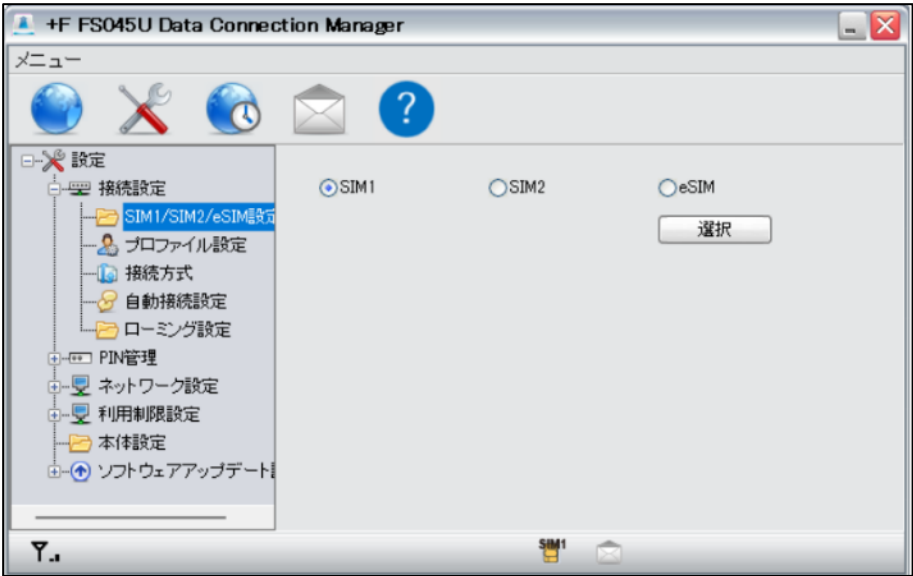
- 1. 「FS045U Data Connection Manager」の上端にある「×」を選択します。
- 2. ポップアップが表示されるので「OK」を選択してください。

4.1.3 SIM1/SIM2/eSIM設定

画面ナビ

接続設定 > SIM1/SIM2/eSIM 設定

利用する SIM(SIM1/SIM2/eSIM)を選択します。

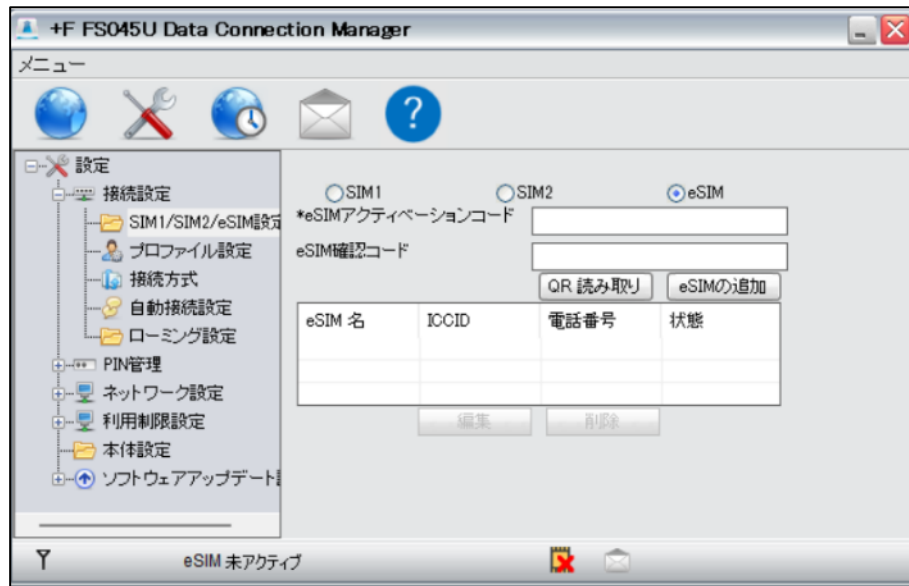


設定項目	説明	設定値	初期値
SIM1/SIM2/eSIM 設定	SIM1/SIM2/eSIM の選択をします。	SIM1	SIM1
		SIM2	
		eSIM	

■ eSIM を利用する

利用する eSIM を選択し、接続する eSIM の設定やアクティベーションを行います。

※eSIM のアクティベーションが行われていない場合、eSIM の設定を行うことはできません。



表示項目	説明	設定値	初期値
SIM1/SIM2/eSIM設定	SIM1/SIM2/eSIMの選択をします。	SIM1 SIM2 eSIM	SIM1
eSIMアクティベーションコード	eSIMのアクティベーションをするためのアクティベーションコードを入力します。 ※手順は次ページの「eSIMアクティベーション/編集/削除」をご参照ください。	アクティベーションコードを入力します。 ※エラーとなる場合は冒頭の「LPA:」を削除してお試しください。	—
eSIM確認コード	通信事業者から提供された確認コードを任意で入力します。	4桁の数字	—
eSIM名	アクティベーションされたeSIMの名称を設定します。	※設定されたeSIM名が表示されます。	—
ICCID	eSIMの識別番号を表示します。	※追加されたeSIMのICCIDが表示されます。	—
電話番号	eSIMの電話番号を表示します。	※追加されたeSIMの電話番号が表示されます。	—
状態	eSIMのステータスを表示します。 有効:現在選択されているeSIM 無効:現在選択されていないeSIM ※同時に複数のeSIMを有効にすることはできません。	※追加されたeSIMの状態が表示されます。	—

1. 「SIM1/SIM2/eSIM 設定」から「eSIM」を選択します。
2. 「eSIM 選択」からご利用になる「eSIM 名」を選択します。
3. 「接続画面」から登録されている「プロファイル名」を選択します。
プロファイルを新規で作成する場合は、「プロファイル設定」から作成してください。
詳細は「[4.1.4 SIM1/SIM2/eSIM のプロファイル](#)」をご参照ください。
4. 「接続」を選択します。

■ eSIM アクティベーション/編集/削除

eSIM のアクティベーションを行います。

※「SIM1/SIM2/eSIM 設定」の画面から eSIM のアクティベーションを行う場合は、eSIM を選択し、インターネットに接続できる状態であることを確認してください。

【必要なもの】

インターネット通信が利用できるパソコン

「FS045U Data Connection Manager」

通信事業者から提供される QR コードまたはアクティベーションコード

【手順】

1. 「接続設定」から「SIM1/SIM2/eSIM 設定」を選択します。
2. 「eSIM」を選択した状態で、パソコンがインターネットに接続できることを確認します。
3. 「eSIM アクティベーションコード」にアクティベーションコードを入力します。
「QR 読み取り」からパソコンに保存されている QR コードを利用することも可能です。
※エラーとなる場合は冒頭の「LPA:」を削除してお試しください。
4. 通信事業者から確認コードを提供された場合は任意で「eSIM 確認コード」を入力します。
5. 「eSIM の追加」を選択します。
6. アクティベーションが完了すると eSIM リストにアクティベーションされた eSIM が表示されます。
7. 編集したい eSIM を選択して「編集」を選択すると「eSIM 名」と「eSIM ステータス」を設定できます。
8. 削除したい eSIM を選択して「削除」を選択すると eSIM を削除できます。

メモ

- ・ eSIM でネットワークに接続できない場合は、プロファイル設定が正しいかご確認ください。
- ・ 本製品には最大 3 個の eSIM をアクティベーションすることが可能です。
- ・ セキュア接続(モデムモード)モデルではパソコンがネットワークに接続が出来ている時に「FS045U Data Connection Manager」から eSIM のアクティベーションが可能です。
- ・ eSIM のアクティベーションは、SIM1/SIM2 を選択している状態では行えませんのでご注意ください。
- ・ eSIM の削除は「ステータス」が「有効」のときには行えませんのでご注意ください。
- ・ 削除した eSIM はご利用できませんのでご注意ください。
- ・ 削除した eSIM を再度ご利用したい場合は、通信事業者にお問い合わせください。

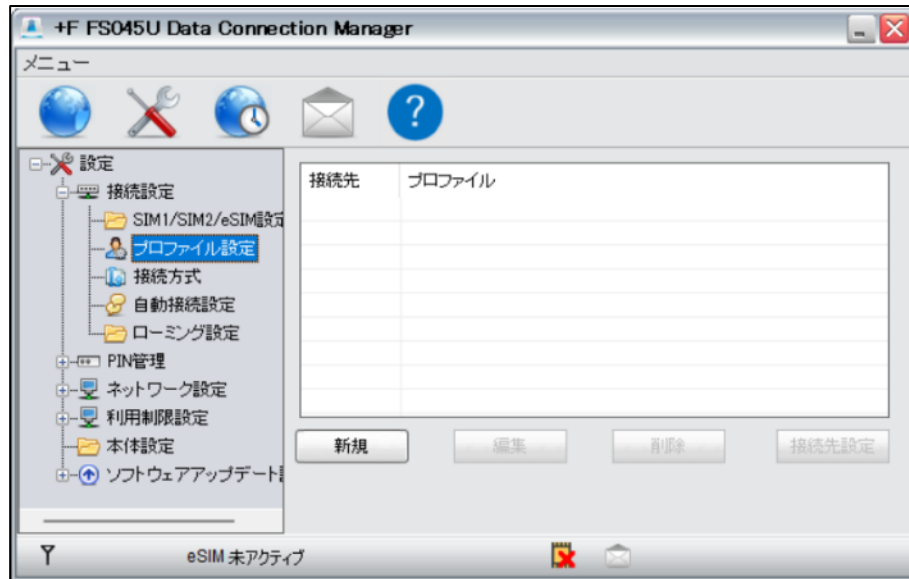
4.1.4 SIM1/SIM2/eSIMのプロファイル

画面ナビ

接続設定 > SIM1/SIM2/eSIM プロファイル

SIM1/SIM2/eSIM を利用するために必要な、プロファイル設定を行います。
新規/編集/削除/接続先設定があります。

■ プロファイル設定



「新規」



1. 新規にプロファイルを作成する場合は、「新規」を選択します。
2. 通信事業者から提供されたプロファイル情報を各設定項目に入力します。
3. 「OK」を選択します。

「編集」



編集

プロファイル名:

ユーザー名:

パスワード:

APN:

認証方式: CHAP ▼

接続方式: IPv4/v6 ▼

☐ 接続時にユーザー名とパスワードを確認する

詳細設定

OK キャンセル

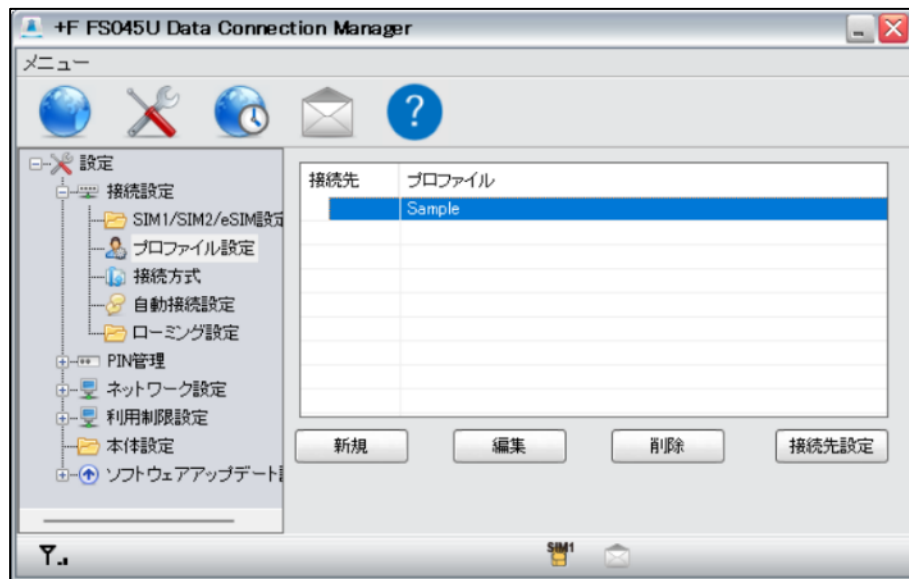
1. プロファイルを編集する場合は、編集したいプロファイルを選択します。
2. 「編集」を選択します。
3. 各設定項目をそれぞれ編集します。
4. 「OK」を選択します。

「削除」



1. プロファイルを削除する場合は、削除したいプロファイルを選択します。
2. 「削除」を選択します。
3. ポップアップが表示されるので「OK」を選択します。

「接続先設定」



【接続先設定の設定】

1. 接続先設定を設定する場合は、接続したいプロファイルを選択します。
2. 「接続先設定」を選択します。
3. 接続先欄にチェックマークが表示されます。

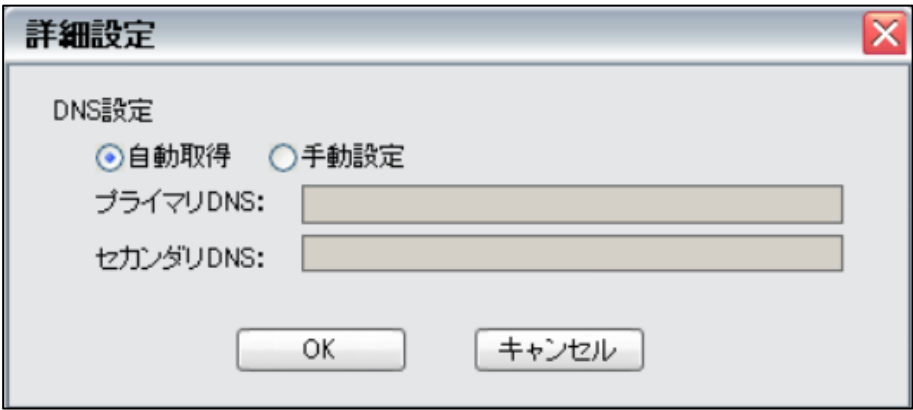
【接続先設定の解除】

1. 接続先設定を解除する場合は、接続先に指定されているプロファイルを選択します。
2. 「接続先解除」を選択します。
3. 接続先欄のチェックマークが外されます。

設定項目	説明	設定値	初期値
プロファイル名	任意の「プロファイル名」を入力します。	半角英数字記号 (/:¥ <>?*を除く) 最大 64 文字	—
ユーザー名	通信事業者から指定された「ユーザー名」を入力します。	半角英数字記号 最大 64 文字	—
パスワード	通信事業者から指定された「パスワード」を入力します。	半角英数字記号 最大 64 文字	—
APN	通信事業者から指定された「APN」を入力します。	半角英数字記号(「.」、「-」) 最大 62 文字	—
認証方式	通信事業者から指定された「認証方式」を設定します。	CHAP PAP	CHAP
接続方式	通信事業者から指定された「接続方式」を設定します。	IPv4/v6 IPv4 IPv6	IPv4/v6

■ 詳細設定

DNS アドレスの手動設定が可能です。指定するアドレスがある場合は、以下手順で設定を行ってください。「自動取得」が初期設定となります。



- 1. プロファイルを新規作成または編集時に「詳細設定」を選択します。
- 2. 手動設定を選択し、DNS アドレスを入力します。
- 3. 「OK」を選択します。

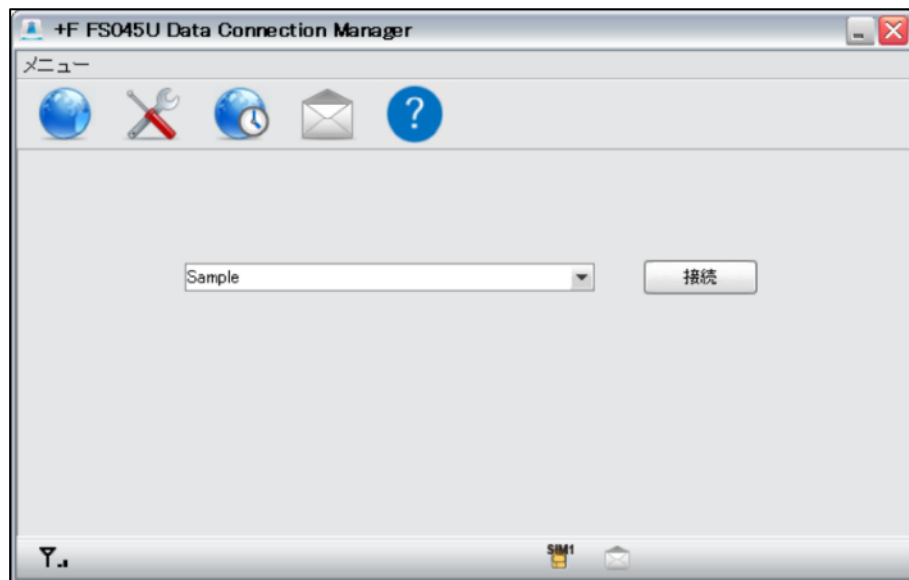
設定項目	説明	設定値	初期値
DNS 設定	DNS のアドレスを「自動取得」/「手動設定」で設定します。	自動取得	自動取得
		手動設定	
プライマリ DNS	DNS 設定で「手動」を選択したとき、プライマリ DNS の IP アドレスを設定します。	0 ～ 255 の 4 組の数字	－
セカンダリ DNS	DNS 設定で「手動」を選択したとき、セカンダリ DNS の IP アドレスを設定します。	0 ～ 255 の 4 組の数字	－

メモ

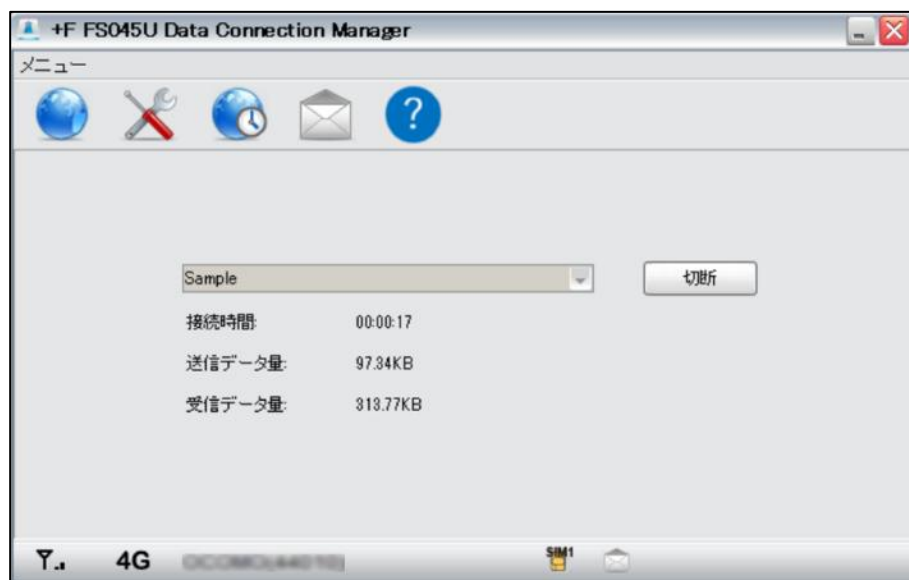
- ・ SIM1/SIM2/eSIM プロファイル設定は最大 20 件まで追加できます。
- ・ 「接続時にユーザー名とパスワードを確認する」にチェックを入れると接続毎にアカウントの確認画面が表示されます。

4.1.5 モバイルネットワークの接続

1. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
2. 「FS045U Data Connection Manager」を起動します。
3. モバイルネットワークの接続に利用する「プロファイル名」を選択します。
4. 接続画面で「接続」を選択します。ネットワークへの接続が開始されます。

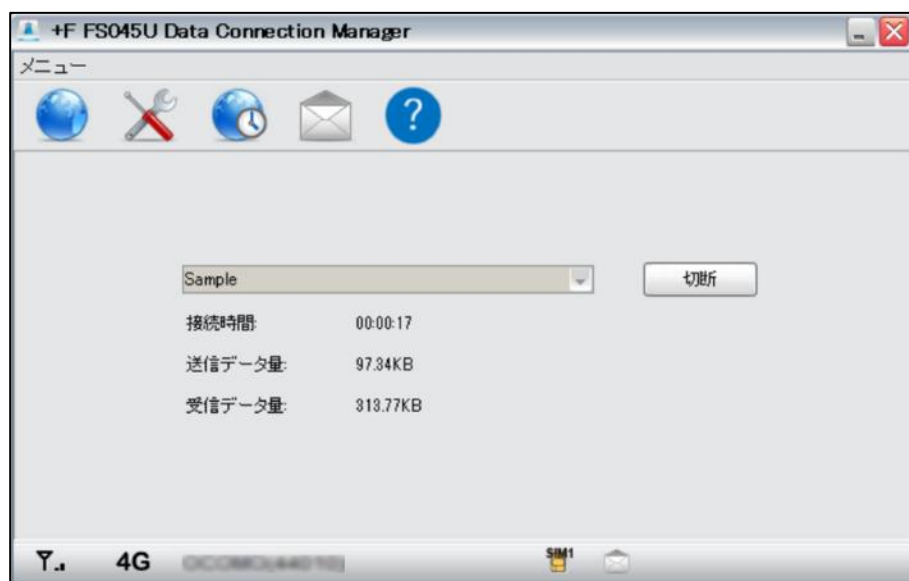


5. モバイルネットワークの接続が完了すると「接続」が「切断」に変わり、接続時間、送信データ量、受信データ量が表示されます。



4.1.6 モバイルネットワークの切断

1. モバイルネットワークの接続が完了すると「接続」が「切断」に変わり、接続時間、送信データ量、受信データ量が表示されます。



2. 接続画面で「切断」を選択します。モバイルネットワークの切断が開始されます。モバイルネットワークの切断が完了すると「切断」が「接続」に変わります。

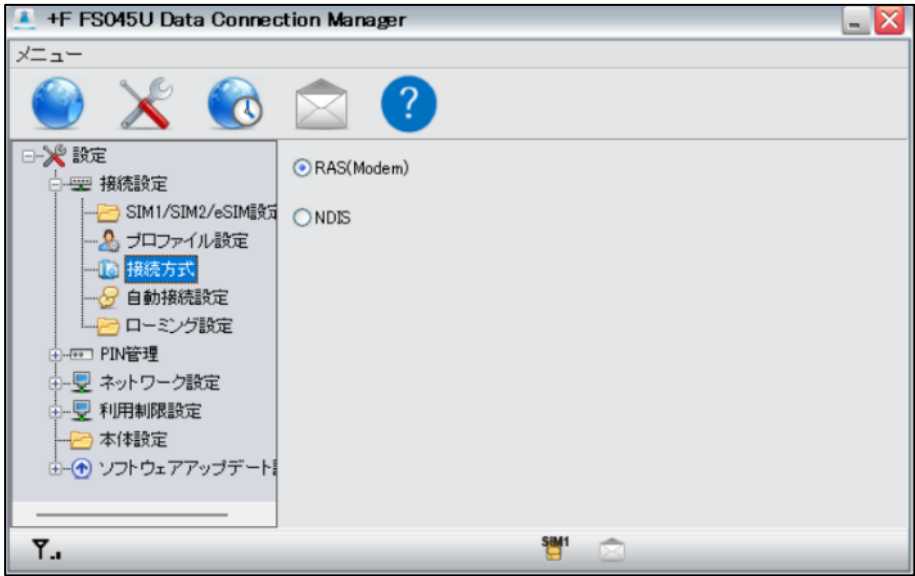
4.2 モバイルネットワークに関する設定をする

4.2.1 接続方式

画面ナビ

接続設定 > 接続方式

本製品はモデムを利用したダイヤルアップ経由の接続「RAS (Modem)」ならびに、ネットワークアダプター経由の接続「NDIS」に対応しています。

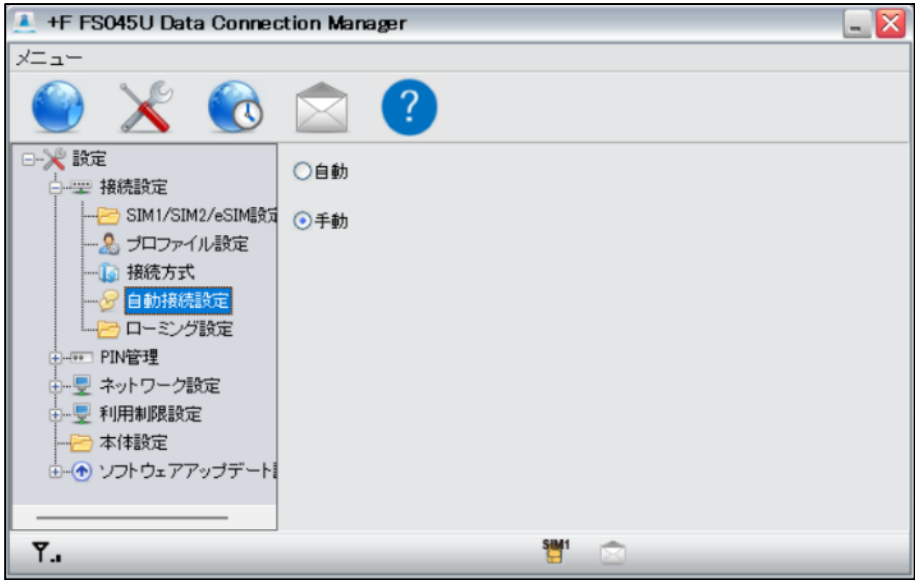


設定項目	説明	設定値	初期値
接続方式	モデムを利用したダイヤルアップ(RAS)ならびに、ネットワークアダプター経由の接続(NDIS)のどちらの接続方法を利用するかを設定します。	RAS (Modem)	RAS (Modem)
		NDIS	

4.2.2 自動接続設定

画面ナビ **接続設定 > 自動接続設定**

「FS045U Data Connection Manager」起動時に「接続先設定」に設定されているプロファイルで自動的に接続を行うことができます。

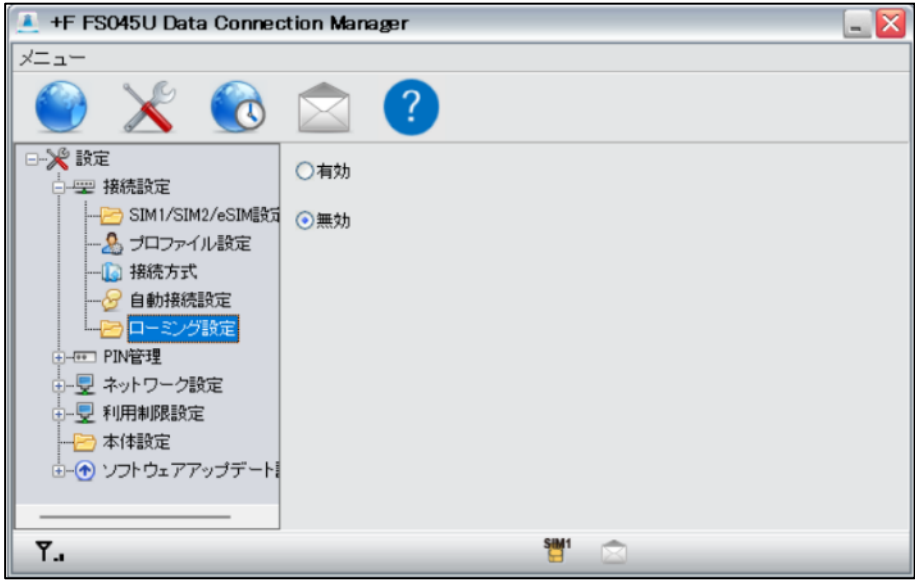


設定項目	説明	設定値	初期値
自動接続設定	「FS045U Data Connection Manager」起動時に接続先設定したプロファイルで自動的に接続を行うかどうかを設定します。	自動	手動
		手動	

4.2.3 ローミング設定

画面ナビ 接続設定 > ローミング設定

ローミングの設定を行います。「無効」の場合はローミング環境では利用できません。



設定項目	説明	設定値	初期値
ローミング設定	ローミング設定の「有効」/「無効」を設定します。	有効	無効
		無効	

メモ

- ・ 本製品は、非常時事業者間ローミングに対応しています。災害などでご利用中の通信事業者のモバイルデータ通信が利用できない場合に、他の通信事業者のモバイルデータ通信を利用できる場合があります。
- ・ 本製品は、国際ローミングに対応しています。「ローミング設定」を「有効」にすることで、日本国内の通信事業者契約のSIMカードまたはeSIMを海外で利用することができます。
- ・ 国際ローミング中は、データ通信料が非常に高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ・ ご利用のSIMカードまたはeSIMによっては、日本国内で利用する場合でも「ローミング設定」を「有効」にする必要があります。

4.3 PINに関する設定をする

4.3.1 PIN有効/無効

画面ナビ

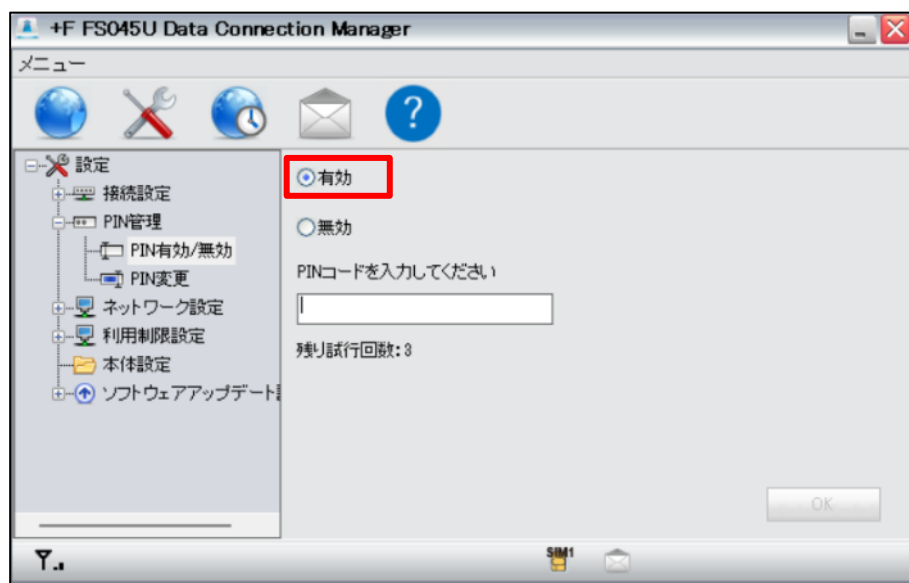
PIN 管理 > PIN 有効/無効

SIM1/SIM2/eSIM には、PIN コードと呼ばれる暗証番号を設定できます。PIN コードが「有効」の場合、本製品の起動または SIM1/SIM2/eSIM の切替ごとに 4～8 桁の暗証番号(半角数字)の入力が必要になり、第三者による無断使用を防ぐことができます。

本設定では PIN の「有効」/「無効」、PIN コードの変更を行います。

■ PIN コードを有効にする

PIN コードを有効化します。



1. モバイルネットワークに接続している場合は、モバイルネットワークの切断を行ってください。
2. 「PIN 有効/無効」で「有効」を選択します。
3. 「PIN コード」を入力します
※PIN コードの初期値は、ご利用の通信事業者にご確認ください。
4. 「OK」を選択します。
PIN コードが「有効」になります。

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 有効/無効	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードの「有効」/「無効」を設定します。	有効	—
		無効	
PIN コード	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—
残り試行回数 (PIN)	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM に対して入力可能な PIN コードの回数を表示します。	—	—

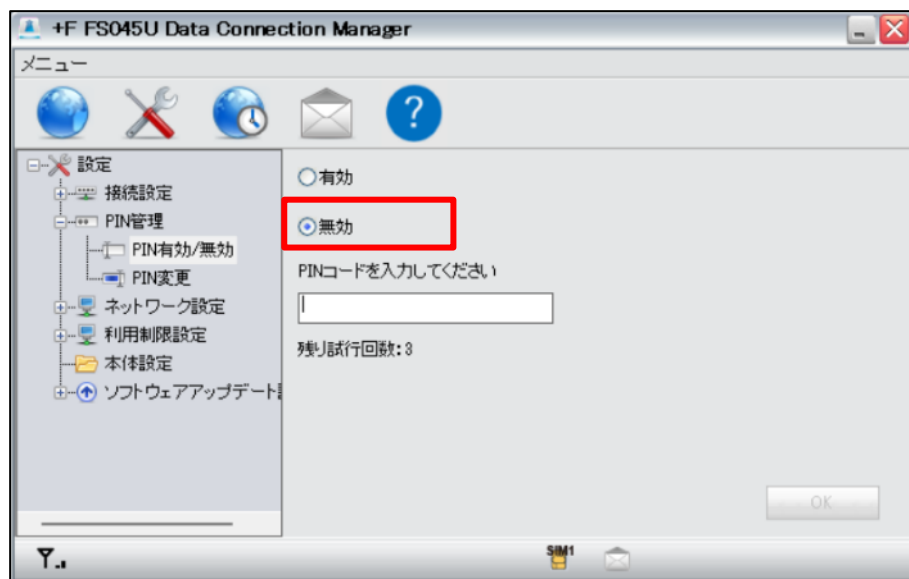
メモ

- ・ PIN コードを「有効」にした場合、SIM1/SIM2/eSIM の変更時にも PIN コードの入力が必要になります。
- ・ PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コード(PUK)が必要になるためご注意ください。
PIN ロック解除コード(PUK)については、ご契約先の通信事業者にお問い合わせください。

■ PIN コードを無効にする

PIN コードを無効化します。

PIN コードが「有効」の場合、PIN コードを「無効」にできます。



1. 「PIN 有効/無効」で「無効」を選択します。
2. 「PIN コード」を入力します
※PIN コードの初期値は、ご利用の通信事業者にご確認ください。
3. 「OK」を選択します。
PIN コードが「無効」になります。

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 有効/無効	ご使用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードの有効/無効を選択します。	有効	—
		無効	
PIN コード	ご使用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—

メモ

- ・ PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コード(PUK)が必要になるためご注意ください。
PIN ロック解除コード(PUK)については、ご契約先の通信事業者にお問い合わせください。

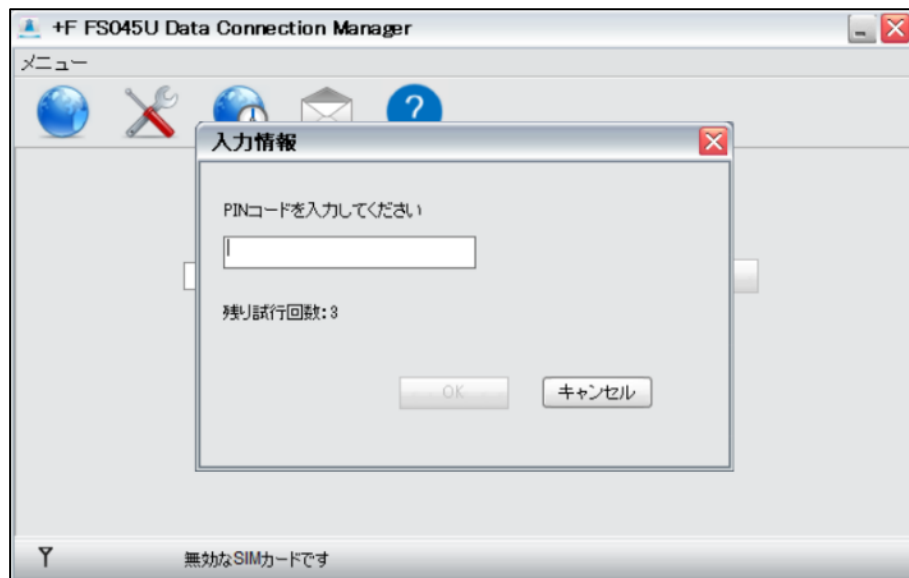
■ PIN コードを解除する

ご使用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードが「有効」の場合、本製品の起動または SIM1/SIM2/eSIM の切替ごとに PIN コードの解除が必要です。

PIN コードを解除するまでモバイルネットワークへの接続はできません。

PIN コードを 3 回間違えた場合、PIN ロック状態が有効になります。

PIN ロック状態は PIN ロック解除コード(PUK)を入力することで解除されます。



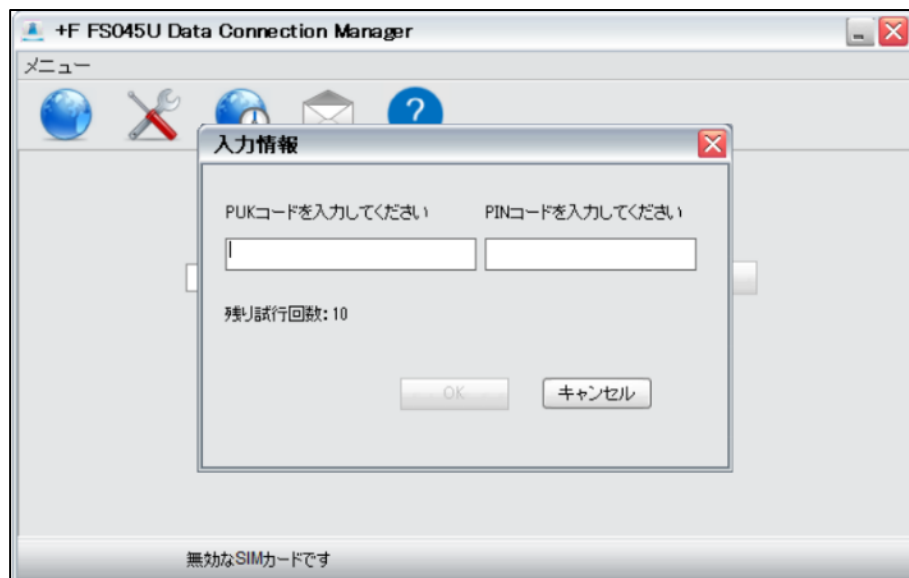
1. 「FS045U Data Connection Manager」を起動します。
2. 「PIN コードを入力してください」に PIN コードを入力します
※PIN コードの初期値は、ご利用の通信事業者にご確認ください。
3. 「OK」を選択します。
PIN コードが解除されます。
※PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コード(PUK)が必要になるためご注意ください。PIN ロック解除コード(PUK)については、ご契約先の通信事業者にお問い合わせください。

■ PIN ロック状態を解除する

PIN コードを 3 回間違えた場合、PIN ロック状態になります。

PIN ロックは PIN ロック解除コード(PUK)を入力することで解除されます。

PIN ロック解除コード(PUK)を 10 回連続で間違えると、SIM カードが完全にロックされます。



1. 「PUK コードを入力してください」に PIN ロック解除コード(PUK)を入力します。
2. 「PIN コードを入力してください」に新しく設定する PIN コードを入力します。
3. 「OK」を選択します。

■ PIN ロック状態の解除設定

PIN コードを 3 回間違えた場合、PIN ロック状態になります。

PIN ロック状態は PIN ロック解除コード(PUK)を入力することで解除されます。

PIN ロック解除コード(PUK)を 10 回連続で間違えると、SIM カードが完全にロックされます。

設定項目	説明	設定値	初期値
PUK コードの入力	ご使用中の SIM カードの PIN ロック状態を解除するためのコードを入力します。	—	—
新しい PIN コードの入力	新しく設定する PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—

メモ

- ・ PIN コードおよび PIN ロック解除コード(PUK)は、通信事業者から指定された値を入力してください。
- ・ PIN コードおよび PIN ロック解除コード(PUK)は、他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PIN コードには、「生年月日」、「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。
- ・ PIN ロック解除コード(PUK)については、ご契約先の通信事業者にお問い合わせください。
- ・ PIN ロック状態で PIN ロック解除コード(PUK)の入力を 10 回連続で間違えると、ご使用中の SIM カードが完全にロックされた状態になります。その場合はご契約いただいた通信事業者にお問い合わせください。

4.3.2 PIN変更

画面ナビ

PIN 管理 > PIN 変更

SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードの変更を行います。

■ PIN コードを変更する

PIN コードを変更します。

PIN コードが「有効」に設定されている場合に、PIN コードの変更ができます。



1. 「PIN」に「PIN コード」を入力します。
2. 「新しい PIN コード」と「新しい PIN(確認)」を入力します。
3. 「OK」を選択します。
PIN コードが変更されます。

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN	ご利用中の SIM1/SIM2/eSIM の PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—
新しい PIN	新しく設定する PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—
新しい PIN(確認)	新しく設定する PIN コードを再入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—

メモ

- ・ PIN コードおよび PIN ロック解除コード(PUK)は、通信事業者から指定された値を入力してください。
- ・ PIN コードおよび PIN ロック解除コード(PUK)は、他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PIN コードには、「生年月日」、「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。

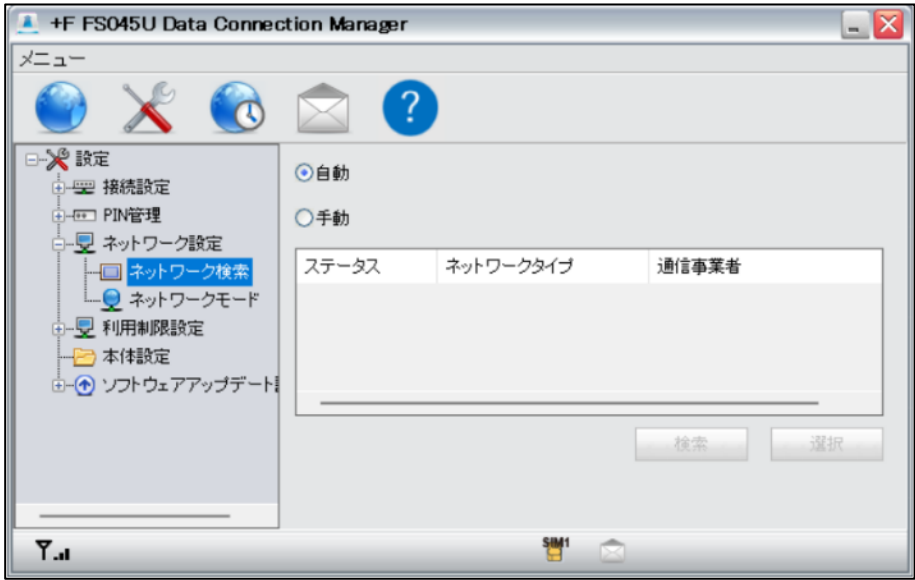
4.4 ネットワークに関する設定をする

4.4.1 ネットワーク検索

画面ナビ

ネットワーク設定 > ネットワーク検索

ネットワークの検索方法を指定します。
「手動」に設定すると、周辺のネットワークを検索して手動で選択できます。



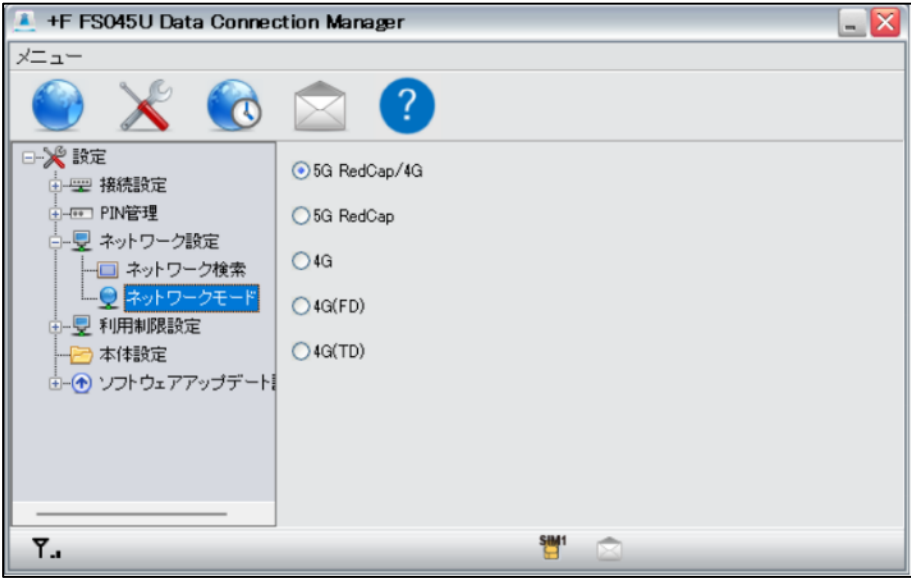
設定項目	説明	設定値	初期値
ネットワーク検索	ネットワークの検索方法を指定します。「手動」に設定すると、周辺のネットワークを検索して手動で選択できます。	自動	自動
		手動	

4.4.2 ネットワークモード



ネットワーク設定 > ネットワークモード

ネットワークの通信方式を設定します。



設定項目	説明	設定値	初期値
ネットワークモード	ネットワークの通信方式を設定します。	5G RedCap/4G	5G RedCap/4G
		5G RedCap	
		4G	
		4G(FD)	
		4G(TD)	

メモ

- ・ ネットワーク設定「5G RedCap」を設定した場合、電波が弱い場所(屋内・郊外)では切断や速度低下が起きることがあります。
- ・ ネットワーク設定「4G」を設定した場合、「TD」と「FD」両方に接続されます。
- ・ ネットワーク設定「4G(FD)」を設定した場合、バンド 39、バンド 41 には接続されません。
- ・ ネットワーク設定「4G(TD)」を設定した場合、バンド 39、バンド 41 のみ接続されます。

4.5 利用制限に関する設定をする

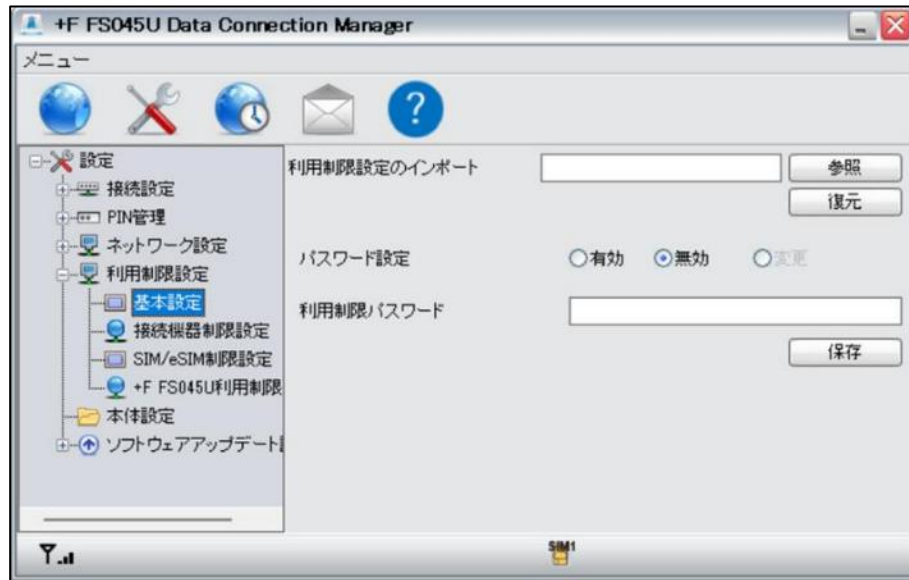
接続機器の「シリアル番号」、SIM/eSIM の「ICCID」、本製品の「IMEI」を用いた利用制限ができます。

4.5.1 基本設定

画面ナビ

利用制限設定 > 基本設定

利用制限設定を開く際のパスワード設定、および利用制限設定ファイルのインポートを行います。



■ 利用制限設定のインポート

1. 「利用制限設定のインポート」の「参照」を選択します。
2. 接続機器に保存されている本製品の設定情報ファイル「config(拡張子.txt)」を選択します。
3. 「復元」を選択すると、再起動し、利用制限設定の情報がインポートされます。
※異なるファイルを選択した場合、正しくインポートできませんのでご注意ください。

メモ

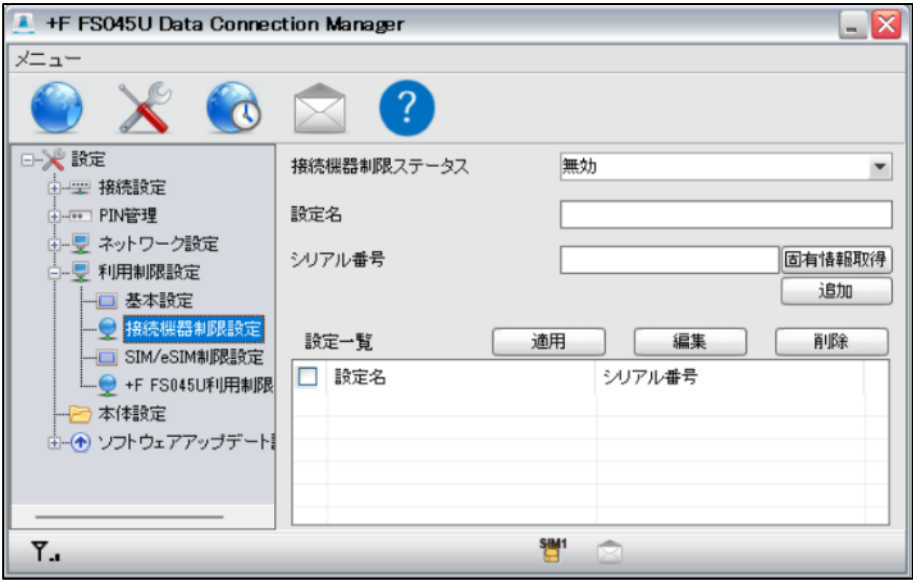
- ・ インポートファイルは、当社(富士ソフト株式会社)またはご契約先の販売店へご相談ください。
- ・ インポートファイル「config(拡張子.txt)」は書き換えないでください。
- ・ 拡張子は OS によって表示されない場合があります。

設定項目	説明	設定値	初期値
利用制限パスワード設定	利用制限設定を開く際の利用制限パスワードの「有効」/「無効」/「変更」を設定します。	有効	無効
		無効	
		変更	
新しい利用制限パスワード	新しい利用制限パスワードを入力します。	半角英数字記号 (, ; : ¥ & < > を除く) 8~15 文字	—
新しい利用制限パスワードの確認	新しい利用制限パスワードを再入力します。	半角英数字記号 (, ; : ¥ & < > を除く) 8~15 文字	—

4.5.2 接続機器制限設定

画面ナビ **利用制限設定 > 接続機器制限設定**

接続機器の固有情報である「シリアル番号」を用いて、利用する接続機器の制限ができます。
追加した「シリアル番号」の接続機器のみ接続を許可します。



設定項目	説明	設定値	初期値
接続機器制限ステータス	接続機器の「アクセス制御ステータス」の「無効」/「許可」/「拒否」を設定します。	無効	無効
		許可	
		拒否	
設定名	任意の設定名を設定します。	半角英数字記号 (,":;¥&<>を除く) 半角最大 64 文字	—
シリアル番号	接続機器のシリアル番号を入力します。	半角英数字記号 (,":;¥&<>を除く) 半角最大 32 文字	—
固有情報取得	「FS045U Data Connection Manager」がインストールされている接続機器のシリアル番号を自動で入力します。	—	—

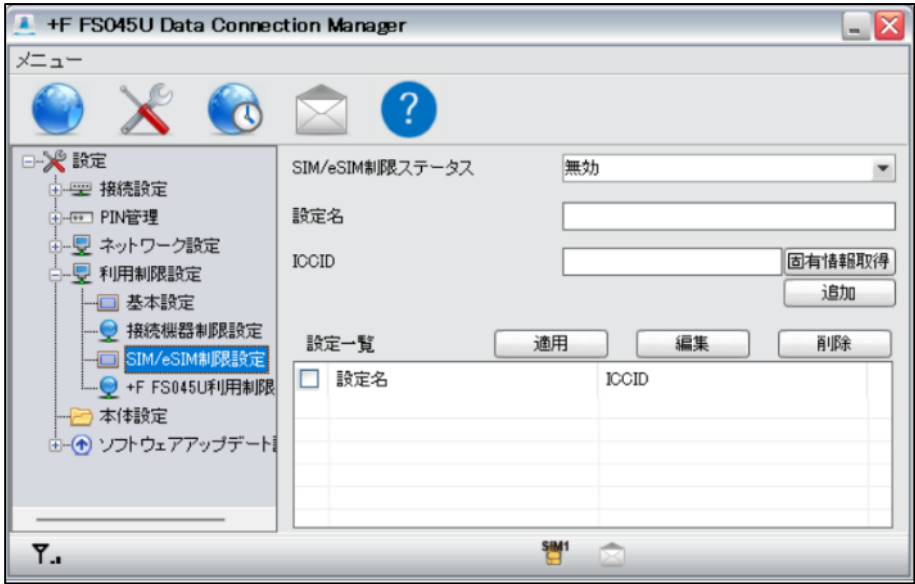
 メモ

- ・ 接続機器のアクセス制御設定は最大 30 件まで追加できます。

4.5.3 SIM/eSIM制限設定

画面ナビ **利用制限設定 > SIM/eSIM 制限設定**

SIM/eSIM の固有情報である「ICCID」を用いて、利用する SIM/eSIM の制限ができます。
追加した「ICCID」の SIM/eSIM のみモバイルネットワークへの接続を許可します。



設定項目	説明	設定値	初期値
SIM/eSIM 制限 ステータス	「SIM/eSIM 制限ステータス」の「無効」/ 「有効」を設定します。	無効	無効
		有効	
設定名	任意の「設定名」を設定します。	半角英数字記号 (,":;¥&<>を除く) 半角最大 64 文字	—
ICCID	SIM/eSIM の「ICCID」を入力します。	半角数字 15～22 文字	—
固有情報取得	利用している SIM/eSIM の「ICCID」を自 動で入力します。	—	—

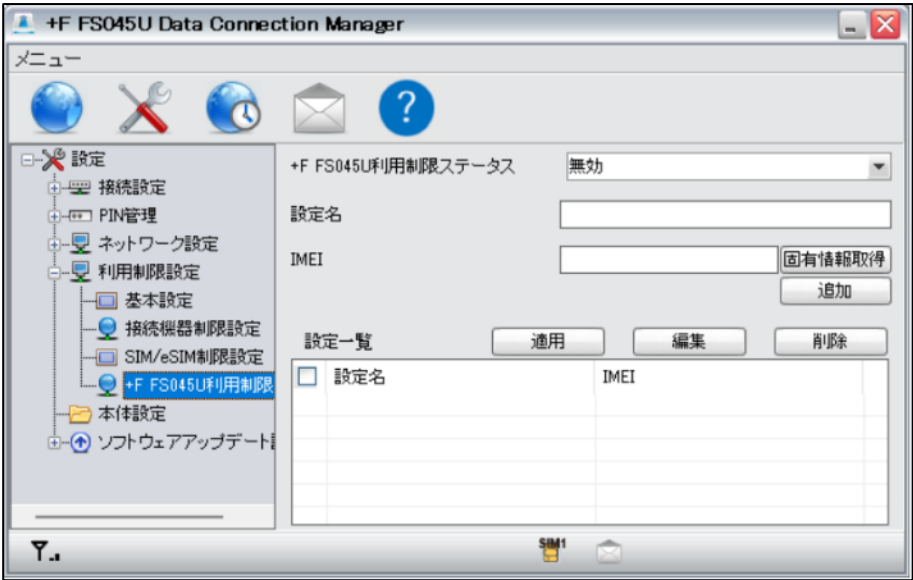
 メモ

- SIM/eSIM 制限は最大 30 件まで追加できます。

4.5.4 +F FS045U制限

画面ナビ **利用制限設定 > +F FS045U 制限**

本製品の固有情報である「IMEI」を用いて、利用する本製品の制限ができます。
追加した「IMEI」の本製品のみ「FS045U Data Connection Manager」への接続を許可します。



設定項目	説明	設定値	初期値
+F FS045U 利用制限ステータス	+F FS045U 利用制限の「無効」/「有効」を設定します。	無効	無効
		有効	
設定名	任意の設定名を設定します。	半角英数字記号（,;:¥&<>を除く） 半角最大 64 文字	－
IMEI	+F FS045U の「IMEI」を入力します。	半角数字 半角 15 文字	－
固有情報取得	接続している+F FS045U の「IMEI」を自動で入力します。	－	－

 メモ

- ・ +F FS045U 制限は最大 30 件まで追加できます。

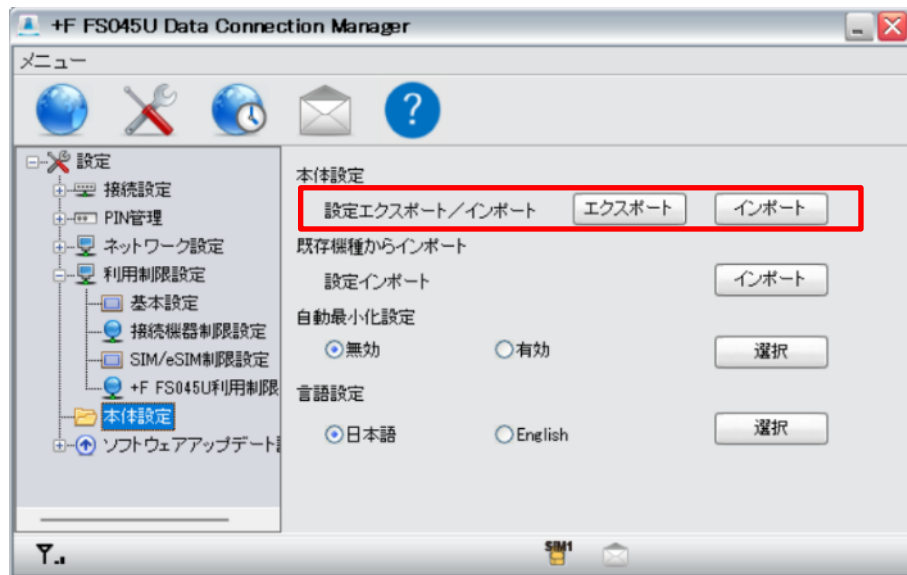
4.6 システムに関する設定をする

4.6.1 保存と復元

画面ナビ

本体設定 > 保存と復元

「FS045U Data Connection Manager」に設定した情報の「エクスポート」、「インポート」を行います。



■ 「FS045U Data Connection Manager」の設定をエクスポートする

1. 「設定エクスポート/インポート」の「エクスポート」を選択します。
2. 設定情報ファイル「config(拡張子.csv)」がパソコンに保存されます。

メモ

- ・ 保存ファイル「config(拡張子.csv)」は編集しないで下さい。
- ・ 拡張子は OS によって表示されない場合があります。

■ 「FS045U Data Connection Manager」の設定をインポートする

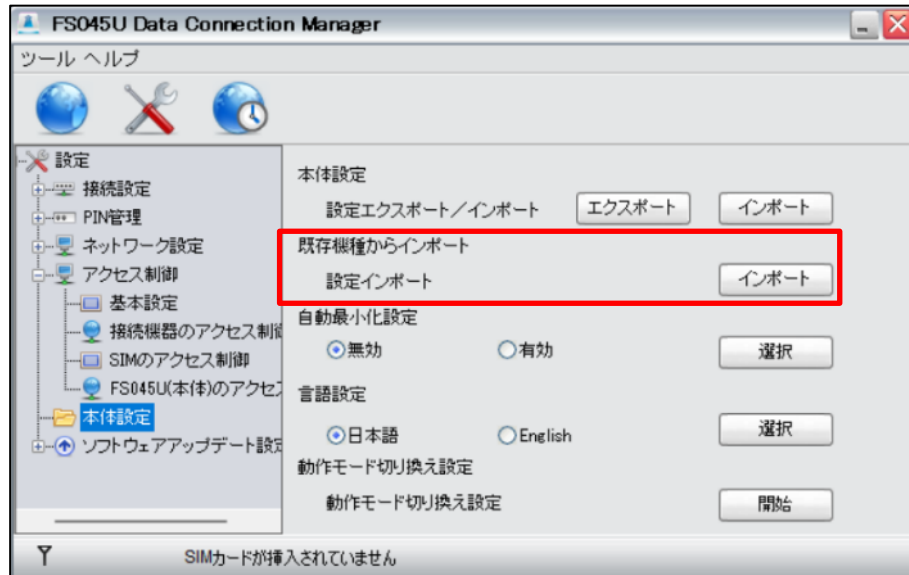
1. 「設定エクスポート/インポート」の「インポート」を選択します。
2. パソコンに保存されている設定情報ファイル「config(拡張子.csv)」を選択します。
※異なるファイルを選択した場合、正しく復元できませんのでご注意ください。

4.6.2 既存機種からインポート

画面ナビ

本体設定 > 既存機種からインポート

既存機種の「FS040U Data Connection Manager」に設定した情報の「インポート」を行います。



■ 「FS040U Data Connection Manager」の設定をインポートする

1. 「既存機種からインポート」の「インポート」を選択します。
2. パソコンに保存されている「FS040U Data Connection Manager」の設定情報ファイル「UserData(拡張子.db)」を選択します。
※異なるファイルを選択した場合、正しく復元できませんのでご注意ください。

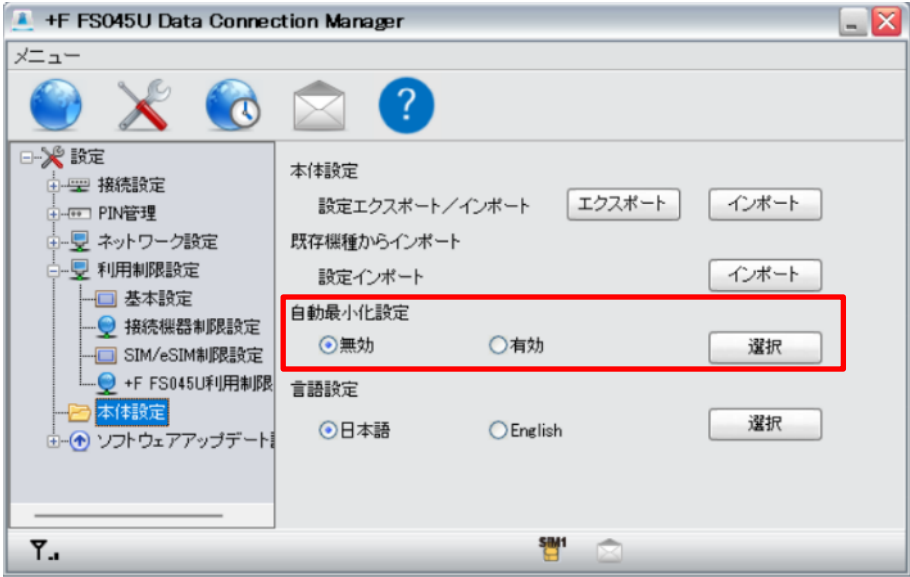
メモ

- ・ 「FS040U Data Connection Manager」の設定情報ファイル「UserData(拡張子.db)」は、以下のフォルダーに格納されています。
[格納先]
C:¥Program Files (x86)¥FS040U Data Connection Manager¥Data
- ・ 設定情報ファイル「UserData(拡張子.db)」は編集しないで下さい。
- ・ 拡張子は OS によって表示されない場合があります。

4.6.3 自動最小化設定

画面ナビ **本体設定 > 自動最小化設定**

ネットワーク接続後に「FS045U Data Connection Manager」が自動的に最小化する設定を行います。



設定項目	説明	設定値	初期値
自動最小化設定	「FS045U Data Connection Manager」の自動最小化設定の「有効」/「無効」を設定します。	無効	無効
		有効	

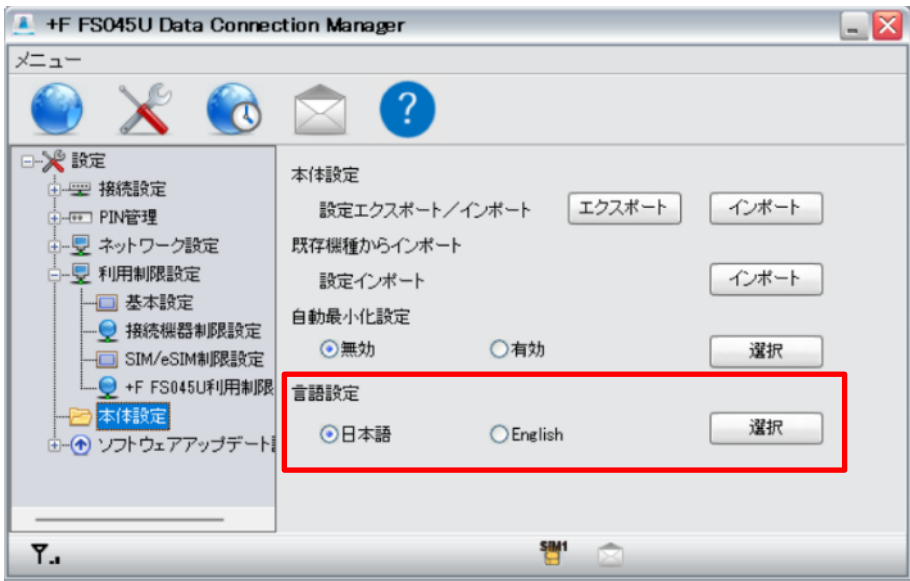
 メモ

- ・ デスクトップ画面右下の隠れているインジケーターに表示されているアイコン()を選択し実行すると、「FS045U Data Connection Manager」が表示されます。

4.6.4 言語設定

画面ナビ **本体設定 > 言語設定**

「FS045U Data Connection Manager」の言語を切り替えます。



設定項目	説明	設定値	初期値
言語設定	「FS045U Data Connection Manager」の言語を設定します。	日本語	日本語
		English	

 メモ

- ・ 言語切り替え後は「FS045U Data Connection Manager」を再起動してください

4.7 ソフトウェアアップデート

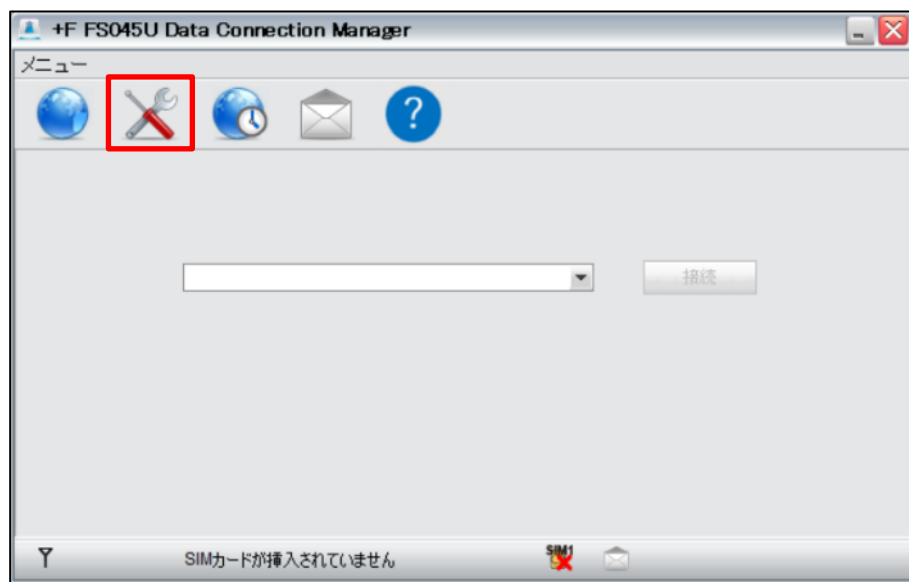
4.7.1 オフラインアップデート

画面ナビ

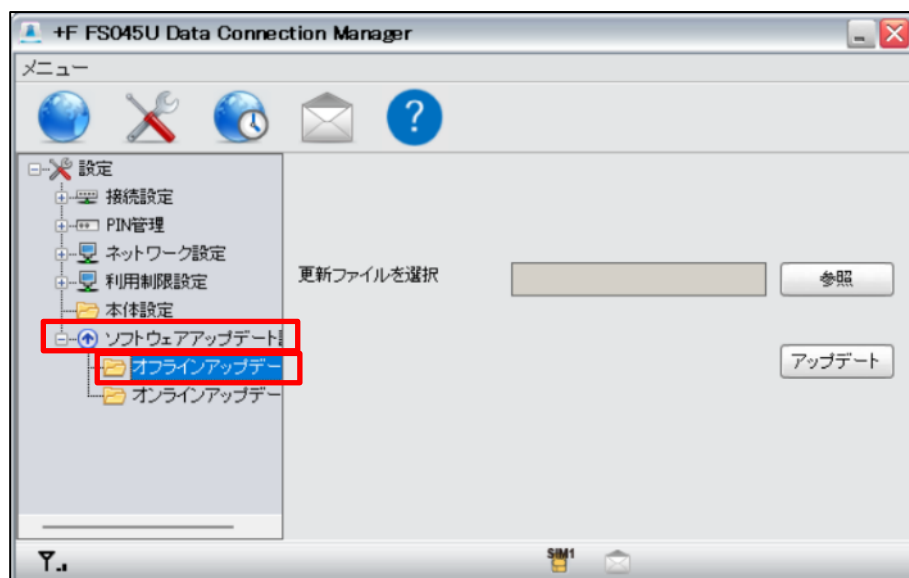
ソフトウェアアップデート > オフラインアップデート

本製品のアップデートには、「オフラインアップデート」と「オンラインアップデート」の二種類の方法があります。「オフラインアップデート」では、接続した機器に保存されているアップデートファイルを利用してアップデートを行います。

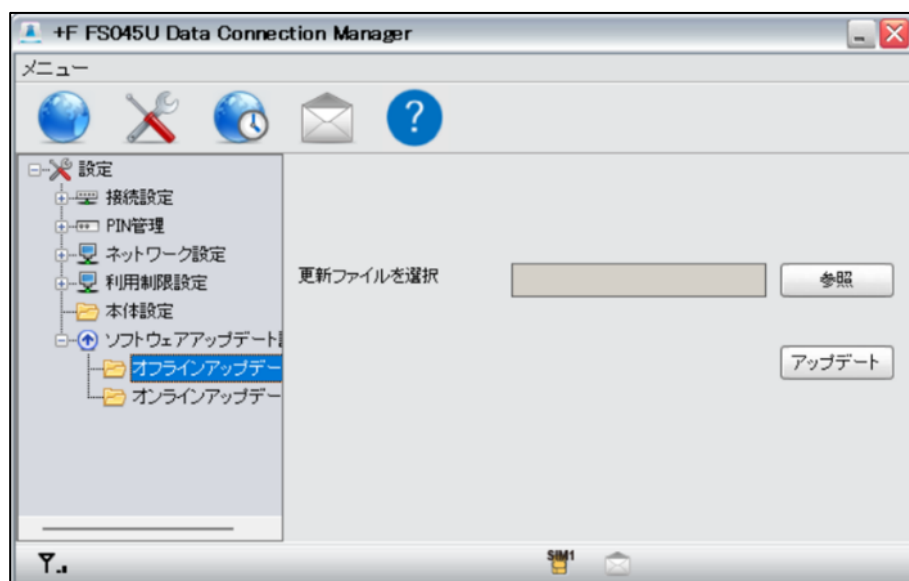
1. パソコンをインターネットに接続します。
本製品のデータ通信量を節約したい場合は、本製品以外の「インターネット環境」をご用意ください。
2. 「[+F FS045U 製品ページ](#)」からアップデートファイルをダウンロードします。
ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みの上「同意する」を選択してください。
3. メニュー「設定」をクリックします。



4. 設定画面の「ソフトウェアアップデート」から「オフラインアップデート」を選択します。

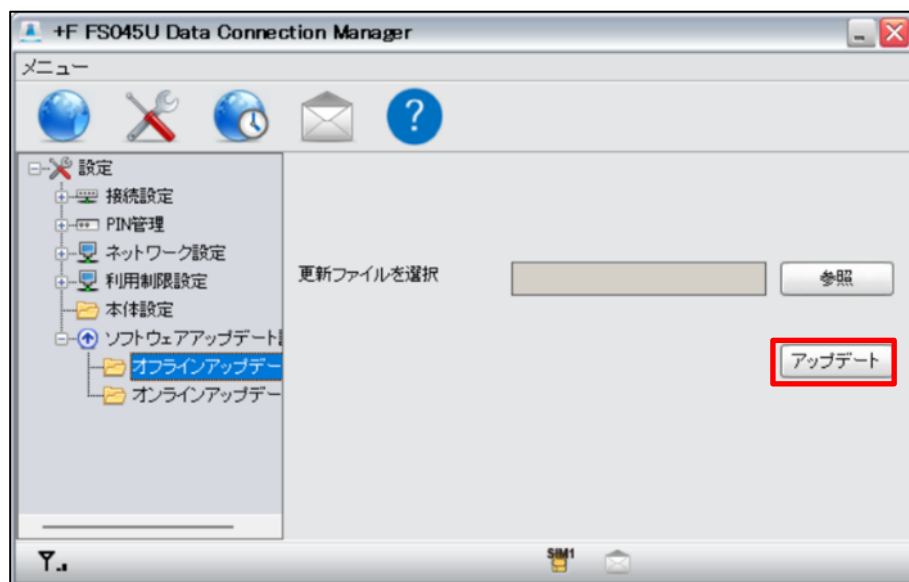


5. 「参照」を選択します。



6. パソコンに保存されているアップデートファイル「FS045U_Vx.x.x.bin」を選択します。

7. 「アップデート」を選択すると、本製品のアップデートが開始されます。 アップデートファイルの転送が完了し本製品のアップデートが開始されるとステータスランプ(LED)が黄色に連鎖点灯します。 アップデートには約 5～10 分程度かかります。



- 8.** 「アップデートが完了しました」と表示されたらアップデート完了です。
自動的に本製品が再起動されます。



メモ

- ・ アップデート用のファイルは約 120MB 程度のデータサイズになります。
- ・ 本製品のソフトウェアアップデート完了後、「FS045U Data Connection Manager」のアップデートを実施する必要があります。「[4.7.3 FS045U Data Connection Manager のアップデート](#)」の手順に沿ってアップデートを実施してください。

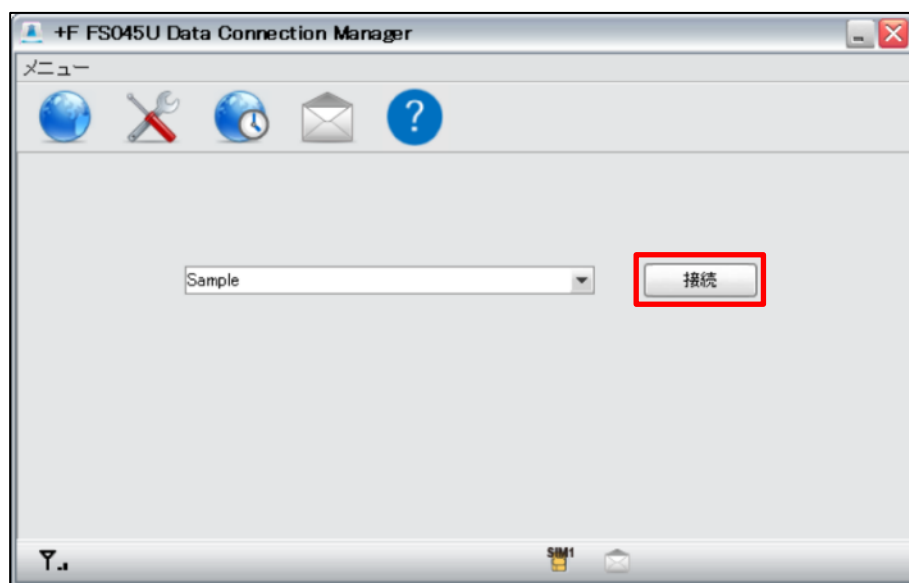
4.7.2 オンラインアップデート

画面ナビ

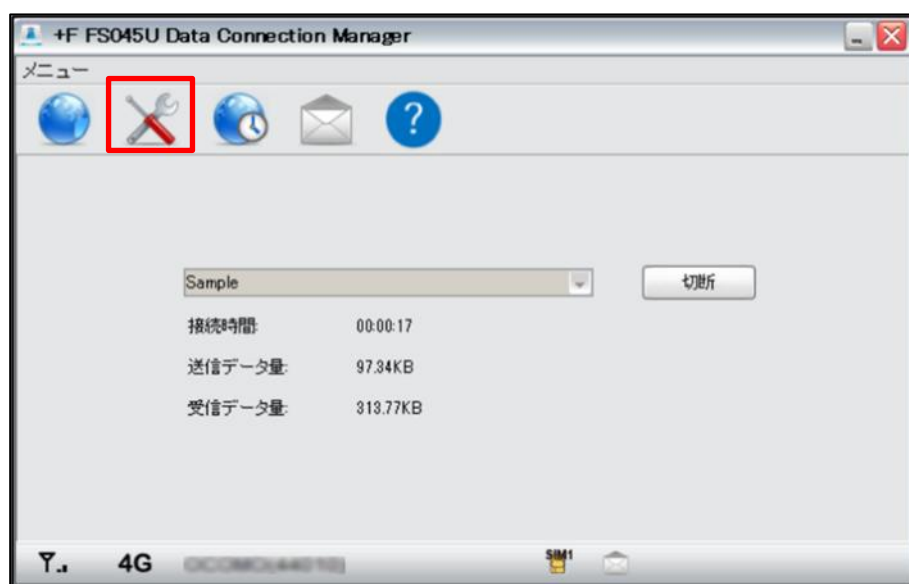
ソフトウェアアップデート > オンラインアップデート

本製品のアップデートには、「オフラインアップデート」と「オンラインアップデート」の二種類の方法があります。「オンラインアップデート」では、モバイルデータ通信を利用して本製品のアップデートを行います。

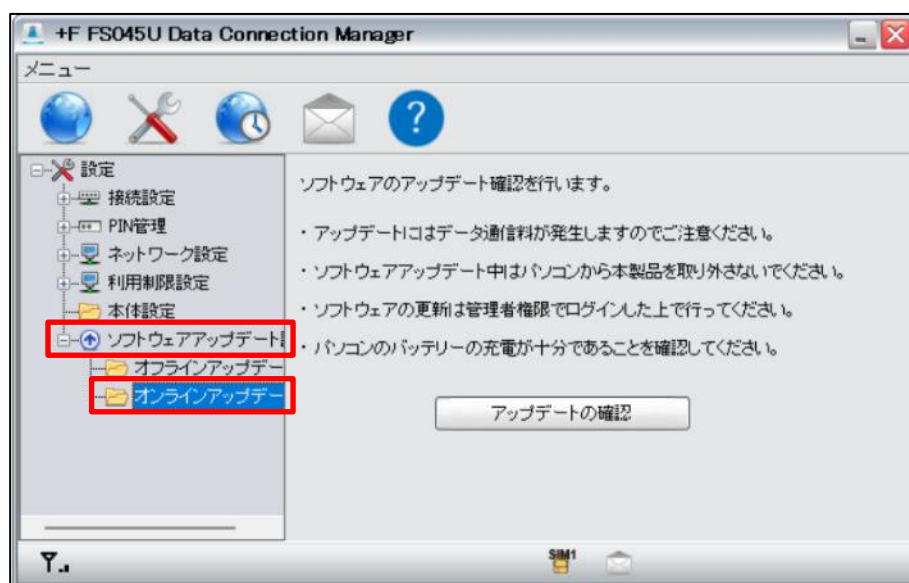
1. 「接続」をクリックし、モバイルネットワークに接続してください。
モバイルネットワークの接続設定に関しては、「[4.1.4 SIM1/SIM2/eSIMのプロファイル](#)」と「[4.1.5 モバイルネットワークの接続](#)」をご確認ください。



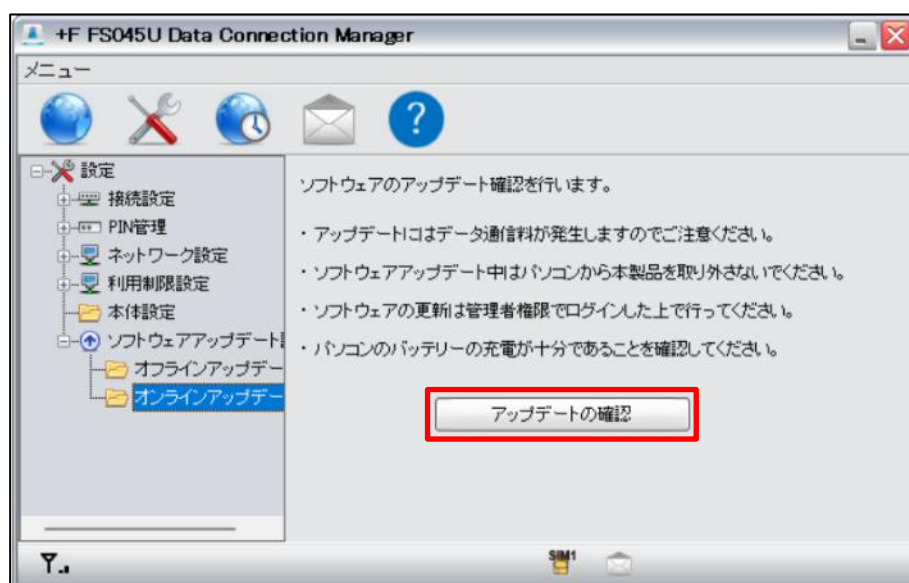
2. メニュー「設定」をクリックします。



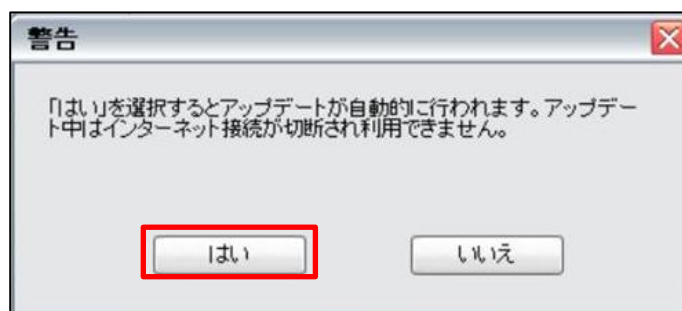
3. 設定画面の「ソフトウェアアップデート」から「オンラインアップデート」を選択します。

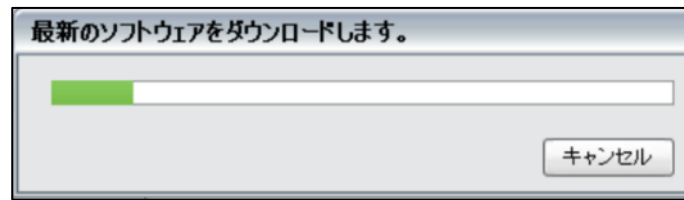


4. 「アップデートの確認」を選択します。



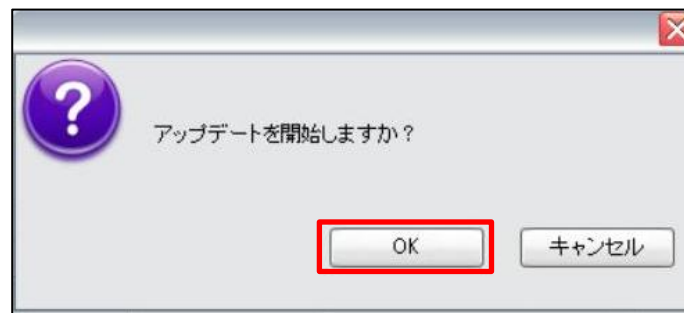
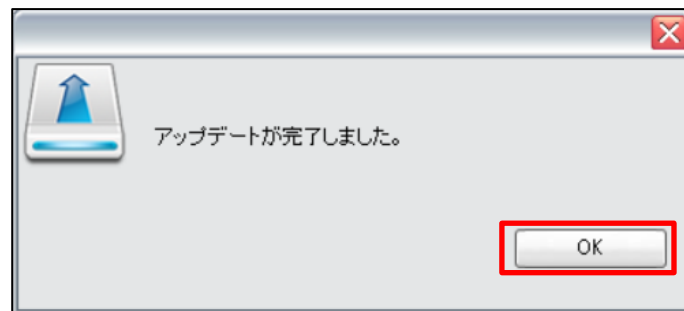
5. 最新のアップデートファイルが見つかりと以下のポップアップが表示されます。 「はい」を選択すると最新のアップデートファイルのダウンロードが開始されます。



6. 最新のアップデートファイルを本製品にダウンロードします。**7.** 「OK」を選択するとアップデートを開始します。

アップデートファイルの転送が完了し本製品のアップデートが開始されるとステータスランプ(LED)が黄色に連鎖点灯します。

アップデートには約 5～10 分程度かかります。

**8.** 「アップデートが完了しました」と表示されたらアップデート完了です。

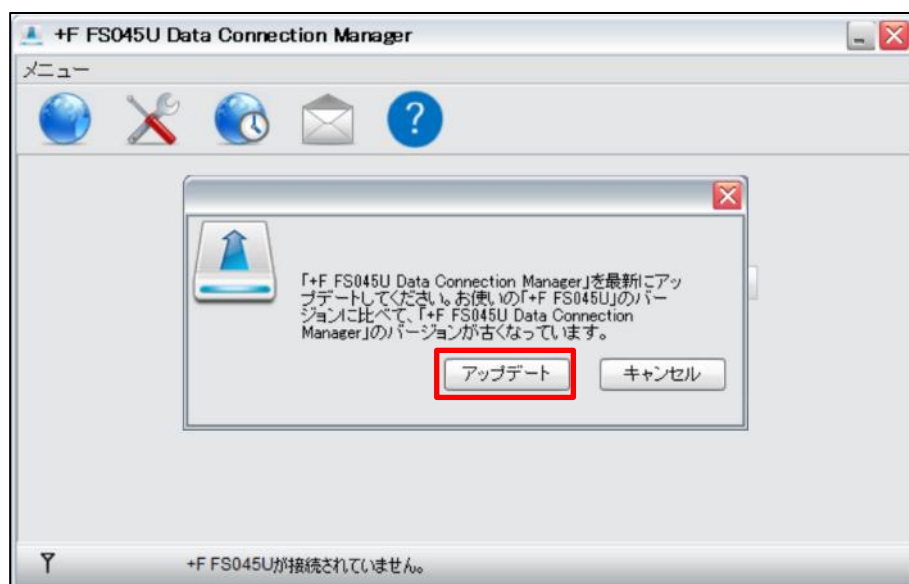
メモ

- ・ オンラインアップデートはデータ通信料が別途発生します。ダウンロードに関するデータ通信料は、お客様のご負担になります。
- ・ アップデート用のデータは約 120MB のデータサイズになります。ご利用の回線が遅い場合は、タイムアウトで失敗する場合があります。
- ・ アップデートは、通信の安定している場所で実施してください。
- ・ 本製品のソフトウェアアップデート完了後、「FS045U Data Connection Manager」のアップデートを実施する必要があります。「[4.7.3 FS045U Data Connection Manager のアップデート](#)」の手順に沿ってアップデートを実施してください。

4.7.3 FS045U Data Connection Managerのアップデート

FS045U Data Connection Manager のアップデートを行います。

1. 本製品のソフトウェアアップデート完了後、以下メッセージが表示されます。「アップデート」を選択し「FS045U Data Connection Manager」を終了させてください。



2. 「InstallShield Wizard」が起動し、「次へ」をクリックします。
「[FS045U Data Connection Manager をインストール/アンインストールする](#)」の手順を参考にインストールします。
3. 「FS045U Data Connection Manager」が自動起動したらアップデートが完了します。

4.8 接続履歴

画面ナビ

接続履歴

「セキュア接続(モデムモード)」モデルの接続履歴を表示します。
「FS045U Data Connection Manager」をアンインストールすると接続履歴は削除されます。



■ 接続履歴の削除

削除したい接続履歴を選択し、「削除」を選択すると、選択した接続履歴を削除できます。

■ 接続履歴の全件削除

「全件削除」を選択すると、接続履歴をすべて削除できます。

■ 接続履歴のエクスポート

「エクスポート」を選択すると、保存先を指定して接続履歴を CSV 形式で保存できます。

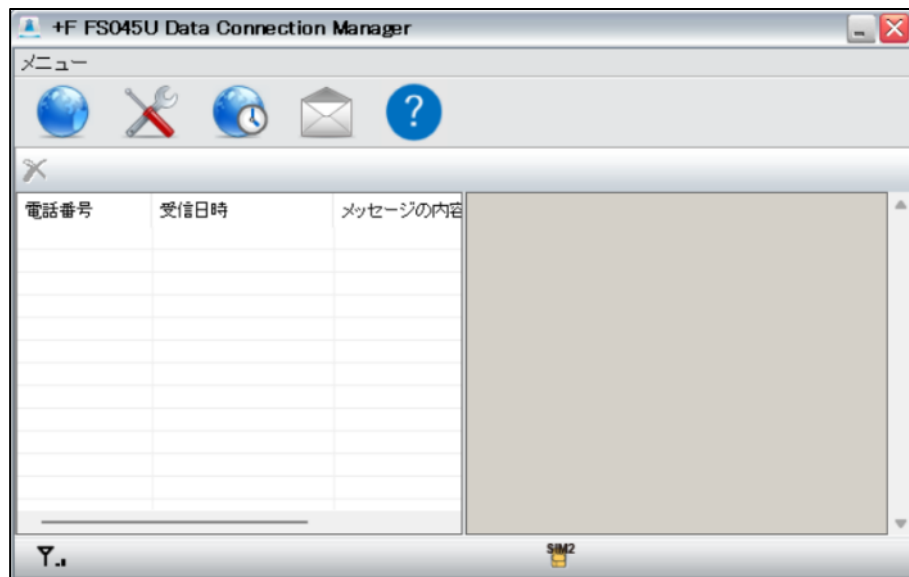
設定項目	説明	設定値	初期値
ICCID	利用していた SIM の ICCID を表示します。	—	—
SIM 種別	利用していた SIM の種類を表示します。	—	—
プロファイル名	プロファイル名を表示します。	—	—
接続方式	「セキュア接続(モデムモード)」モデルでの接続方式を表示します。	—	—
開始時刻	接続を開始した時刻を表示します。	—	—
終了時刻	接続を終了した時刻を表示します。	—	—
接続時間	接続開始から切断までの時間を表示します。	—	—
送信データ量	送信データ量を表示します。	—	—
受信データ量	受信データ量を表示します。	—	—
総データ量	総データ量を表示します。	—	—
エラーコード	エラーコードを表示します。 エラーコードの詳細については「 4.10 ネットワークエラーコード 」をご参照ください。	—	—

4.9 メッセージ

画面ナビ

メッセージ

モバイルネットワーク接続中に受信したメッセージを表示します。
本機能は受信専用のため、送信はできません。



■ メッセージを開く

メッセージを選択することでメッセージの詳細が表示されます。

■ メッセージの削除

削除したいメッセージを選択し、「削除」を選択すると、選択したメッセージを削除できます。

設定項目	説明
電話番号	受信したメッセージの電話番号を表示します。
受信日時	メッセージを受信した日時を表示します。
メッセージの内容	受信したメッセージの内容を表示します。

メモ

- ・ メッセージは最大 50 件まで保存されます。50 件を超えると、古いメッセージから順に自動的に削除されます。
- ・ 「FS045U Data Connection Manager」が起動しており、モバイルネットワークに接続中の場合のみメッセージを受信できます。

4.10 ネットワークエラーコード

本製品が接続できない場合にネットワークエラーコードが表示されます。
接続が出来ない場合はエラー内容を確認してください。なお、以下以外のエラーコードが表示される場合があります。その際は、ご契約先のお問い合わせ窓口へご連絡ください。

ネットワークエラーコード	主な原因
[27]	ユーザー名・パスワード・APNが誤っている可能性があります。
[29]	ユーザー名・パスワード・APNが誤っている可能性があります。
[30]	対応していない接続方式(IPV6)を設定している可能性があります。
[38]	対応していないSIMカードを使用している可能性があります。

5 章 困ったときに

本製品が正常に動作しない場合は、以下の内容またはホームページの FAQ([こちら](#))を確認してください。確認しても動作しない場合は、「お問い合わせフォーム」([こちら](#))へお問い合わせください。

■ インターネットへの接続ができない

インターネットへの接続ができない場合は、圏外または SIM 未挿入/eSIM 未アクティベーションの可能性があります。通信に利用している SIM1/SIM2/eSIM のステータスランプが赤色点滅かつ「+F FS045U 設定ツール」および「FS045U Data Connection Manager」画面のアンテナ表示が「」の場合は圏外、「」の場合は SIM 未挿入、「」の場合は eSIM 未アクティベーションの状態です。

[圏外の場合]

- ・電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで再度ご確認ください。
- ・プロファイル設定に間違いがある可能性があります。設定内容を確認し、正しい設定を行ってください。「簡単接続」は「[3.3.1 プロファイル設定](#)」をご参照ください。「セキュア接続(モデムモード)」は「[4.1.4 SIM1/SIM2/eSIM プロファイル](#)」をご参照ください。
- ・ご利用の SIM カードまたは eSIM によっては、日本国内で利用する場合でも「ローミング設定」を「有効」にする必要があります。「簡単接続」は「[3.3.4 ネットワーク設定](#)」をご参照ください。「セキュア接続(モデムモード)」は「[4.2.3 ローミング設定](#)」をご参照ください。
- ・ご利用の回線が未開通または契約期限が切れている可能性がございます。ご契約の通信事業者へお問い合わせください。

[SIM 未挿入の場合]

- ・SIM カードが正しく取り付けられていない、もしくは、SIM カードに異常がある可能性があります。SIM カードの状態をご確認ください。
- ・SIM カードが正しい向きで挿入されていることをご確認ください。詳細は「[1.2.1 SIM カードの取り付け方](#)」をご参照ください。
- ・利用する「カードスロット SIM1 用」または「カードスロット SIM2 用」に SIM カードが挿入されているかをご確認ください。

[eSIM 未アクティベーションの場合]

- ・eSIM がアクティベーションされていない可能性があります。詳細は「[1.3.1 eSIM のアクティベーション](#)」をご参照ください。
- ・eSIM が「有効」になっていない可能性があります。ご利用の eSIM を「有効」に設定してください。「簡単接続」は「[3.3.2 SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」をご参照ください。「セキュア接続(モデムモード)」は「[4.1.3 SIM1/SIM2/eSIM 設定](#)」をご参照ください。

■ 通信が途切れる

- ・電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで再度ご確認ください。
- ・本製品を接続している接続機器から一度取り外し、再度挿し直してください。
- ・本製品を接続している接続機器を再起動してください。

■ パソコンに認識されない

- ・本製品を挿しているポートを変更して接続してください。
- ・本製品が正しく認識されない場合があります。パソコン内のセキュリティソフトや設定をご確認ください。
- ・「セキュア接続(モデムモード)」を利用されている場合は、「FS045U Data Connection Manager」を再インストールしてください。詳細は「[4.1.1 FS045U Data Connection Manager をインストール/アンインストールする](#)」をご参照ください。

■ Web ブラウザの「+F FS045U 設定ツール」に「192.168.200.1」でアクセスできない

「セキュア接続(モデムモード)」モデル

- ・「セキュア接続(モデムモード)」では、Web ブラウザの「+F FS045U 設定ツール」はご利用いただけません。専用ツール「FS045U Data Connection Manager」を使用して設定やネットワーク接続を行います。

詳細は「[4.1.1 「FS045U Data Connection Manager」をインストール/アンインストールする](#)」をご参照ください。

「簡単接続」モデル

- ・「DHCP」の「IP アドレス」を変更した場合は、設定した「IP アドレス」を入力してください。
- ・「DHCP」の「IP アドレス」が不明な場合は、コマンドプロンプトから「ipconfig /all」とコマンドを発行することで「デフォルトゲートウェイ」から「IP アドレス」を確認できます。
※「DHCP」の「IP アドレス」を初期値から変更する際は必ず「IP アドレス」を控えるようお願いいたします。
- ・「DHCP」の「DHCP サーバ」を「無効」に設定した場合、パソコン上で設定を行わないと「+F FS045U 設定ツール」へのアクセスが行えなくなります。
再度「+F FS045U 設定ツール」にアクセスしたい場合、パソコン上から手動で IP アドレスを設定すれば、「+F FS045U 設定ツール」のアクセスが行えるようになります。手順の一例は以下になります。

【確認手順】

1. パソコンからエクスプローラー起動
2. メニューから「ネットワーク」上で右クリック、「プロパティ」を選択
3. 「アダプターの設定の変更」を選択
4. 認識されている +F FS045U(Remote NDIS based Internet Sharing Device) のアダプタを右クリック、「プロパティ」を選択
5. インターネットプロトコルバージョン(TCP/IPv4)を選択し「プロパティ」を選択
6. 以下、画像の設定値を入力し「OK」を選択
7. WEB ブラウザからアドレス欄に「192.168.200.1」と入力し、「+F FS045U 設定ツール」にアクセス
※「DHCP」の「IP アドレス」を変更した場合は、設定した「IP アドレス」を入力してください

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☐ IP アドレスを自動的に取得する(O)

☒ 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 200 . 50

サブネットマスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ(D): 192 . 168 . 200 . 1

☐ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

☒ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): . . .

代替 DNS サーバー(A): . . .

☐ 終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(Y)...

OK キャンセル

6 章 付録

6.1 主な仕様

■ +F FS045U

製品名	+F FS045U	
サイズ(W × H × D)	約 101.0mm×32.0mm×12.2mm	
質量	約 41g	
インターフェイス	USB(Type-A)	
環境条件	動作温度範囲	: -10 ~ 55℃
	動作湿度範囲	: 0 ~ 85% (結露なきこと)
	保管温度範囲	: -20 ~ 60℃
	保管湿度範囲	: 0 ~ 85% (結露なきこと)
対応バンド(周波数)	5G RedCap	: n1(2.1GHz)、n3(1.7GHz)、 n8(900MHz)、n18(850MHz)、 n26(850MHz)、n28(700MHz)、 n41(2.5GHz)、n77(3.7GHz)、 n78(3.5GHz)、n79(4.7GHz)、
	4G	: B1(2.1GHz)、B3(1.7GHz)、 B8(900MHz)、B11(1.5GHz)、 B18(800MHz)、B19(800MHz)、 B21(1.5GHz)、B26(850MHz)、 B28(700MHz)、B39(1.9GHz)、 B41(2.5GHz)
通信方式/通信速度	5G RedCap	: DL 223Mbps / UL 123Mbps
	4G	: DL 195Mbps / UL 75Mbps
ご利用の通信方式や地域によって、最大通信速度が異なります。 また、ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下したり、通信できなくなったりする場合があります。		

■ USB Type-A to C 変換アダプタ

サイズ(W × H × D)	約 27.7mm×14.7mm×7.2mm
質量	約 4g
インターフェイス	USB(Type-A)、USB(Type-C®)
出力電圧/電流	9V(DC)/2A(PD 対応)

6.2 保証規定

保証期間:1 年間 (ユーザー登録後、「製品情報登録」を行った場合は 2 年間)

ご購入日を証明するもの(レシート・納品書等)を大切に保管してください。修理の際に必要となります。

[無料修理規定]

1. 取扱説明書に記載されている使用方法および注意書きに従った正常なご使用のもとで保証期間中に故障や損傷した場合には、本規定に従い、無料修理させていただきます。
ただし、診断により代替品と交換させていただく場合がございます。
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となります。予めご了承ください。
 - (1) 故障した本製品をご提出いただかない場合
 - (2) ご購入日を証明するもの(レシート・納品書等)が無い場合
 - (3) 保証規定の字句を書き換えられた場合
 - (4) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (5) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合
 - (6) 本製品を落下又は外部から圧迫したことなどによる故障
 - (7) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、異常電圧などの原因による故障及び損傷
 - (8) 水濡れ・結露等による腐食が発見された場合および内部の基板が破損・変形している場合
 - (9) 付属品(USB Type-A to C 変換アダプタ)などの消耗品の交換
 - (10) ラベルの改変、又は取り外している場合
3. 「故障品送付先」へご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、当社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
4. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
5. 本製品を指定外の機器と接続した場合、万一発生する事故については責任を負いかねます。
6. 本製品の損傷状況によっては修理を承れない場合がございます。
7. 修理受付時はデータのお預かりはできません。必要なデータはあらかじめ保存をしてください。
8. 保証規定は日本国内において有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
9. 修理により交換した交換元部品の所有権は、有償修理、無料修理問わず、当社に帰属します。

■ お問い合わせページ

<https://fsi-plusf.jp/inquiry/>

受付時間 :24 時間 365 日

対応時間 :9 時~17 時(土日祝日、夏季休暇および年末年始を除く)

■ 故障品送付先

〒135-0032 東京都江東区福住 1-8-7 門前仲町ビル 1F

富士ソフト モバイル端末 故障受付窓口

6.3 本製品の比吸収率(SAR)などについて

■ 本製品の比吸収率(SAR)について

本製品[+F FS045U]は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末の SAR の最大値は 1.150W/kg(※2)です。個々の本製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信を行っている状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int>

データ通信端末の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以下のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第 14 条の 2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

■ Declaration of Conformity

Hereby, FUJI SOFT INCORPORATED declares that the radio equipment type FS045U is in compliance with Directive 2014/53/EU and this product is allowed to be used in all EU member states. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<https://fsi-plusf.jp/>

Manufacturer information:

Company name: FUJI SOFT INCORPORATED

Address: 1-1 Sakuragi-cho, Naka-ku, Yokohama-shi, Kanagawa 231-8008, Japan

Operation frequency

Radio	Frequency	Max. power
LTE FDD	Bands 1/3/8/28/41	23/23/23/23 dBm
5G NR	Bands 1/3/8/28/41/77/78	23/23/23/23/23/23 dBm

■ RF exposure statement

For the countries that adopt the SAR limit of 2.0 W/kg over 10 grams of tissue. The device complies with RF specifications when used at a distance of 5 mm from your body. The highest reported SAR value: body SAR: 1.286W/kg
Restriction in BE, BG, CZ, DK, DE, EE, IE, EL, ES, FR, HR, IT, CY, LV, LT, LU, HU, MT, NL, AT, PL, PT, RO, SI, SK, FI, SE, UK(NI).

■ FCC regulatory conformance

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help

NOTE: The manufacturer is not responsible for any radio or TV interference caused by unauthorized modifications to this equipment. Such modifications could void the user's authority to operate the equipment.

■ RF Exposure

The SAR limit adopted by FCC is 1.6 W/kg. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit. The highest reported body SAR value is 1.17 W/kg.

6.4 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

6.5 知的財産権

- ※ Windows、Windows11 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標、または登録商標です。
- ※ macOS および iPadOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- ※ iPad は、Apple Inc.の商標です。
- ※ Chrome OS は、Google LLC.の商標、または登録商標です。
- ※ ARM は、Arm Ltd.の商標または登録商標です。
- ※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ※ USB Type-C® は、USB Implementers Forum の商標です。
- ※ その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

6.6 オープンソースライセンスの告知

本製品は GNU General Public License (Version2) など、各種ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアを使用しています。詳細は以下のホームページをご参照ください。

<https://fsi-plusf.jp/>

本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードをご希望の場合は、ホームページからお問い合わせください。

<https://fsi-plusf.jp/products/FS045U/>

- ・ 本書の内容は一部でも無断転載することは禁止されております。
 - ・ 本書の内容は将来、予告なしに変更することがあります。
 - ・ コピー、改造、逆アセンブル、リバースエンジニアリング、輸出許可がない地域への輸出を行わないでください。
- 本製品に含まれる第三者ソフトウェア(「COPYRIGHT NOTICE AND WARRANTY DISCLAIMER」に記載するソフトウェア)の利用許諾条件と齟齬がある場合、当該利用許諾条件が優先されるものとします。

6.7 廃棄方法について

本製品を破棄する際は、自治体のルールに従い処理してください。

また、個人情報や通信設定を守るため、破棄前に必ず端末を初期化してください。

・端末の初期化は「[3.7.5 工場出荷設定\(初期化\)](#)」をご参照ください。

「FS045U Data Connection Manager」で使用する場合、本体に通信設定等は保存されません。

そのため、破棄にあたって端末の初期化操作は不要です。

5G RedCap USB dongle +F FS045U 取扱説明書

製造元 富士ソフト株式会社

発行年月 2026 年 6 月 初版

©2026 FUJISOFT INCORPORATED